Pioneer sound.vision.soul

小電力コードレス留守番

システム名

ティーエフ イー ブイ イー ブイ エッチ イー ブイ エッチ

TF-EV130/EVH133/EVH134

取扱説明書 （保証書付）

この取扱説明書には保証書もついておりますので、大切に保管してください。

このたびは、パイオニアのコードレス留守番電話機をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みください。

ナンバー・ディスプレイおよびキャッチホン・ディスプレイをご利用になる場合は、NTTへのサービス申込みと本機での設定が必要です。

充電式電池をリサイクルに！

お客様相談室 本製品のお問い合わせ窓口

東日本地区：TEL. 所沢 04-2949-5131

西日本地区：TEL. 大阪 06-6533-0099

専用FAX：所沢 04-2949-5501

- 電話番号をよくご確認の上、市外局番より、お間違えのないようおかけください。
- 名称、所在地、電話番号は変更になることがあります。あらかじめご了承ください。

充電池には、ニカド電池を使用しております。ニカド電池はリサイクル可能な貴重な資源です。ニカド電池のリサイクルにご協力ください。 Ni-Cd

英文などの外国語の取扱説明書はありませんので、あらかじめご了承ください。
Please take notice that manuals written in languages other than Japanese are not available.

さくいん

ご注意　NOTICE

この製品は日本国内向けに製造されたもので、電圧100Vで動作します。海外では、ご使用になれません。
For Japanese standard only. This set operates on AC100V. This set cannot be used outside of Japan.

目　次

次ページへつづく

準　備

かける／受ける

ホームテレホン

短縮ダイヤル

留守番機能

目　次（つづき）

準備
かける／受ける
ホームテレホン
短縮ダイヤル
留守番機能
ナンバー・ディスプレイ
便利な機能
必要なときは

ナンバー・ディスプレイ

便利な機能

必要なときは

子機をお使いの後は、必ず、ダイヤル面を手前にして充電器に戻してください。逆向きに置くと充電されません。

本機に登録した重要な内容は、必ずメモを取り、保管してくださるようお願いします。
本機の故障、修理、電話機の変更、本機のメモリなどが静電気ノイズの影響を受けたとき、誤作動したとき、その他の理由によって、登録内容が変化・消失してしまう場合もあります。本機に登録してある内容が、変化・消失したことによる損害については、当社は、一切その責任を負いかねますので、あらかじめご承知おきください。

商品の故障、誤作動または停電などの外部要因で電話が使えなかったことによる付随的損害については、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご承知おきください。

本機は、お客様固有のデータを登録または保持可能な商品です。
本機内に登録または保持されたデータの流出による不測の損害などを回避するために、本商品を廃棄、譲渡、返却される際には<u>本機内に登録または保持されたデータを取扱説明書に記載されている消去および削除の操作を行なって消去してくださいますようお願いいたします。</u>

安全上のご注意――必ずお守りください

製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示で案内しています。その表示と意味は次のようになっています。

⚠危険	この表示の注意事項を無視して、誤った取扱をすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
⚠警告	この表示の注意事項を無視して、誤った取扱をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示の注意事項を無視して、誤った取扱をすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

■下記の ⚠ 記号は注意（警告を含む）しなければならない内容であることを示しています。

■下記の 記号は禁止(してはいけないこと)を示しています。

■下記の や 記号は行動を強制したり指示する内容を示しています。

充電池（ニカド電池）の取扱について

⚠危険

充電するときや、充電池（ニカド電池）を使用するときは、 必ず次のことを守ってください。

- **指定以外の充電池（ニカド電池）を使用しない**
- **プラス（＋）、マイナス（－）を逆にして使用しない**
- **付属の充電池（ニカド電池）は専用充電池（ニカド電池）です、それ以外の機器には使用しない**
- **充電池（ニカド電池）を電源コンセントや自動車のシガレットライターの差し込み口などに、直接接続しない／充電器以外で充電しない**
- **充電池（ニカド電池）を火の中に投入したり加熱しない**
- **充電池（ニカド電池）をハンダ付けしない**
- **充電池（ニカド電池）を分解・改造しない**
- **充電池（ニカド電池）のプラス（＋）、マイナス（－）を針金等の金属で接続しない（端子をショートさせない）**

以上のことを守らないと充電池（ニカド電池）の液が漏れたり、発熱・破裂により、やけどやけがのおそれがあります。

禁止

- **充電池ぶたを閉めるとき、充電池コードをはさまない**

コードが破損すると充電池（ニカド電池）の発熱・破裂により、やけどやけがのおそれがあります。

禁止

- **充電池（ニカド電池）が漏液したとき“液”が目に入ると危険**

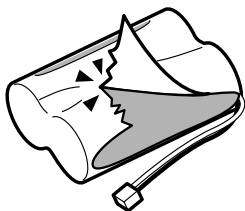
失明のおそれがあります。
こすらずに、すぐにきれいな水で充分に洗った後、直ちに医師の治療を受けてください。

充電池(ニカド電池)の取扱について(つづき)

⚠警告

●充電池(ニカド電池)の外装チューブをはがしたり、キズをつけない

禁止

発煙・発火の原因となります。

●充電池(ニカド電池)を使用中や充電中、または保管時に異臭を発したり、変色・変形、その他今までと異なることに気が付いたときは、機器から充電池(ニカド電池)を取り出し、使用を中止する

●充電池(ニカド電池)を水や海水につけたり濡らさない

禁止

充電池(ニカド電池)の発熱やサビの原因となります。

●充電池(ニカド電池)の"液"が皮膚や衣服に付着したときは、すぐにきれいな水で洗い流す

皮膚に障害をおこすおそれがあります。

⚠注意

●充電池(ニカド電池)に強い衝撃を与えたり、投げつけたりしない

禁止

充電池(ニカド電池)の液が漏れたり、発熱・破裂させる原因となることがあります。

●充電池(ニカド電池)を高温になる場所で使用したり、放置したりしない

禁止

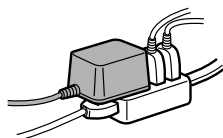
充電池(ニカド電池)の液が漏れたり、性能や寿命を低下させる原因となることがあります。

●充電池(ニカド電池)は(乳)幼児の手の届かない所に保管し、(乳)幼児が機器から取り出さないように注意する

ACアダプターの取扱について

⚠警告

●タコ足配線はしない

火災・過熱の原因となります。

禁止

●表示された電源電圧（AC100V）以外の電圧、付属以外のACアダプターは使用しない

火災・感電・故障の原因となります。

禁止

●濡れた手でACアダプターにさわらない

感電の原因となります。

禁止

●ACアダプターの刃や周辺に付着したほこりや金属などを取り除く

そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

●ACアダプターのコードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重いものをのせたりしない

万一、コードが傷んだときは（芯線の露出、断線など）販売店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

禁止

●**雷が鳴り出したら、安全のため、早めにACアダプターをコンセントから抜いておいてください**

雷によっては、火災・感電・故障の原因となります。

ACアダプターを抜く

⚠注意

●ACアダプターのコードをストーブなどの熱器具に近づけない

コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

禁止

●ACアダプターはゆるみのあるコンセントに差し込まない

発熱して、火災の原因となることがあります。

禁止

●ACアダプターを抜くときは必ず本体を持って抜く

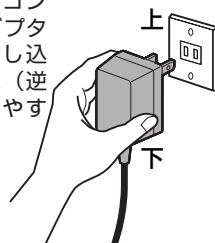
コードを引っ張るとコードが傷ついて、火災・感電の原因となることがあります。

●ACアダプターは根元まで確実に差し込む

差し込みが不完全ですと感電や発熱による火災の原因となることがあります。また、ACアダプターの刃に触れると感電の原因となることがあります。

なお、壁面にあるコンセントにはACアダプターの上下を逆に差し込まないでください。（逆に差し込むと外れやすくなります。）

上

下

本体の取扱について

⚠警告

●ホームテレホン・ビジネスホン用の回線にそのまま接続しない

家庭用電話機をホームテレホン・ビジネスホン用の回線に、そのまま接続すると、必要以上の電流が流れ、故障・発熱・火災の原因となることがあります。

接続の際には、ホームテレホン・ビジネスホンのメーカー、または工事店にお問い合わせください。

禁止

●煙が出たり、変なにおいがするときはACアダプターをコンセントから抜く

そのまま使用すると、火災や事故の原因となります。お買い上げの販売店に修理を依頼してください。

ACアダプターを抜く

●分解・改造しない

火災・感電・故障の原因となります。（改造は法律により禁止されています。）

分解禁止

●開口部から金属類を差し込んだり、落とし込んだりしない

万一、入った場合は、ACアダプターをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電・故障の原因となります。

禁止

●風呂やシャワー室では使用しない

火災・故障・感電の原因となります。

水場での使用禁止

●本機の上や近くに水などの入った容器や小さな金属物を置かない

こぼれたり、中に入ったりすると、火災・感電・故障の原因となります。

禁止

●水などで濡らさない

本機は生活防水タイプではありません。万一、内部に水などが入ったときはACアダプターをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電・故障の原因となります。

禁止

●充電端子に水滴がついたまま充電しない

水滴がついたら乾いた布で拭き取ってください。そのまま使用すると火災・故障の原因となります。

禁止

●病院内などの使用を禁止された場所では使用しない

電子機器や医療用機器に影響を与え、事故の原因となるおそれがあります。

禁止

本体の取扱について（つづき）

⚠注意

●調理台や加湿器のそばなど、油煙や湯気が当たるところに置かない

火災・感電・故障の原因となることがあります。

禁止

●直射日光の当たるところに置かない

内部の温度が上がり、火災の原因となることがあります。

禁止

●湿気やほこりの多いところに置かない

火災・感電・故障の原因となることがあります。

禁止

●極端に寒いところや急激な温度変化のあるところに置かない

故障の原因となることがあります。

禁止

●不安定な場所や振動の多いところに置かない

落ちたり、倒れたりすると、けが・故障の原因となることがあります。

禁止

●壁掛けにするときは落下しないようにしっかり固定する

落下すると、けが・故障の原因となることがあります。

●アンテナに注意

あやまって目に触れて、事故やけがの原因となることがあります。

●子機の呼出音が鳴る部分（スピーカー）には絶対に耳を近づけない

突然呼出音が鳴って、事故やけがの原因となることがあります。

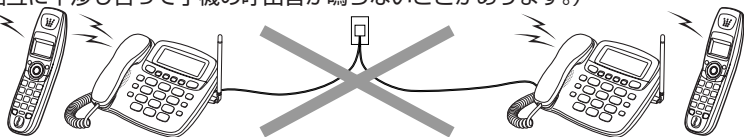
禁止

●長期間電話機を使用しないときは、安全のため必ずACアダプターをコンセントから抜き、子機の充電池（ニカド電池）をはずす

ACアダプターを抜く

知っておいていただきたいこと

電話回線1本にコードレスホン（親機）1台を接続してください

本機を接続している回線に他のコードレス電話機やコードレスファクシミリは接続できません。
（電波が相互に干渉し合って子機の呼出音が鳴らないことがあります。）

充電端子はいつもきれいに

乾いた布や綿棒などでこまめに拭いてください。汚れていると充電できません。

子機の呼出音は遅れて鳴ります

電話がかかってくると、はじめに親機の呼出音が鳴り、少し遅れて子機の呼出音が鳴ります。（約1～2秒後）

子機を充電器からとって電話をかけるときは

子機を充電器からとると、発信ボタンが点滅します。（クイック通話）

10秒以内に電話をかけるか、発信ボタンを押してください。

- 何も操作しないと「ピーピー」と警告音が約10秒間鳴り、通常状態に戻ります。（13ページ）

傍受にご注意ください

本機は、盗聴防止スクランブル機能を搭載しておりません。

- 子機での通話は、電波を使用している為、第三者が故意に傍受することも考えられます。機密を要する重要な通話は、親機を使用されることをおすすめします。

- 登録や設定などの操作を途中でやめるには、親機で操作中は 、子機で操作中は を押してください。
- 親機は毛足の長いカーペットや布団の上に置かないでください。通気孔をふさぎ、本体の放熱が悪くなります。
- 登録や設定の操作の途中で、1分以上時間をあけると「ピピピ」と鳴ります。そのときは、はじめからやり直してください。
- 音声ガイドについて

  親機は、登録や設定の操作を音声でガイドします。操作の途中で音声ガイドを聞き直したいときは、音声ガイドが終了してから 留守/録音（再ガイド） を押してください。再び最初から音声ガイドを聞くことができます。（再ガイド）

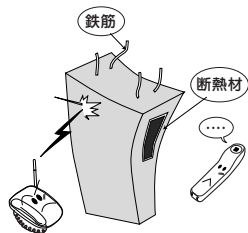
  また、音声ガイドが聞こえているうちに 留守/録音（再ガイド） を押すと、音声ガイドの速さをゆっくりにして最初から聞くことができます。標準の速さに戻して、もう一度聞きたいときは、音声ガイドが終了してから 留守/録音（再ガイド） を押してください。

  音声ガイドを解除（または設定）したいときは、通常状態（13ページ）で を2秒以上押し続けてください。

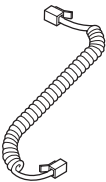
子機の使用範囲について

●子機で使用中に親機から離れすぎると雑音が入り「ピピピピ・・・」という警告音が鳴ります。警告音が鳴ったら、すぐに親機に近づいてください。警告音が鳴り続けると、約20秒で電話が切れます。

●準備のあと、親機と子機の間で内線通話をして、通話ができる範囲や雑音の入らない場所であるかどうかを確かめておいてください。（内線通話　38〜39ページ）

●周囲の環境（壁、家具など）によっては子機の使用範囲は狭くなり、雑音が入ります。雑音がひどいときは、設置場所を変えてみてください。コンクリート壁、金属の扉、金属箔のついた断熱材、金属製の壁や家具は、電波をさえぎり電波の届く距離を短くします。

雑音について

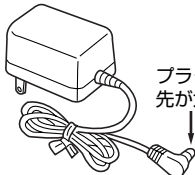
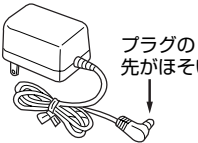
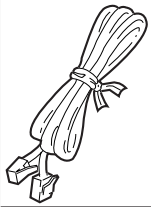
●磁気や蛍光灯などの電気雑音の影響を受けると通話中に雑音が入ったり、通話できなくなることがあります。

●テレビ・ラジオなどの電気機器に近いと、雑音や受信障害の原因になったり、特定チャンネルでテレビ画面が乱れることがあります。また、AV･OA機器などに近いと電波雑音の影響を受け、子機の呼出音が鳴らないことがあります。
電気機器から2m以上離すか、親機の電源を別の電源コンセントに接続して操作してみてください。

●アンテナの近くにACアダプターや充電器または他の機器の電源コードを近づけると、「ブーン」という音がすることがありますので離してください。

●親機や子機の近くに携帯電話の充電器やACアダプターを置くと、通話にノイズが入ったり呼出音が鳴らないことがあります。携帯電話の充電器やACアダプターを本機から離してください。また携帯電話の充電器用ACアダプターは、親機や充電器のACアダプターと別の電源コンセントに接続してください。

●親機のアンテナは床面に対して垂直に立て、完全に伸ばした状態でお使いください。アンテナの位置が悪いと電波が飛びにくくなり、子機を使用中に“ザッツザッツ”という雑音の入ることが多くなります。

●近くを自動車やバイクが通ると雑音が入ることがあります。
設置場所を変えてみてください。

● 電波が弱くなる場所には気をつけてください。
通話到達範囲内（屋外や違う部屋など）でも、直接届く電波と壁や屋根などで反射して届く電波の交わるところで電波が弱くなり、アナログコードレス特有の“ザッツザッツ”という雑音が入る場所があります。故障ではありません。

商品の確認

■本体（一式）

■付属品

●取扱説明書（1部）

さらに別売の専用子機を増設できます（付属の子機を含めて4台まで）

増設子機（別売品　TF-TK123）

- 子機増設についてくわしくは販売店にご相談ください。
- 増設子機は、ご使用まえにID番号の登録が必要です。ID番号の登録は、必ず親機と子機をご持参の上、お買い上げの販売店に依頼してください。修理窓口にご依頼の場合、有料になります。
- TF-EV130に子機を増設しても、子機間通話、子機間転送はできません。

液晶画面について

親機（11桁表示）（液晶バックライトなし）

● 説明のために全表示させています。

（　）内の番号は、本文中に説明しているおもなページです。

電話番号・現在時刻・通話時間・録音件数などを表示

非通知ガード（79）
公衆電話ガード（83）
表示圏外ガード（85）
着信拒否番号（87）
のいずれか1つを設定
または登録したときに表示
（機能名は設定されたもののみ表示）

消音設定時表示（27）

親機・子機どちらかが優先呼出設定時表示（91）

発信メモリ確認時表示（35）

着信メモリ確認時（71）、ナンバー・ディスプレイご利用時、電話に出られなかったときに表示（72）

ナンバー・ディスプレイ設定時表示（66）

ナンバー・ディスプレイご利用時、相手の電話番号が表示されないときに表示（67）

留守転送設定時表示（61）

親機操作時の表示例

通常状態

現在時刻（24時間制）（25）

録音件数

（例）ダイヤル中

電話番号

子機（11桁表示）（液晶バックライト付き）

● 説明のために全表示させています。

■ 通常状態のときに切ボタンを押すと、子機のバックライトが約20秒間点灯します。切ボタンを押すたびに、点灯⇄消灯します。

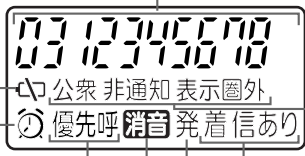
電話番号・現在時刻・通話時間などを表示

充電池が消耗したときに点滅（24）

モーニングコール設定時表示（93）

優先呼出設定時表示（91）

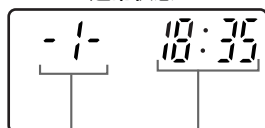
消音設定時表示（27）

03 12345678
公衆 非通知 表示圏外
優先呼 消音 発 着 信あり

ナンバー・ディスプレイご利用時、相手の電話番号が表示されないときに表示（67）

着信メモリ確認時は「着」が表示（71）、ナンバー・ディスプレイご利用時、電話に出られなかったときに「着信あり」が表示（72）

発信メモリ確認時表示（35）

子機操作時の表示例

通常状態

子機番号

現在時刻（24時間制）（26）

（通常状態のときは、液晶バックライトが消えています。）

（例）ダイヤル中

03 12345678

電話番号

■ 本書の説明画面は実際の画面と字体や形状が省略表記などにより異なる場合があります。

各部のなまえ

（親機）

親機

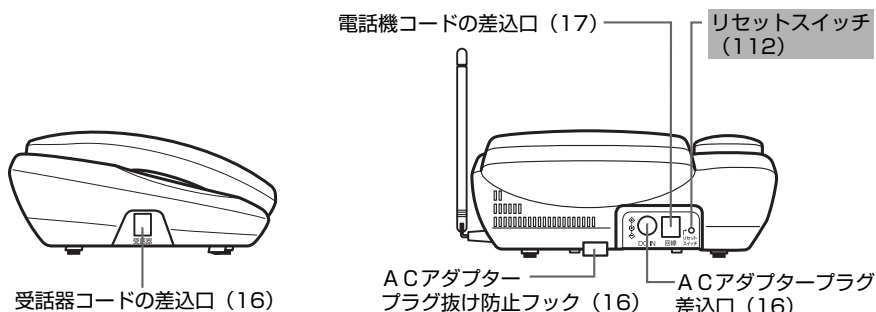
（　）内の番号は、本文中に説明しているおもなページです。

液晶画面（13）
（液晶バックライトなし）
ワンタッチダイヤルボタン／ランプ（48）
短縮ボタン（44）
再ダイヤル／発信メモリ／着信メモリ／ポーズボタン（34／35／71／44）
発信ボタン／ランプ（33）
確認／キャッチ／消去ボタン（18／90／36）
停止／♫ 保留ボタン（10／37）
アンテナ
留守／録音／再ガイドボタン／ランプ（50／89／10）
内線ボタン／ランプ（38）
機能ボタン（18）
スピーカー（33）
音量ボタン（27）
ダイヤルボタン（ダイヤルライトなし）

■子機が使用中のときは、親機の が点灯しています。消灯するまで親機で操作できません。

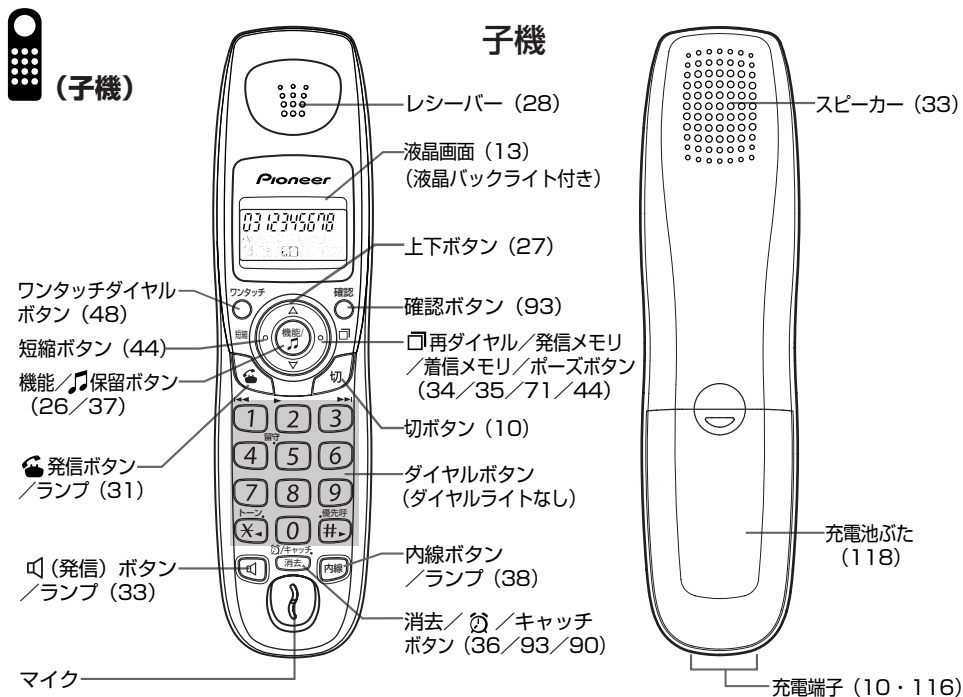
■点灯するボタンの種類とランプのつき方（例）

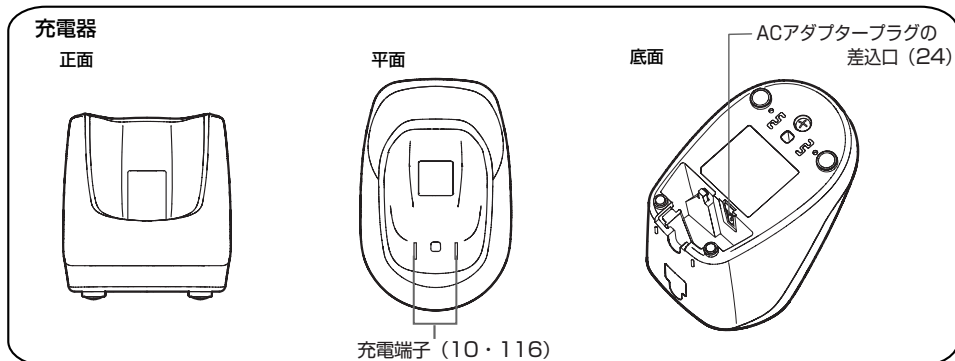
ボタンの種類	ランプの色	電話機の状態（ランプの状態）
留守／録音ボタン	オレンジ	留守セット中<用件なし>（点灯）、留守セット中<用件あり>（点滅）
ワンタッチダイヤルボタン※	オレンジ	ワンタッチダイヤルに登録されている相手からの電話に出られなかったとき（点灯）、ワンタッチダイヤルに登録されている相手から電話がかかってきているとき（早点滅）
発信ボタン	オレンジ	スピーカー拡声中（点灯）、保留中（点滅）
内線ボタン	緑	内線通話中・子機使用中（点灯）、内線の呼出中（早点滅）

※・・・ナンバー・ディスプレイご利用時のみ

● 電話回線種別（ダイヤル回線 ⇄ プッシュ回線）の切りかえスイッチはありません。電話機コードを接続すると、回線種別が自動的に選ばれ設定されます。電話機を移動したり、回線種別を変更（ダイヤル⇄プッシュ回線）したときは、再度電話回線の設定をしてください。（18ページ）

（子機）

子機

レシーバー（28）
液晶画面（13）
（液晶バックライト付き）
上下ボタン（27）
ワンタッチダイヤルボタン（48）
確認ボタン（93）
短縮ボタン（44）
再ダイヤル／発信メモリ／着信メモリ／ポーズボタン（34／35／71／44）
機能／♫保留ボタン（26／37）
切ボタン（10）
発信ボタン／ランプ（31）
ダイヤルボタン
（ダイヤルライトなし）
（発信）ボタン／ランプ（33）
内線ボタン／ランプ（38）
消去／⏰／キャッチボタン（36／93／90）
マイク
スピーカー（33）
充電池ぶた（118）
充電端子（10・116）

■点灯するボタンの種類とランプのつき方（例）

ボタンの種類	ランプの色	電話機の状態（ランプの状態）
発信ボタン	赤	通話中（点灯）、保留中・リモート操作中（点滅）
	赤・緑	充電器上で保留中（点滅）
	緑	充電中（点灯）、外線着信時・ドアホンや内線の呼出中（早点滅）
（発信）ボタン	赤	スピーカー拡声中（点灯）
内線ボタン	緑	内線通話中（点灯）、ドアホンや内線の呼出中（早点滅）

親機の準備

準
備

ご使用にあたってのお願い

本機をご使用にあたって､ＮＴＴのレンタル電話機が不要となる場合は､ＮＴＴへご連絡ください。
ご連絡していただいた日をもって、**「機器使用料」は、不要**となります。
くわしくは、**局番なしの116番（無料）**へお問い合わせください。

1 受話器コードとＡＣアダプターを接続し、アンテナを垂直に立て完全にのばす。

❹ つまようじ等の細い棒を穴に差し、リセットスイッチを押す

❺ アンテナを垂直に立て完全にのばしてお使いください。
アンテナの状態が悪いと電波が飛びにくくなり、子機を使用中に“ザッツザッツ”という雑音の入ることが多くなります。

液晶画面が自動的にいくつかの動作状態を表示（デモ表示）することがあります。

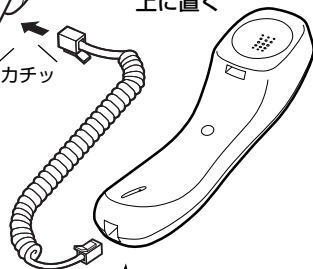
電話回線の自動設定が終わると止まります。
止まらない場合は、18ページの電話回線の手動設定を行なってください。

親機用ＡＣアダプターのコードを抜け防止用のフックに通す

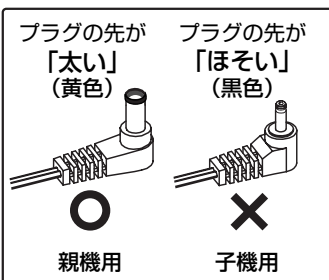
❸ 電源コンセント（AC100V 50/60Hz）
親機用ACアダプター（VT−14）を電源コンセントに差し込む

❶ 受話器コードを接続したあと、受話器を親機の上に置く

❷ プラグの先が太い方のＡＣアダプターを最後まで差し込む

プラグの先が「太い」（黄色）	プラグの先が「ほそい」（黒色）
○	×
親機用	子機用

「カチッ」と音がするまで確実に差し込んでください。

⚠警告

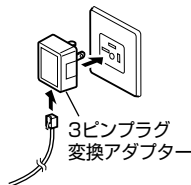
ACアダプターは必ず専用のものをお使いになり、それ以外のものは絶対にお使いにならないでください。火災の原因となることがあります。

おしらせ

- ファクシミリやＯＡ機器や冷蔵庫などの電源コンセントと同じコンセントにはつながないでください。雑音や誤動作の原因となります。
- ＡＣアダプターは常に接続しておいてください。ＡＣアダプターを接続しておかないと子機は使用できません。また、親機の登録操作や留守番機能などが使用できません。
- ＡＣアダプターや親機の底は多少あたたかくなりますが、異常ではありません。

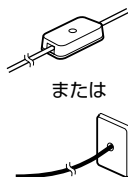
2 電話機コードを接続する

電話機コードを親機と電話回線に接続すると、自動的に回線種別が設定されます。
回線種別とは、NTTと契約されている電話回線の種別です。プッシュ回線（トーン）、ダイヤル回線（10PPS／20PPS）の3種類があります。

3ピンプラグ式のお宅

市販の3ピンプラグ変換アダプターをお求めください。

直結配線方式のお宅

最寄りのＮＴＴにご相談ください。

または

「カチッ」と音がするまで差し込む。
（抜くときは、プラグのレバーを押さえながら抜いてください。）

電話機コードを接続すると・・・

回線種別を自動的に選び始めます。
（電話回線の自動設定）

約6～40秒後「ダイヤル回線10です」「ダイヤル回線20です」「プッシュ回線です」のいずれかが聞こえたら、自動設定は終わりです。（ボタンの点滅や液晶画面の表示がとまります。）

必ず、電話がかけられることを確認してください。

■別売のターミナルボックス（94～95ページ）を接続しないときは、必ず付属の電話機コード（2芯）をお使いください。回線側が2芯以外の場合や、中間機器などが存在する場合に、4芯コードや6芯コードを接続すると故障・発熱・火災の原因となることがあります。

■電話回線の自動設定ができなかったとき、電話がかけられなかったときは、18ページをご覧ください。

⚠警告

この電話器の接続は、モジュラー方式（6極2芯式）です。ホームテレホンや構内交換機（PBX）には、そのまま接続できません。接続する場合には、別途工事が必要となります。工事に関しては、工事店にお問い合わせください。そのまま接続すると、必要以上の電流が流れ、故障・発熱・火災の原因となることがあります。

おしらせ

- ファクシミリに接続する場合はファクシミリに付属の取扱説明書に従って接続してください。接続について不明な点があるときは、ファクシミリのメーカーにお問い合わせください。
- ISDN回線またはADSL回線（IP電話サービス）をご利用になり、本機をTA（ターミナルアダプター、以下TA）またはスプリッタなどに接続してお使いになる場合は　通話の声が反響することがあります。この場合はTA・スプリッタ設定（113ページ）を行なうと改善される場合があります。

親機の準備（つづき）

電話機を移動したり、契約されている電話回線の種別をダイヤル回線 ⇄ プッシュ回線に変えたときは、以前の電話回線と違うため、電話がかけられないことがあります。そのときは、電話回線の設定を行なってください。

準備

電話回線の自動設定をするには

子機ではできません。

ACアダプターおよび電話機コードを接続後

受話器を置いた状態で ▶ **2秒以上押し続ける**

・・・電話回線の自動設定を始めます。
液晶画面がデモ表示になります。
回線種別の設定が終わると設定された回線を音声でお知らせします。

自動設定できなかったときは

電話回線の自動設定ができなかったときは、次のような音声ガイドが流れますので、ガイドにしたがって、手動で回線種別を設定してください。

「電話回線の設定をしてください。」

2〜3秒後

「電話回線の設定です。・・・・・」

プッシュ回線（トーン）にする 3 押す

ダイヤル回線（20PPS）にする 2 押す

ダイヤル回線（10PPS）にする 1 押す

最後に 機能 を押します。

電話がかけられなかったときは・・・

次のようなときは、回線種別が正しく選べないことがありますので、その場合は電話回線の手動設定をしてください。

- スプリッタ 一体型・ADSLモデムなどのADSL関連機器につないだとき
- パワードコム（東京電話）／QTNet（九州電話）アダプターなどにつないだとき
- LCR／ACR用アダプターにつないだとき
- ファクシミリにつないだとき
- ホームテレホンや構内交換機（PBX）などの内線電話機としてお使いになるとき
- 電話回線の事情などで合わないとき

回線種別を設定後に、電話回線の種別を変更されたときや引越などで電話機を別の場所に移動したとき、またはISDN回線あるいはADSL回線に変更されたときは、電話回線の自動設定または手動設定をしてください。

電話回線の手動設定をするには

電話回線の自動設定で回線を選択できなかったときや、ファクシミリ、ホームテレホンまたは構内交換機（PBX）などに接続しているとき、ISDN回線、あるいはADSL回線に変更されたときは、下記の操作をしてください。
くわしくは、19ページをご覧ください。

子機ではできません。

ACアダプターおよび電話機コードを接続後

プッシュ回線（トーン）にする

受話器を置いた状態で

⇩

117（時報）にかける　＊有料

⇩ かからないとき　⇩ かかるとき

ダイヤル回線　|　プッシュ回線

⇩

ダイヤル回線（20PPS）にする

受話器を置いた状態で

⇩

117（時報）にかける　＊有料

⇩ かからないとき　⇩ かかるとき

ダイヤル回線（10PPS）　|　ダイヤル回線（20PPS）

⇩

ダイヤル回線（10PPS）にする

受話器を置いた状態で

設定されている電話回線の種別を確認するには

子機ではできません。

受話器を置いた状態で ▶

・・・設定されている回線を音声でお知らせします。

ナンバー・ディスプレイの申し込みと本機の設定

●NTTとご契約後、ナンバー・ディスプレイをご利用になる方は（すでにご利用中の方も）、本機のナンバー・ディスプレイの設定を行なってください。（ナンバー・ディスプレイ　66ページ）

●NTTとご契約後、キャッチホン・ディスプレイをご利用になる方は（すでにご利用中の方も）、本機のキャッチホン・ディスプレイの設定を行なってください。（キャッチホン・ディスプレイ　70ページ）

キャッチホン・ディスプレイも合わせてご利用のとき　機能 ▶ 0 ▶ 6 ▶ 2 ▶ 機能

ナンバー・ディスプレイをお使いの場合の接続について

● 1つの回線にはナンバー・ディスプレイ対応の機器は1台しかつなげません。
2台以上お使いのときは、本機以外の機器（電話機やファクシミリなど）のナンバー・ディスプレイが**機能しないように**設定してください。

相手が電話をかけると

他の電話機

短い間隔の呼出音が鳴る
● 受話器を取り上げないでください。もし、受話器を取り上げたときは、すぐに戻してください。
受話器を取り上げたままにすると、相手の方は「ツーツー」と話し中になります。

↓

通常の呼出音が鳴る
● 受話器を取り上げれば、お話しできます。

■他の電話機に留守番機能があるときは、他の電話機の留守番機能がはたらかないようにしてください。

■短い間隔の呼出音で他の電話機が留守応答すると、本機のナンバー・ディスプレイ（64ページ）機能が使えなくなります。

本　機

呼出音が鳴らない
● 液晶画面に「CALL」が表示されます。
（電話番号などのデータを受信しています。）

↓

呼出音が鳴る
● 受話器を取り上げれば、お話しできます。
● ナンバー・ディスプレイをご利用の方は、液晶画面に電話番号などが表示されます。（67ページ）

● **ファクシミリとの接続**
ファクシミリの機種によっては、本機のナンバー・ディスプレイが表示されない、ファクシミリの受信ができないなど、本機と接続してご利用になれない場合があります。くわしくは、ファクシミリのメーカーにお問い合わせください。

● **ホームテレホン、構内交換機（PBX）との接続**
ナンバー・ディスプレイは、ご利用になれません。そのまま接続すると、必要以上の電流が流れ、故障・発熱・火災の原因となることがあります。接続には、別途工事が必要の場合があります。くわしくは、ホームテレホン、構内交換機（PBX）のメーカーにお問い合わせください。

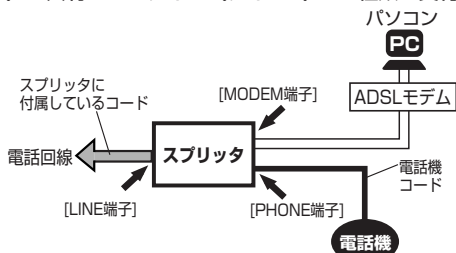
● **ISDN回線のTAとの接続**
ナンバー・ディスプレイ対応のTAをお使いください。くわしくは、TAのメーカーにお問い合わせください。（なお、INSナンバー・ディスプレイをNTTとご契約後、ナンバー・ディスプレイの設定を本機とTAの両方で行なってください。）
本機で行なう設定・・・ナンバー・ディスプレイの設定（66ページ）
TAで行なう設定・・・ナンバー・ディスプレイの設定
＊くわしくは、TAメーカーにお問い合わせください。

● 本機以外にナンバー・ディスプレイ対応のアダプター（表示器）は、お使いにならないでください。
本機だけでナンバー・ディスプレイがご利用になれます。

ADSLをご利用の場合は

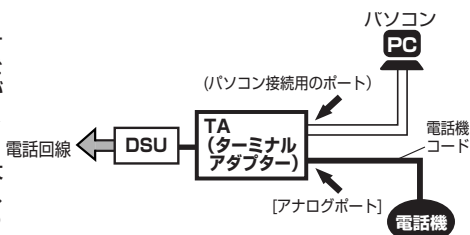
インターネットやパソコン通信でADSLをご利用になる場合は、スプリッタを用いて電話機とパソコンの両方を接続することができます。ADSLをご利用になるには、各ADSLサービス会社へのお申し込みが必要です。

- **ADSLには加入電話と共有するタイプ（タイプ1）と共有しないタイプ（タイプ2）の2種類の契約があります。タイプ2のときは、電話機をお使いになることができません。**

タイプ1のときは右図のようにスプリッタのPHONE端子に接続します。（各サービス会社によってPHONE端子という名称は異なる場合があります。）

- **ADSL回線（IP電話サービス）をご利用のときは、電話機での通話の声が大きくなりすぎる場合があります。このようなときは、「スプリッタ・TA設定」（113ページ）を行なってください。改善される場合があります。**
- **電話機の回線種別は、ご契約の回線種別に設定してください。正しく設定されていないと、電話機をご利用になれない場合があります。**

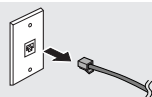
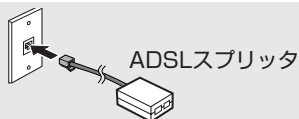
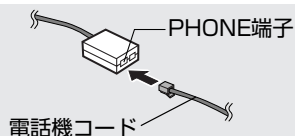
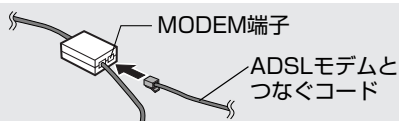
NTTのISDN回線をご利用の場合は

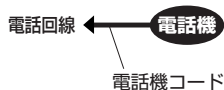
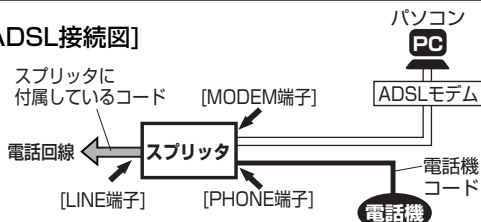
インターネットやパソコン通信でNTTのISDN回線（INSネット64）をご利用になる場合は、ISDNのTAを用いて電話機とパソコンの両方を接続することができます。ISDN回線をご利用になるには、NTTへのお申し込みが必要です。

- **ISDNのTAのアナログポート（TAメーカーにより名称が異なる場合があります）に電話機を接続します。**
- **TAとISDN回線の接続にはDSU（デジタルサービスユニット）が必要です。あらかじめご用意ください。なお、TAによってはDSUが内蔵されている機種もあります。くわしくは、TAに付属の取扱説明書をご覧ください。**
- **ISDNをご利用のときに、電話機での声が大きいときやハウリングが起こったときは、「スプリッタ・TA設定」（113ページ）を行なってください。改善される場合があります。**

- 接続についての詳細は、ご利用のパソコン、ADSLモデム、スプリッタ、TAなどに付属の各取扱説明書をお読みください。
- 一般回線やISDNからADSLに変更した場合、サービス会社や接続条件によっては下記のような症状が発生する場合があります。
  - ・電話に雑音が入ることがあります。その場合は各ADSLサービス会社へご相談ください。
  - ・電話番号を通知するように選択されていても、携帯電話・PHSに発信した場合は「非通知」になる場合があります。
  - ・発信時、局番の頭に0000、0120、0570、0990、186、184、122などをつけた場合、また110、119、177、117などの番号にかけたときに、電話がかからない（つながらない）などの現象が発生することがあります。このようなときは、NTTとご契約されている回線種別と電話機の回線設定（18ページ）が合っているかを確認してください。合っている場合は、各ADSLサービス会社へお問い合わせください。

パソコンでインターネットやEメールを利用するために電話回線の種類を変更したときは、電話機コードのつなぎかえや電話回線の種別を設定し直してください。

電話回線を一般回線からADSLに変更したときの接続例

1 電話回線から電話機の電話機コードを外す

2 電話回線にADSLスプリッタをつなぐ

3 電話機の電話機コードをスプリッタのPHONE端子につなぐ

4 スプリッタのMODEM端子にADSLモデムをつなぐ

●ADSLモデムとパソコンとのつなぎ方は、ADSLモデムに付属の取扱説明書をご覧ください。

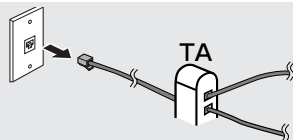
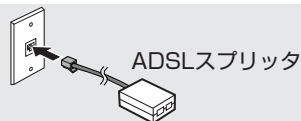
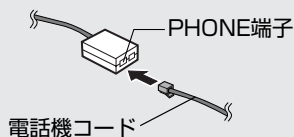
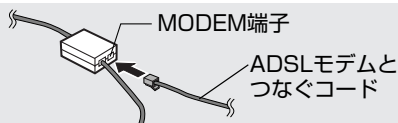
■接続にあたってはADSLモデムに付属の取扱説明書を必ずご覧ください。

おしらせ

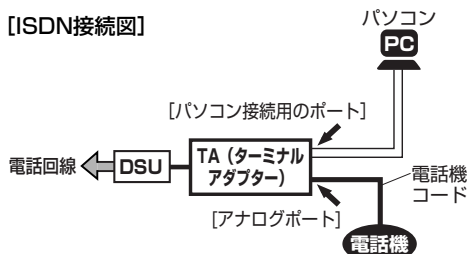
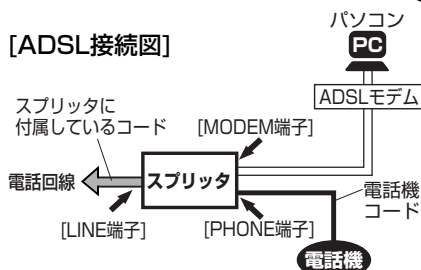
- ポートや端子の名前は、ADSLサービス会社やスプリッタのメーカーにより、異なる場合があります。
- ADSLはサービス提供会社により接続方法が異なる場合があります。必ず、ご利用になっているADSLサービス提供会社にご確認ください。

親機の準備（つづき）

パソコンでインターネットやEメールを利用するために電話回線の種類を変更したときは、電話機コードのつなぎかえや電話回線の種別を設定し直してください。

電話回線をISDNからADSLに変更したときの接続例

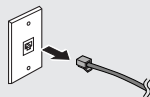
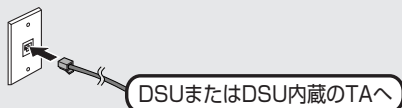
1 切りかえ工事が終了後、電話回線からISDNのTAまたはDSUにつながっている電話機コードを外す

2 電話回線にADSLスプリッタをつなぐ

3 ISDNのTAのアナログポートにつないでいた電話機の電話機コードをスプリッタのPHONE端子につなぐ

4 スプリッタのMODEM端子にADSLモデムをつなぐ

●ADSLモデムとパソコンとのつなぎ方は、ADSLモデムに付属の取扱説明書をご覧ください。

5 電話機の回線種別を契約している回線種別に設定する（18ページ）

おしらせ

- ポートや端子の名前は、ADSLサービス会社やスプリッタのメーカーにより、異なる場合があります。
- ADSLはサービス提供会社により接続方法が異なる場合があります。必ず、ご利用になっているADSLサービス提供会社にご確認ください。

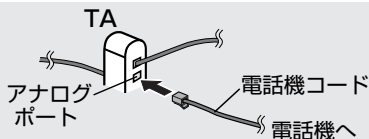
パソコンでインターネットやEメールを利用するために電話回線の種類を変更したときは、電話機コードのつなぎかえや電話回線の種別を設定し直してください。

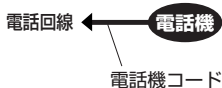
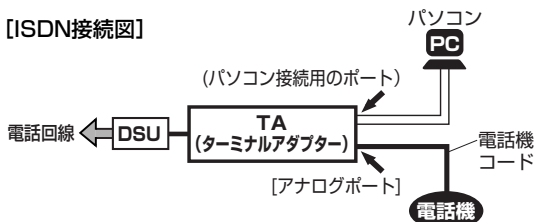
電話回線を一般回線からISDNに変更したときの接続例

1 電話回線から電話機の電話機コードを外す

2 電話回線にDSUをつなぐ

●DSU内蔵のTAもあります。くわしくはTAに付属の取扱説明書をご覧ください。

3 ISDNのTAを設置し、パソコン接続用のポートにパソコンを接続する

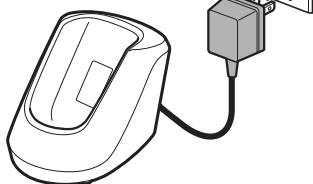
●TAとパソコンのつなぎ方は、TAに付属の取扱説明書をご覧ください。

4 電話機の電話機コードをTAのアナログポートにつなぐ

5 電話機の回線種別を“プッシュ”に設定する（18ページ）

[参考]

■接続にあたってはTAに付属の取扱説明書を必ずご覧ください。

- ポートや端子の名前は、TAのメーカーにより、異なる場合があります。
- TAによっては、電源を入れないと電話機が動作しないものがあります。くわしくはTAに付属の取扱説明書をご覧ください。
- ISDN回線には極性があります。必ず極性を合わせてください。くわしくはTAに付属の取扱説明書をご覧のうえ、TAメーカーにお問い合わせください。

子機を充電する

❶ 充電器に子機用ACアダプターを接続する

⚠警告

ACアダプターは必ず専用のものをお使いになり、それ以外のものは絶対にお使いにならないでください。火災の原因となることがあります。

❷ 子機を充電器に置く
（自動的に電源が入ります。）

充電開始
（充電池（ニカド電池）はすでに子機に入っています。）

- はじめてお使いのときは、必ず、連続10時間以上充電してください。
  充電が完了しても発信ランプは緑点灯し続けます。

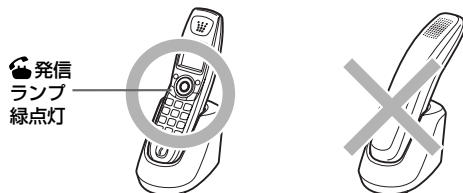
必ず、ダイヤル面を手前にして置いてください。

逆向きに置くと充電できません。

発信ランプ緑点灯

⚠注意

充電池の充電温度範囲は5℃～35℃です。この温度範囲以外で充電すると、液もれや発熱したり、充電池の性能や寿命を低下させる原因となることがあります。

■充電池（ニカド電池）が完全に消耗しているときは、子機を充電器にのせてもすぐに点灯しない場合があります。そのときは、充電器に置いたままお待ちください。約10分で点灯します。

- 子機をお使いの後は、いつも充電器に戻しておいてください。戻さないと、まったく使わなくても充電池（ニカド電池）は徐々に消耗します。
- 充電のしすぎによって故障することはありません。

子機の要充電表示について

充電池（ニカド電池）が消耗すると、液晶画面の が点滅し、子機は使用できなくなります。

充電器にないとき	発信ランプ遅点滅。 点滅
通話中のとき	警告音が「ピ、ピ、ピ・・・」と鳴り電話が切れます。 点滅

⚠危険

充電器は必ず専用のものをお使いください。それ以外の充電器で充電すると充電池の液もれ、発熱、破裂により、火災・やけど・けがの原因となることがあります。

使用時間について

待ち受け時間	約180時間	連続通話時間	約9時間

おしらせ

- 使い方によって異なりますが、充電池の寿命は約2年です。
- いっぱいに充電しても、すぐに警告音が出るときは、新しい充電池に交換してください。（118ページ）
- 待ち受け時間とは、子機を充電器に置かず、一度も通話や登録操作などをしない状態での使用時間のことです。通話したり、呼出音が鳴ったりすると、使用時間は短くなります。
- 充電池が消耗すると、通話中の雑音が多くなり、親機とつながりにくくなります。
- 子機の充電中は子機の一部が多少あたたかくなりますが、異常ではありません。
- 子機に充電池を入れたまま、数週間充電しないで放置すると、急速に充電池が消耗し、充電できなくなる場合があります。（長時間ご使用にならないときは、充電池を子機から取り外してください。）

時計を合わせる

時計を合わせると、現在の時刻を表示できます。また、親機の時計を合わせると留守中に録音される用件にも日付と時刻が記録（タイムスタンプ）されます。さらに、ナンバー・ディスプレイ（64ページ）ご利用時、着信メモリ（71～72ページ）にも日時が記録されます。
お買い上げ時、現在日時は登録されていません。親機と子機の時計はそれぞれ登録してください。

西暦・日付・時刻を登録するには

受話器を置いた状態で

1 機能 押す

2 1 3 と押す

3 ダイヤルボタンで年月日と時刻を入力する
（例）“2004年9月13日の午後7時5分”のとき

4 機能 押す

■ 操作を間違えたときは キャッチ/消去 確認 を押して、入力し直します。
■ 登録した年月日と時刻を修正したいときは、はじめからやり直してください。

親機の日時・時刻を確認するには

子機ではできません。

受話器を置いた状態で ▶ キャッチ/消去 確認 ▶ 1 3

・・・日付と時刻を液晶画面と音声でお知らせします。

西暦・日付・時刻を合わせるときは

年は西暦の下2桁で入力してください。
- 平成で入力すると正しく動作しません。必ず、西暦で入力してください。（西暦で入力しないと、うるう年の計算を正しく行なえません。）

（例）2004年（平成16年）のとき

○ 0 4（西暦下2桁）

× 1 6（平成）

時刻は24時間制で入力してください。
- 1桁のときは、最初に“0”をつけてください。

（例）2月→ 0 2　午前8時→ 0 8

（例）2004年9月13日の午後7時5分にするとき

0 4 0 9 1 3 1 9 0 5

西暦（2桁）　日付（4桁）　時刻（4桁）

（例）2005年3月12日の午前9時35分にするとき

0 5 0 3 1 2 0 9 3 5

おしらせ
- 西暦は2000年から2099年まで設定できます。
- 時計表示や通話時間表示は、あくまでも目安としてご使用ください。
- 時計表示に誤差が生じた場合は、登録し直してください。（時間精度：平均月差±60秒以内）

時計を合わせる（つづき）

時刻を登録するには （子機）

登録したい子機で行なってください

切ボタンを押してから

1

押す

2

押す

3

時刻を入力する

（例）

0 8 1 5

と押す

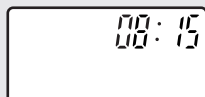
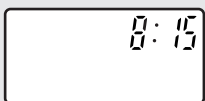
（例）午前8時15分のとき

08：15

4

押す

■ 操作を間違えたときは 切 を押して、はじめからやり直します。

■ 登録した時刻を修正したいときは、手順3で ＊◂ または ＃▸ を使って、カーソルを修正したい数字へ移動させて、入力し直してください。

時刻を合わせるときは

時刻は24時間制で入力してください。

● 1桁のときは、最初に“0”をつけてください。

（例）午前6時→ 0 6 7分→ 0 7

（例）午前8時15分のとき

（例）午後2時30分のとき

● 子機で年月日を登録することはできません。

● 子機の時計を合わせてもタイムスタンプや着信メモリの日時は記録されません。親機の時計を合わせてください。（25ページ）

● 通常状態のときに 切 を押すと、子機のバックライトが約20秒間点灯し、時刻が見やすくなります。切 を押すたびに、点灯⇄消灯します。（この機能は解除することができません。）

● 現在時刻が設定されていないと、モーニングコール（93ページ）を設定することはできません。

音量を調節する

親機の呼出音量を調節するには（親機）

親機の呼出音量を「特大」から「消音」まで5段階に調節できます。
お買い上げ時は、「特大」に設定されています。

受話器を置いた状態で

1 音量 押す

●ボタンを押すたびに ▶小▶中▶大▶特大 と切りかわります。

（例）“音量小”のとき　（例）“音量特大”のとき

2 機能 押す

親機の呼出音を鳴らしたくないときは（消音）（親機）

受話器を置いた状態で

音量 2秒以上押し続ける

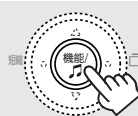
●消音を設定すると 消音 が表示されます。

■消音を解除するときは、受話器を置いた状態で、音量 を押してください。液晶画面の 消音 が消灯し、消音設定前の音量に戻ります。

子機の呼出音量を調節するには（子機）

子機の呼出音量を「大」、「小」「消音」に調節できます。それぞれの子機で行なってください。
お買い上げ時は、「大」に設定されています。

切ボタンを押してから

1

押す

2 ▽ または △ を押して好みの音量を選ぶ

（例）“音量小”のとき

●消音の設定もここで行ないます。
消音を解除するときは音量小か音量大のいずれかを選んでください。

3

押す

■呼出音量を消音に設定したときは、消音を解除するまで、親機や子機の液晶画面にそれぞれ 消音 が表示されています。

■内線とドアホンの呼出音量は、ここで設定する呼出音量と同じ音量になります。
ただし、「消音」が設定されていても、内線とドアホンの呼出音量は、親機は「消音」を設定する前の呼出音量と同じ音量で、子機は「小」で鳴ります。

■子機は、外から電話がかかってきて呼出音（鳴り分けを含む）が鳴っているときに、直接 切 を押すと、その呼出しに限り、呼出音を止めることができます。（子機ごとに止められます。親機ではできません。）なお、クイック通話（98ページ）が設定されているときに、充電器から子機をとって 切 を押すと通話が切れます。

おしらせ

●親機の消音が設定されているときに留守セットすると、親機の呼出音やスピーカーからの音を出さずに留守番録音することができます。この場合でも子機の呼出音は鳴ります。（消音留守セット　54ページ）

親機のスピーカー音量を調節するには （親機）

スピーカー拡声中や用件の再生などに使うスピーカーの音量を4段階に調節できます。
お買い上げ時は、「大」に設定されています。

スピーカー拡声中に

音量 押す

（例）“音量小”のとき　（例）“音量大”のとき

ボタンを押すたびに、→小▸中▸中大▸大 と切りかわります。

子機のスピーカー音量を調節するには （子機）

スピーカー拡声中に使うスピーカーの音量を2段階に調節できます。
お買い上げ時は、「小」に設定されています。

スピーカー拡声中に

小さくするとき

大きくするとき

小 ⇄ 大　と切りかわります。

親機の受話音量を調節するには （親機）

受話器の音量を3段階に調節できます。
お買い上げ時は、「標準」に設定されています。

受話器で通話中に

押す

（例）“音量標準”のとき　（例）“音量特大”のとき

ボタンを押すたびに、→標準▸大▸特大 と切りかわります。
（特大を選ぶと特大受話音量に設定できます。）

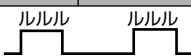
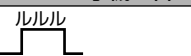
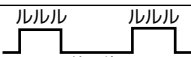
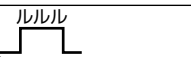
子機の受話音量を調節するには （子機）

子機のレシーバーからの音量を2段階に調節できます。
お買い上げ時は、「標準」に設定されています。

通話中に

小さくするとき

大きくするとき

標準 ⇄ 特大　と切りかわります。
（特大を選ぶと特大受話音量に設定できます。）

- スピーカーから音が聞こえていないときに、親機の音量ボタンを押すと、スピーカー音量ではなく現在設定されている呼出音量が表示されます。
- 調節したスピーカー音量と受話音量は、電話を切っても変わりません。

呼出音・警告音の種類

（任意に選ぶことができる呼出音）

呼出音が鳴るとき	親機の音	子機の音
外からの電話（お買い上げ時）	ベル1 ルルルル ルルルル 約2秒（お買い上げ時の設定です。他の呼出音にも切りかえられます。 30ページ）	
鳴り分け（お買い上げ時）	ベル1 ルルルル ルルルル 約2秒（お買い上げ時、鳴り分けは「OFF」に設定されています。この場合、通常の呼出音と同じ呼出音が鳴ります。他の呼出音にも切りかえられます。 75～76ページ）	

■ 子機は、外から電話がかかってきて呼出音（鳴り分けを含む）が鳴っているときに、直接「切」ボタンを押すと、その呼出しに限り、呼出音を止めることができます。（子機ごとに止められます。親機ではできません。）なお、クイック通話を設定しているときに充電器から子機をとって「切」ボタンを押すと、通話が切れます。

■ 本機の鳴り分け（75～76ページ）は、NTTのナンバー・ディスプレイ（64ページ）をご契約し、本機で設定操作しないと機能ははたらきません。

■ ホームテレホンや構内交換機（PBX）などに接続してご使用の場合は、呼出音が上記のように鳴らないことがあります。

（選ぶことができない呼出音）

呼出音が鳴るとき	親機の音	子機の音
内線通話	ピロピロ ピロピロ 約2.5秒 ピロピロ ピロピロ 約2.5秒	
子機間通話／子機間転送（TF-EVH133・EVH134をお使いのとき）	――	ピロピロ ピロピロ 約2.5秒 ピロピロ ピロピロ 約2.5秒
とりつぎ（TF-EV130をお使いの方が、子機を増設したとき）	――	ピピピ ピピピ ピピピ 約1秒 ピピピ ピピピ ピピピ 約1秒
1台目のドアホン	「ピポピポピポピポ　ピポピポピポピポ」	
2台目のドアホン	「ピポピポ　ピポピポ　ピポピポ」	

■ ドアホンは、TF-EVH133・EVH134をお使いの方のみの機能です。

（設定音・警告音）

設定音・警告音が鳴るとき	親機の音	子機の音
子機で通話中に親機から離れすぎたとき	――	「ピピピピ・・・」
登録・設定が完了したとき	「ピー」	
登録・設定ができなかったとき	「ピピピ」	
通話中に充電池が消耗したとき	――	「ピッ・・・ピッ・・・」

■ 子機で電話をかけようとすると「プー・プー…」と鳴ってつながらないことがあります。この音は親機や他の子機が使用中であるか、親機のACアダプターが抜けているため、電話をかけられないことをお知らせしています。親機や他の子機を確認してから、もう一度電話をかけてください。

呼出音の種類を変える

外からの呼出音を親機は10種類、子機は4種類の中から選ぶことができます。
お買い上げ時は、親機、子機ともに「ベル1〈ルルルル〉」に設定されています。

準備

親機の呼出音の種類を変えるには

（親機）

受話器を置いた状態で

1 と押す

2 （例）

呼出音の番号を押す
（1～9、0のいずれか1つ）
（例）"華麗なる大円舞曲"のとき

- 番号を押すたびに、呼出音が鳴ります。このとき #▼ を押すと、現在設定されている呼出音を確認することができます。
- ここでお知らせするときの音量は、呼出音量（27ページ）で選んだ大きさです。

3 機能 押す

●親機の呼出音の種類（10種類）

押すボタン	曲　名（作曲者名）
1	ベル1〈ルルルル〉
2	ベル2〈ピロロピロロ〉
3	春～四季より～（アントーニオ　ヴィヴァルディ）
4	森のくまさん（不詳　アメリカ民謡）
5	ユーモレスク（アントニーン　ドヴォルジャーク）
6	華麗なる大円舞曲（フレデリック　フランソア　ショパン）
7	ラデツキー行進曲（ヨハン　シュトラウス）
8	G線上のアリア（ヨハン　ゼバスティアン　バッハ）
9	花のワルツ（ピョトル　イリイチ　チャイコフスキー）
0	家　路（アントニーン　ドヴォルジャーク）

子機の呼出音の種類を変えるには

（子機）

切ボタンを押してから

1 1 と押す

2 （例）3

呼出音の番号を押す
（1～4のいずれか1つ）
（例）"春～四季より～"のとき

- 番号を押すたびに、呼出音が鳴ります。このとき #▸ を押すと、現在設定されている呼出音を確認することができます。
- ここでお知らせするときの音量は、呼出音量（27ページ）で選んだ大きさです。

3 押す

●子機の呼出音の種類（4種類）

押すボタン	曲　名（作曲者名）
1	ベル1〈ルルルル〉
2	ベル2〈ピピピ〉
3	春～四季より～（アントーニオ　ヴィヴァルディ）
4	森のくまさん（不詳　アメリカ民謡）

おしらせ

- 内線やドアホンの呼出音の種類を変えることはできません。
- 親機のメロディは3和音、子機のメロディは単音です。

電話をかける／受ける

親機で電話をかけるには（親機）

1 とる

「ツー」音が聞こえたら

2 ダイヤルする

03 12345678

3 相手の方と話す

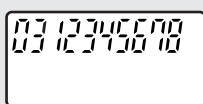
通話が終わったら

4 戻す

子機で電話をかけるには（子機）

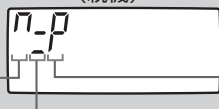
1 とる
または［外線］押す（点灯）

2 ダイヤルする

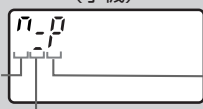
03 12345678

3 相手の方と話す

通話が終わったら

4 戻す
または［切］押す

［＊▲］［＊◀］、［＃▼］［＃▶］、［発信/着信メモリ］［機能/♪］（ポーズボタン）を押したとき、液晶画面は次のように表示されます。

（親機）
n_P
［＊▲］を押したとき
［＃▼］を押したとき
［発信/着信メモリ］を押したとき

（子機）
n_P
［＊◀］を押したとき
［＃▶］を押したとき
［機能/♪］を押したとき

おしらせ

- 間違い電話を防ぐために「ツー」という音を確かめたあと、正しくダイヤルしてください。
- 子機は、電話番号を入力したあとに［外線］を押しても電話をかけることができます。
- 子機で電話をかけようとしたときに、子機から「プー・プー…」と聞こえたときは、親機または他の子機が使用中です。
- 液晶画面で通話時間を表示します。（あくまでも目安としてご使用ください。）

電話をかける／受ける（つづき）

親機で電話を受けるには（親機）

呼出音が鳴ったら

1 とる

2 相手の方と話す

▶ 通話が終わったら、受話器を戻します。

子機で電話を受けるには（子機）

呼出音が鳴ったら

1 とる

または 押す（点灯）

2 相手の方と話す

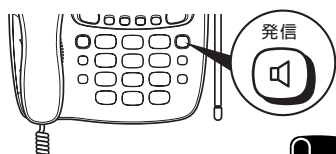
▶ 通話が終わったら、充電器に戻します。

または 切 を押します。

おしらせ

- ISDN回線のTAのアナログポート（TAメーカーにより名称が異なる場合があります。）に接続してお使いになる場合は、NTT回線に接続してお使いになる場合より、通話の声が大きくなりすぎたり、ハウリングが起こる場合があります。この場合は「スプリッタ・TA設定」（113ページ）を行なってください。改善される場合があります。
- ADSL回線（IP電話サービス）をご利用の電話回線に接続してお使いになる場合は、通話の声が大きくなりすぎる場合があります。この場合は、「スプリッタ・TA設定」（113ページ）を行なってください。改善される場合があります。
- 子機の液晶画面のバックライトは、省電力のため通話中であっても、最後にボタンを押してから約20秒で消灯します。
- 本機を事務所など騒音の激しい場所でお使いの場合は、通話時にマイクが周囲の騒音を拾うため、相手の声が聞き取りにくくなることがあります。このようなときは、「スプリッタ・TA設定」（113ページ）を行なってください。
- 電話をかけようとしたときに、受話器（または子機）から「ププッ、ププッ」という音がする場合があります。これは、「キャッチホンⅡやマジックボックスのメッセージ預かり」の通知音です。

相手が電話にでてから通話する（オンフックダイヤル／スピーカー拡声）

相手が電話にでてから、通話にうつることができます。また、受話器や子機を持たずにテレホンサービスなどをスピーカーで聞くことができます。ただし、停電中は使用できません。

親機で電話をかけるには（親機）

1 発信 押す（点灯）

「ツー」音が聞こえたら

2 ダイヤルする

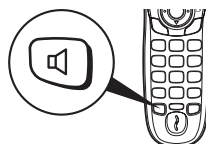
0312345678

相手の声がスピーカーから聞こえたら

3 受話器をとって話す

通話が終わったら

4 戻す

■ 親機でスピーカー拡声をしているときは、発信を押して電話を切ることができます。

子機で電話をかけるには（子機）

1 とる

2 押す（点灯）

3 ダイヤルする

0312345678

相手の声がスピーカーから聞こえたら

4 を押して、話す

▶ 通話が終わったら 切 を押します。
または充電器に戻します。

おしらせ

- 停電中はオンフックダイヤルを使用することは、できません。
- 子機の液晶画面のバックライトは、省電力のためスピーカー拡声中であっても、最後にボタンを押してから約20秒で消灯します。

電話をかけ直す（再ダイヤル）

最後にかけた相手に簡単な操作でかけ直すことができます。相手が話し中や留守のときのかけ直しに便利です。

親機でかけ直すには（親機）

1 とる

「ツー」音が聞こえたら

2 発信/着信メモリ 押す

通話が終わったら

3 戻す

子機でかけ直すには（子機）

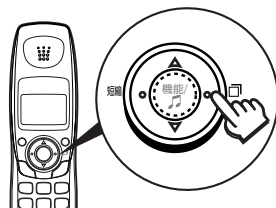
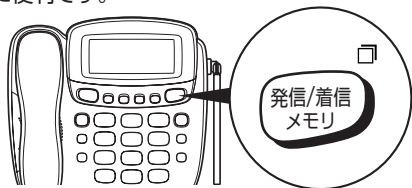
1 とる

または 押す（点灯）

2 押す

通話が終わったら

3 戻す

または 切 押す

- かけ直しできる電話番号は最大20桁です。
- ＊, #,ポーズ（44ページ）なども1桁として記録されます。
- 再ダイヤルの電話番号は、親機と子機で別々に記録されます。
- 再ダイヤルの電話番号を消す場合は、発信メモリ消去の操作をしてください。（36ページ）

発信メモリを確認する／かけ直す

かけた相手の電話番号を自動的に、親機は最大10件、子機は最大5件（1件につき最大20桁まで）記録し確認することができます。（発信メモリ）　この発信メモリを使うとその番号へ簡単な操作でかけ直すことができます。

親機の発信メモリを確認してかけ直すには

受話器を置いた状態で

1

押す

●最後にかけた電話番号が表示されます。

2 （#▼）または（✱▲）を押して発信メモリを確認する

●操作を途中で止めるときは（♫保留 停止）を押します。

かけ直したい番号が表示されたら

3 とる

●表示された電話番号に自動的にダイヤルします。

▶ 通話が終わったら、受話器を戻します。

子機の発信メモリを確認してかけ直すには

切ボタンを押してから

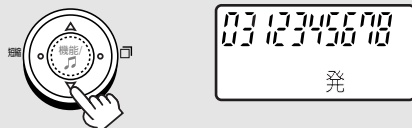
1

押す

06 12345678
発

●最後にかけた電話番号が表示されます。

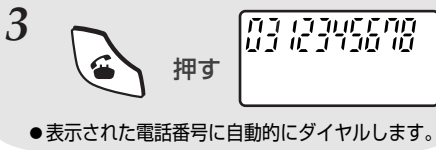
2 ▽ または △ を押して発信メモリを確認する

03 12345678
発

●操作を途中で止めるときは（切）を押します。

かけ直したい番号が表示されたら

3

押す

03 12345678

●表示された電話番号に自動的にダイヤルします。

▶ 通話が終わったら、充電器に戻します。

または（切）を押します。

●発信メモリは、親機と子機で別々に記録されます。
●発信メモリが親機は10件、子機は5件を超えると、古いものから順に消去され、新しい電話番号が記録されます。
●手順2で親機は（#▼）、子機は上下ボタンの下向きの ▽ を押すと、最後にかけた番号の1つ前から順にさかのぼって表示します。
●かけたい電話番号を表示させたあと、親機は（発信）、子機は（スピーカー）を押すと、表示されている電話番号に自動的にダイヤルし、スピーカー拡声を利用することができます。
●手順2でかけたい電話番号を表示させた後、「184」「186」などの番号（特番ダイヤル）を押してから、親機は受話器をとる、子機は（外線）を押すと、電話番号の前にその番号をつけて電話をかけることができます。（特番ダイヤルは最大10桁まで入力できます。）
●ナンバー・ディスプレイをご利用時、発信メモリがないときは、手順1で着信メモリが表示されます。
●12桁以上の電話番号はスクロール表示されます。

発信メモリを消去する

親機の発信メモリを1件ずつ消去するには（一件消去）（親機）

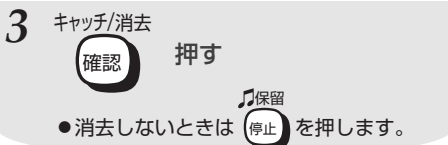
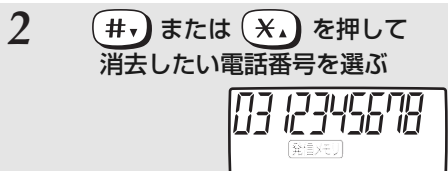
受話器を置いた状態で

1 発信/着信メモリ 押す

2 #▼ または ✱▲ を押して消去したい電話番号を選ぶ

3 キャッチ/消去 確認 押す

●消去しないときは ♫保留 停止 を押します。

4 キャッチ/消去 確認 押す

■ 12桁以上の電話番号はスクロール表示されます。

子機の発信メモリを1件ずつ消去するには（一件消去）（子機）

切ボタンを押してから

1 押す

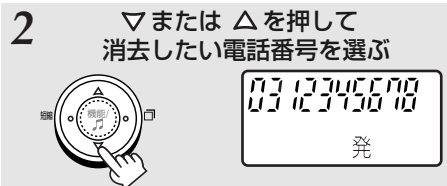
06 12345678
発

2 ▽または △を押して消去したい電話番号を選ぶ

03 12345678
発

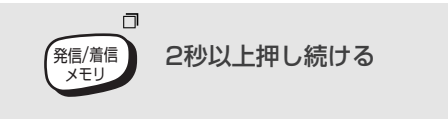
3 ⏰/キャッチ 消去 押す

●消去しないときは 切 を押します。

4 ⏰/キャッチ 消去 押す

■ 12桁以上の電話番号はスクロール表示されます。

親機の発信メモリをすべて消去するには（全件消去）（親機）

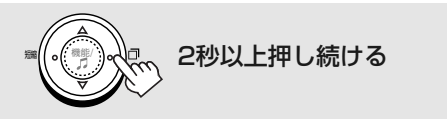
受話器を置いた状態で

2秒以上押し続ける

▶「消去しました」とお知らせし、発信メモリがすべて消去されます。

■ 着信メモリがあるときは、着信メモリもすべて消去されます。発信メモリのみを全消去することはできません。

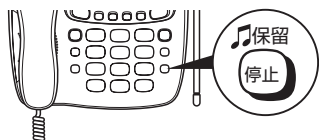
子機の発信メモリをすべて消去するには（全件消去）（子機）

切ボタンを押してから

2秒以上押し続ける

▶「ピー」と鳴り、発信メモリがすべて消去されます。

■ 着信メモリがあるときは、着信メモリもすべて消去されます。発信メモリのみを全消去することはできません。

通話中、相手に待ってもらう（保留）

通話中、相手に待ってもらう間、保留メロディを流すことができます。こちらの声や音は、相手に聞こえません。お買い上げ時は「カノン」に設定されています。

●保留音の種類（3種類）

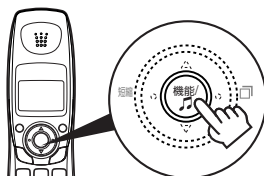
曲　名	作曲者名
カノン	ヨハン　パッヘルベル
大きな古時計	ヘンリー　クレイ　ワーク
主よ、人の望みの喜びよ	ヨハン　ゼバスティアン　バッハ

親機で保留メロディを流すには（親機）

通話中に

1 保留/停止 押す

通話に戻るときは

2 保留/停止 押す

子機で保留メロディを流すには（子機）

通話中に

1
押す

通話に戻るときは

2
押す

保留メロディを切りかえるには（親機）

子機ではできません。

親機で保留中に
- 【カノンのとき】 7 押す
- 【大きな古時計のとき】 8 押す
- 【主よ、人の望みの喜びよのとき】 9 押す

・・・最後に流れた保留メロディに設定されます。

■ 子機の保留メロディは、親機で設定したメロディになります。
■ 保留音の切りかえは、親機で操作してください。（子機では切りかえることができません。）
■ 親機は通話をしていない状態で、保留/停止 を押してから 7 8 9 を押しても、保留メロディを切りかえることができます。

親機で保留中に、子機で電話にでるには

親機で保留した後、受話器を戻して子機の（通話）を押すと、その子機で通話することができます。

子機で保留中に、親機や他の子機で電話にでるには

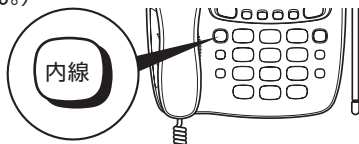
子機で保留した後、充電器に戻すか（切）を押します。この後、親機の受話器をとると親機で、他の子機の（通話）を押すとその子機で、通話することができます。

おしらせ

- 内線通話は保留できません。
- 保留中に受話器を親機に戻しても、また、保留した子機を充電器に戻しても電話は切れません。（ただし、子機は保留して約15分が経過すると、自動的に電話が切れます。）
- 親機（または子機）で保留したあと、他の子機や親機でドアホンに応答すると、ドアホン通話終了まで、保留した親機（または子機）で通話に戻ることはできません。他の子機でドアホンに応答したときは、ドアホン通話終了時に保留メロディが流れますので、（切）を押す、または充電器に戻すと、保留した親機（または子機）で通話に戻ることができます。

親機と子機で話す（内線通話）

親機と子機で話すことができます。（通話料金はかかりません。）

■ TF-EVH133・EVH134をお使いの方は、子機どうしで話すこともできます。
（子機間通話　42ページ）

親機から子機を呼出して話をするには

（親機）（送り手）

（子機）（受け手）

受話器を置いた状態で

1

とる ▶ 押す（点滅）

内線の呼出音が鳴る

子機を2台以上お使いのときは、内線番号を押す

子機1を呼出すとき： 1 押す

子機2を呼出すとき： 2 押す

子機3を呼出すとき： 3 押す

子機4を呼出すとき： 4 押す

・内線番号を押すと 内線 が早点滅します。

とる

または 内線 押す（点灯）

2

子機と話をする

親機と話をする

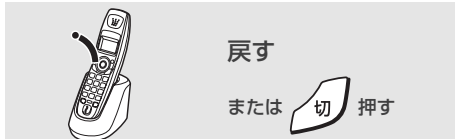
終わるときは

3

戻す

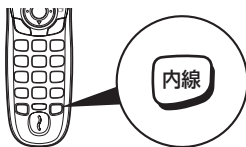
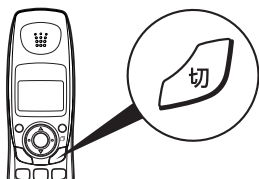
終わるときは

戻す

または 切 押す

内線通話中にかかってきた電話にでるには

内線通話中に電話がかかってくると、呼出音が聞こえます。（子機はレシーバーから聞こえます。）外からの電話にでるときは、手順3の操作をして内線通話を終わらせてから、親機は受話器を持ち上げてください。子機は充電器からとるか、 を押してください。

おしらせ

- 送り手が呼出しを止めたいときは、受話器を戻してください。
- 手順1で、受話器をとらずに 内線 を押しても、内線通話をすることはできません。

子機から親機を呼出して話をするには

（子機）（送り手）

（親機）（受け手）

1

内線の呼出音が鳴る

●TF-EVH133・EVH134をお使いのときは、

と押す

とる

2

親機と話をする

子機と話をする

終わるときは

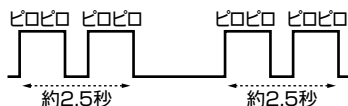
終わるときは

3

戻す

または 切 押す

戻す

内線通話の呼出音

●送り手が呼出しを止めたいときは、内線 または を押してください。

親機や子機に電話をまわす（保留転送）

外からの電話を親機や子機にまわすことができます。（親機：）（子機：）

親機から子機にまわすには （親機）

通話中に

1 押す（点滅）

●相手に保留メロディが流れます。

子機を2台以上お使いのときは

子機1にまわすとき：［1］押す

子機2にまわすとき：［2］押す

子機3にまわすとき：［3］押す

子機4にまわすとき：［4］押す

（子機）呼出音が鳴ったら・・・

とる

または［内線］押す（点灯）

子機がでたら

2

子機と話をする

終わるときは

3

戻す

▶ 外からの電話が子機につながります。

子機から親機にまわすには （子機）

通話中に

1 ［内線］ 押す（点滅）

●相手に保留メロディが流れます。

子機を2台以上お使いのときは、

［0］押す

（親機）呼出音が鳴ったら・・・

とる

親機がでたら

2

親機と話をする

終わるときは

3

戻す

または［切］押す

▶ 外からの電話が親機につながります。

ひとりで親機または他の子機にまわすには

親機で保留したあと、受話器を戻して子機の［外線］を押すと、子機で通話できます。
子機で保留したあと、充電器に戻すか［切］を押して、親機の受話器をとったり、他の子機の［外線］を押すと、親機や他の子機で通話することができます。

●呼出しを止めたいときは、親機は、子機はか［切］を押してください。

このあと、外からの通話に戻るには、親機は♫保留、子機はを押してください。

●通話録音中、子機に電話をまわすと通話録音が自動的に終わります。（通話録音　89ページ）

ホームテレホン

子機から子機に電話をまわす（とりつぎ）

（子機）

【TF-EV130に子機を増設したとき使えます。】
外からの電話を子機から子機にまわすとき、ひとこと（約10秒以内）そえることができます。通話はできません。送り手から受け手に一方的に（約10秒以内）話すことができるだけで、受け手の声は聞こえません。

（操作例）子機1（内線番号1）で受けた電話を子機2（内線番号2）にとりつぐとき

（子機1）（送り手）

（子機2）（受け手）

通話中に

1 内線 押す（点滅）

●相手に保留メロディが流れます。

とりつぎの呼出音が鳴る

2 内線番号を押す

（例） 2 押す

子機1を呼出すとき： 1 押す

子機2を呼出すとき： 2 押す

子機3を呼出すとき： 3 押す

子機4を呼出すとき： 4 押す

●内線番号を押すと 内線 が早点滅します。

とる

または 内線 押す（点灯）

「ピーピピ」と鳴ったら

3 電話をまわすことを伝える（最大約10秒）
一方通行なので相手の声は聞こえません。

「ピーピピ」と鳴ったら

送り手の話を聞く
こちらから返事はできません。

終わるときは

4 戻す

または 切 押す

●外からの電話が受け手につながります。

「ピーピピ」と鳴ったら

電話をかけてきた相手と話をする

■ 送り手と受け手が上記以外の場合も同様にしてまわすことができます。

「とりつぎ」では、子機どうしで通話することができません。

おしらせ

- 送り手が呼出しを止めたいときは、内線 か 切 を押してください。このあと、外からの通話に戻るには を押してください。
- 手順3でひとことそえるとき約10秒を超えると、「ピーピピ」と鳴って、自動的に外からの電話が受け手とつながります。

子機どうしで話す（子機間通話）

TF-EVH133・EVH134のとき

（子機）

【TF-EVH133・EVH134をご使用のとき使えます。】
子機どうしで話すことができます。（通話料金はかかりません。）

（操作例）子機1（内線番号1）から子機2（内線番号2）を呼出して話をするとき

（送り手）（子機1）

（受け手）（子機2）

1 とる ▶ 内線 押す（点滅）

内線の呼出音が鳴る

2 内線番号を押す

（例） 2 押す

子機1を呼出すとき： 1 押す

子機2を呼出すとき： 2 押す

子機3を呼出すとき： 3 押す

子機4を呼出すとき： 4 押す

●内線番号を押すと 内線 が早点滅します。

とる

または 内線 押す（点灯）

3 子機2と話をする

 子機1と話をする

終わるときは

4 戻す

または 切 押す

終わるときは

 戻す

または 切 押す

■ **同様にして、他の子機を呼出して話をすることができます。**

子機間通話中に電話がかかってくると、レシーバーから呼出音が聞こえます。外からの電話にでるときは、手順4の操作をして子機間通話を終わらせてから充電器からとるか、（外線）を押して電話にでてください。

TF-EV130をお使いの方は、子機が2台以上あっても子機どうしの通話はできません。

おしらせ

- ●送り手が呼出しを止めたいときは、 内線 または 切 を押してください。
- ●子機間通話の呼出音は、内線通話の呼出音と同じです。（39ページ）
- ●子機間通話中、親機の 内線 が点灯します。

子機から子機に電話をまわす（子機間転送）

（子機）

【TF-EVH133・EVH134をご使用のとき使えます。】
外からの電話を子機から子機にまわすとき、子機どうしで話をすることができます。

（操作例）子機1（内線番号1）で受けた電話を子機2（内線番号2）にまわすとき

（子機1）（送り手）　（子機2）（受け手）

通話中に

1 内線 押す（点滅）
●相手に保留メロディが流れます。

内線の呼出音が鳴る

2 内線番号を押す
（例）2 押す
子機1を呼出すとき： 1 押す
子機2を呼出すとき： 2 押す
子機3を呼出すとき： 3 押す
子機4を呼出すとき： 4 押す
●内線番号を押すと 内線 が早点滅します。

とる
または 内線 押す（点灯）

3 子機2と話をする

子機1と話をする

終わるときは

4 戻す
または 切 押す
●外からの電話が受け手につながります。

電話をかけてきた相手と話をする

■ 送り手と受け手が上記以外の場合も同様にしてまわすことができます。
■ TF-EV130をお使いの方は、子機が2台以上あってもこの機能はお使いになれません。

おしらせ

●送り手が呼出しを止めたいときは、 または を押してください。このあと、外からの通話に戻るには を押してください。

●子機間転送中、親機の 内線 が点灯します。

短縮ダイヤルに登録する

よくかける相手の電話番号を短縮ダイヤルに登録しておくと、簡単にかけることができます。
親機・子機別々に最大20件まで登録できます。また、鳴り分け（75～76ページ）を設定しておくと、呼出音を鳴り分けることができます。

親機の短縮ダイヤルに登録するには （親機）

受話器を置いた状態で

1 押す

2 押す

3 （例）0 1 登録したい短縮番号を押す
（00～19のいずれか1つ）
（例）"短縮番号01"のとき

● "00"、"01"および"02"に登録すると、 を利用して簡単に電話をかけることができます。（ワンタッチダイヤル　48ページ）

4 市外局番から電話番号を入力する
（最大20桁）

●入力し直すときは キャッチ/消去 確認 を押してください。

5 押す

子機の短縮ダイヤルに登録するには （子機）

切ボタンを押してから

1 機能/♫ 押す

2 押す

3 （例）0 1 登録したい短縮番号を押す
（00～19のいずれか1つ）
（例）"短縮番号01"のとき

● "00"に登録すると、ワンタッチ を利用して簡単に電話をかけることができます。
（ワンタッチダイヤル　48ページ）

4 市外局番から電話番号を入力する
（最大20桁）

●入力し直すときは /キャッチ 消去 を押してください。

5 機能/♫ 押す

おしらせ

●ナンバー・ディスプレイご利用時、本機の鳴り分けなどを正しく作動させるために、電話番号は同一市内の場合でも必ず市外局番から入力してください。

●構内交換機（PBX）に接続してお使いのときは、手順3の後に外線につなぐ番号（例　0）と親機は 発信/着信 メモリ 、子機は （ポーズボタン）を押してから、手順4に移ってください。発信音「ツー」が聞こえるまでの間隔（約4秒間）を自動的にあけます。

●すでに電話番号が登録されている短縮ダイヤルに、もう一度、電話番号を登録すると、その番号が上書きされます。登録済みの短縮ダイヤルの内容を確認してから、短縮ダイヤルに電話番号を登録するようにしてください。（短縮ダイヤルを確認する　47ページ）

発信メモリから短縮ダイヤルに登録する

親機や子機の発信メモリに記録されている電話番号を、短縮ダイヤルに登録することができます。

発信メモリから親機の短縮ダイヤルに登録するには（親機）

受話器を置いた状態で

1

押す

2 （#▼）または（✱▲）を押して
登録したい電話番号を表示させる

3 機能 押す

4 （例）“短縮ダイヤル08”のとき

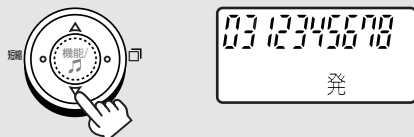
押す

08-03 123456

- まだ登録されていない短縮番号を、自動的に割りあてます。他の短縮番号に登録したいときは、（#▼）や（✱▲）を押して選択します。

5

押す

発信メモリから子機の短縮ダイヤルに登録するには（子機）

切ボタンを押してから

1

押す

06 12345678
発

2 ▽ または△ を押して
登録したい電話番号を表示させる

03 12345678
発

3 押す

4 （例）“短縮ダイヤル08”のとき

押す

08-03 123456

- まだ登録されていない短縮番号を、自動的に割りあてます。他の短縮番号に登録したいときは、上下ボタンの下向きの ▽ や上向きの △ を押して選択します。

5

押す

- 短縮ダイヤルにすでに20件登録されているときや、登録済みの電話番号は、登録することができません。
- 12桁以上の電話番号はスクロール表示されます。

短縮ダイヤルでかける

親機の短縮ダイヤルでかけるには（親機）

受話器を置いた状態で

1 短縮 押す

2 （例）0 1 かけたい短縮番号を押す（00～19のいずれか1つ）
（例）"短縮番号01"のとき

3 とる

通話が終わったら

4 戻す

子機の短縮ダイヤルでかけるには（子機）

切ボタンを押してから

1 押す

2 （例）0 1 かけたい短縮番号を押す（00～19のいずれか1つ）
（例）"短縮番号01"のとき

3 押す

通話が終わったら

4 戻す
または 切 押す

- かけたい電話番号を表示させたあと、「184」「186」などの番号（特番ダイヤル）を押してから受話器をとるか、子機の を押すと、電話番号の前にその番号をつけて電話をかけることができます。（特番ダイヤルは最大10桁まで入力できます。）
- かけたい電話番号を表示させたあと、親機の 発信 や子機の を押すと、自動的にダイヤルされ、スピーカー拡声を利用することができます。

短縮ダイヤルを確認する

親機の短縮ダイヤルを確認するには （親機）

受話器を置いた状態で

1 短縮 押す

2 （例）0 1 確認したい短縮番号を押す
（00～19のいずれか1つ）
（例）"短縮番号01"のとき

▶ 終わるときは を押します。

子機の短縮ダイヤルを確認するには （子機）

切ボタンを押してから

1

押す

2 （例） 確認したい短縮番号を押す
（00～19のいずれか1つ）
（例）"短縮番号01"のとき

▶ 終わるときは 切 を押します。

おしらせ

● 短縮ダイヤルを確認中、機能ボタンを押すと、電話番号を入力することができます。電話番号入力後、最後に機能ボタンを押してください。（44ページ）

短縮ダイヤルを消去する

親機の短縮ダイヤルを消去するには （親機）

受話器を置いた状態で

1 短縮 押す

2 （例）0 1 消去したい短縮番号を押す
（00～19のいずれか1つ）
（例）"短縮番号01"のとき

3

押す

4 キャッチ/消去 確認 押す

子機の短縮ダイヤルを消去するには （子機）

切ボタンを押してから

1

押す

2 （例） 消去したい短縮番号を押す
（00～19のいずれか1つ）
（例）"短縮番号01"のとき

3

押す

●消去しないときは を押します。

4

押す

短縮ダイヤル

ワンタッチダイヤルでかける

よくかける相手の電話番号を親機の短縮ダイヤルの「00」「01」「02」のいずれかに登録しておくと、親機のワンタッチダイヤルを利用して簡単にかけることができます。また、子機の短縮ダイヤルの「00」に登録しておくと、子機のワンタッチダイヤルを利用して簡単に電話をかけることができます。

親機のワンタッチダイヤルで電話をかけるには（親機）

1 とる

2 （例）

ワンタッチダイヤル 1 2 3

いずれか1つを押す
（例）"ワンタッチダイヤル2"のとき

●自動的にダイヤルします。

通話が終わったら

3 戻す

子機のワンタッチダイヤルで電話をかけるには（子機）

1 とる

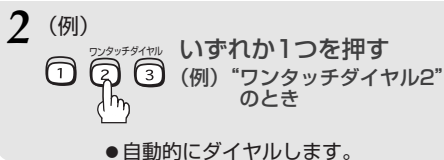
または （外線ボタン） 押す（点灯）

2 ワンタッチ 押す

●自動的にダイヤルします。

通話が終わったら

3 戻す

または 切 押す

■ナンバー・ディスプレイをご利用になると、親機の短縮ダイヤル「00」「01」「02」に登録した相手から電話がかかってきたとき、登録されたワンタッチダイヤルボタンが早点滅します。（77ページ）

●短縮ダイヤルとワンタッチダイヤルの関係

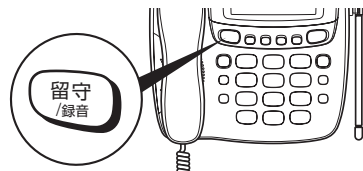
	押すボタン	ダイヤルされる相手
親機	ワンタッチダイヤル1	短縮ダイヤル00
親機	ワンタッチダイヤル2	短縮ダイヤル01
親機	ワンタッチダイヤル3	短縮ダイヤル02
子機	ワンタッチ	短縮ダイヤル00

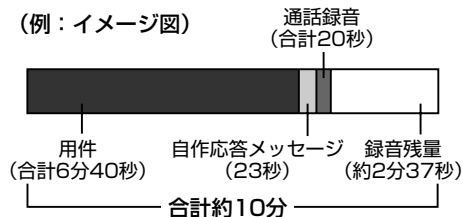
おしらせ

●手順1の操作を行なわずに手順2の操作を行なうと、自動的にダイヤルされ、スピーカー拡声を利用することができます。

親機で留守番機能を操作する

（親機）

固定の応答メッセージを内蔵していますので、留守／録音ボタンを押すだけで留守セットできます。
自分で応答メッセージをつくるときは、52ページをご覧ください。子機でも留守番機能を操作できます。
（リモート操作　53ページ）

録音できる時間

最大で約10分録音できます。
〔用件／通話録音（89ページ）／
　自作応答メッセージの合計時間〕

用件の録音について

■留守セット時、こんなメッセージが流れます。

ガイドメッセージ	録音の残り時間
約●分録音できます。（1分単位）	1分以上
録音時間、残りわずかです。	1分未満 ※
設定できません。録音がいっぱいです。メッセージを消去してください。	なし

※…録音する内容や実際の残り時間によっては、1分以上録音できる場合があります。

■ 最大で59件まで録音できます。

最大録音件数	59件	合計で約10分以内であれば60件以上録音できますが、件数の液晶表示と音声は59件までとなります。
1件あたりの最大録音時間	約5分	相手が電話を切るか、録音時間を約5分過ぎると、自動的に録音を終了します。
無音検出時間	約10秒	約10秒間、相手が何も話さなかったときは、自動的に録音を終了します。

■録音の残り時間が少ないときは、親機で録音内容を消去してください。
（全消去　50ページ・個別消去　51ページ）

用件を録音中に、録音残量がなくなると、「録音がいっぱいです。これ以上録音できません。」というメッセージのあと、「ピー」と鳴り、電話が自動的に切れます。以後の応答メッセージは、自動的に応答専用メッセージに変わります。このままでは相手の用件は録音できません。用件を録音するには、留守番を解除して、録音された用件をすべて再生し、不要な録音内容を消去してから、留守セットしてください。
（全消去　50ページ・個別消去　51ページ）

応答専用メッセージ

「ただ今留守にしております。
おそれ入りますがのちほどおかけ直しください。」

親機で留守番を設定するには（留守セット）

受話器を置いた状態で

押す（点灯または点滅）

- 留守セット中に、用件が録音されると留守／録音ボタンが点滅します。
- 用件が録音されている状態で留守セットすると点滅します。点灯させるには全消去してください。（全消去　50ページ）
- 応答メッセージの再生中に 1 を押すと、押すたびに応答メッセージが切りかわります。（52ページ）

■ 不要な録音内容を消去してから留守セットしてください。（全消去　50ページ・個別消去　51ページ）
■ 録音の残り時間が無くなると、自動的に応答専用メッセージ（49ページ）に切りかわり、相手の用件は録音できません。

親機で留守番を解除する／用件を聞くには（留守解除）

用件が録音されていると、
が点滅しています。

受話器を置いた状態で

留守/録音 押す（消灯）

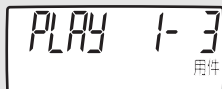
（例）3件中1件目を再生しているとき

▶ 留守セットが解除され、「○件です。」とお知らせし、1件目の用件から再生されます。

すべての用件を消去するには（全消去）

子機ではできません。

受話器を置いた状態で

2秒以上押し続ける

・・・すべての用件が消去されます。
（通話録音した内容も消去されます。）

■ 新しく録音された用件だけを再生することはできません。
■ ナンバー・ディスプレイを利用していると、用件再生中に表示された電話番号へ簡単に電話をかけ直すことができます。（リターンダイヤル　77ページ）
■ 親機の時計を合わせると（25ページ）、留守中に録音された用件に日付と時刻が記録（タイムスタンプ）されます。用件再生時に、着信日時も音声でお知らせします。

留守セットを解除せずに用件を聞くには（用件再生）

受話器を置いた状態で 押す

・・・「○件です。」とお知らせし、１件目の用件から再生されます。
再生が終了しても 留守/録音 ランプの点滅は消えません。

再生終了後、もう一度、一件目から聞くには

受話器を置いた状態で 押す

・・・「○件です。」とお知らせし、１件目の用件から再生されます。

相手を確認してから電話にでる（居留守モニター）

在宅中に留守セットしておくと、留守動作中に相手の声をスピーカーで聞くことができます。
（こちらの声は、相手に聞こえません。）
（子機ではできません。）

留守セットしていなくても、外から電話がかかってきたときに留守ボタンを押すと、応答メッセージが流れ、留守番がはたらきます。
電話にでるときは、相手の声が聞こえている間に受話器をとります。
留守動作が自動的に停止し、話しができます。

再生中、下記の操作ができます。

操作	ボタン
いま再生中の用件を聞き直す	⏮ 1
１つ前の用件を聞く	⏮ 1 ▶ ⏮ 1（続けて押す）
次の用件を聞く	⏭ 3
個別消去（用件を1つずつ消去する）	キャッチ/消去 確認 ▶ キャッチ/消去 確認
再生を止める	♫保留 停止
再生を止めたとき、再び、1件目から再生する	再生► 2

おしらせ

- 外出先からも用件を再生、消去することができます。（57ページ）
- 音楽などが録音されていると、雑音が入ったり、音質が悪くなることがあります。
- 通話録音した内容を消去するときも、個別消去（51ページ）または全消去（50ページ）の操作をしてください。

応答メッセージをつくる（自作応答メッセージ）（親機）

自分の声で応答メッセージをつくることができます。（録音時間は最大30秒です。）
自作応答メッセージをつくっても、切りかえ操作により固定応答メッセージで留守セットすることができます。

自作応答メッセージをつくるには

子機ではできません。

受話器を置いた状態で

1 留守/録音 を押しながら受話器をとる

スピーカーより「録音をどうぞ　ピー」と聞こえたら

2

応答メッセージを吹き込む（最大30秒）

3 保留/停止 押す　または 押す

● 録音した応答メッセージが自動的に再生されます。

■ 応答メッセージを録音し直すときは、はじめからやり直します。
■「録音をどうぞ　ピー」と聞こえているうちに 保留/停止 を押すと録音は中止され、以前録音されていた応答メッセージが消去されます。

自作応答メッセージを消すには

子機ではできません。

受話器を置いた状態で

1 を押しながら受話器をとる

スピーカーより「録音をどうぞ　ピー」と聞こえたら

2 キャッチ/消去 押す

応答メッセージを切りかえて留守セットするには

親機

受話器を置いた状態で ▶ ▶ 応答メッセージの再生中に ▶ 1

子機

「留守セット（留守解除）するには」（53ページ）の操作をする ▶ 応答メッセージの再生中に ▶ 1

● ダイヤル１ボタンを押すたびに応答メッセージは切りかわり、最後に再生した応答メッセージで留守セットされます。

順序

→ 自作 → 固定 →

自作：自分で録音した応答メッセージ

固定：「ただ今留守にしております。ピーと鳴りましたら、お名前とご用件をお話しください。」

● 録音残量がなくなると、自動的に応答専用メッセージに切りかわります。（49ページ）

自作応答メッセージの例

「はい、○○です。ただ今、留守にしております。ピーと鳴りましたら、お名前とご用件をお話しください。」

おしらせ

● 音楽などを録音すると、雑音が入ったり、音質が悪くなることがあります。
● 用件を録音できる時間は、自作応答メッセージの長さに応じて短くなります。（49ページ）
● 録音残量にご注意ください。「自作応答メッセージをつくるには」の手順1の後に、「録音がいっぱいです。これ以上録音できません。」と聞こえたときは、すでに録音がいっぱいです。録音残量がなくなると、自作応答メッセージをつくることができません。用件をすべて消去するか（50ページ）、個別消去（51ページ）してください。

子機で留守番機能を操作する（リモート操作）

（子機）

子機で親機の留守番機能を操作できます。子機から留守セットしたり、録音された用件を聞くことができます。

留守セット（留守解除）するには

切ボタンを押してから

1

押す

2

押す

- このあと、応答メッセージが再生されます。
- 応答メッセージの再生中は、［1］を押すたびに応答メッセージが切りかわります。（52ページ）

■ 不要な録音内容を消去してから留守セットしてください。

■ 留守セットしただけでは、録音されている用件は消去されません。
録音の残り時間がなくなると、自動的に応答専用メッセージに切りかわり、相手の用件は録音できません。
（応答専用メッセージ　49ページ）
（全消去　50ページ・個別消去　51ページ）

■ 解除するときは、上記手順1から操作してください。

用件を聞くには

切ボタンを押してから

1

押す

2

押す

▶「○件です。」とお知らせし、1件目の用件から再生されます。（スピーカーから聞こえます。）（留守セットは解除されません。）また、親機の時計を合わせると（25ページ）、録音された日付と時刻も音声でお知らせします。（50ページ）

■ もう一度、1件目から聞くときは、上記手順1から操作してください。

子機で用件の再生中、下記の操作ができます。

操作	ボタン
いま再生中の用件を聞き直す	［1］
1つ前の用件を聞く	［1］▶［1］（続けて押す）
次の用件を聞く	［3］
個別消去（用件を1つずつ消去する）	［/キャッチ 消去］▶［/キャッチ 消去］
再生を止める	［切］
再生を止めたとき、再び、1件目から再生する	［機能/♫］▶［2］

おしらせ

- 外出先からも用件を再生、消去することができます。（57ページ）
- 音楽などが録音されていると、雑音が入ったり、音質が悪くなることがあります。
- 子機で用件再生中に［スピーカー］を押すと、レシーバーで聞くことができます。
- リモート操作中、親機の［内線］が点灯します。

応答するまでの呼出回数を変える

（親機）

留守セットされているとき、応答メッセージが流れるまでの呼出音の回数を2～9回まで変えることができます。お買い上げ時は、「トールセーバ」に設定されています。
（トールセーバ機能　57ページ）

呼出回数を変えるには

子機ではできません。

受話器を置いた状態で

1 機能 0 2 と押す

2 （例）

7 押す

呼出音の回数を選ぶ
（0、2～9のいずれか1つ）
（例）"7回"のとき

PUSH Func

▶ 最後に 機能 を押します。

呼出回数を確認するには

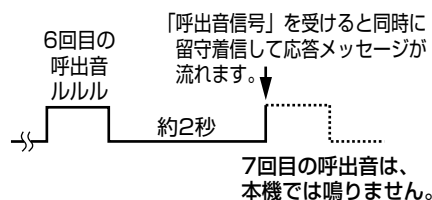
子機ではできません。

受話器を置いた状態で ▶ キャッチ/消去 確認 ▶ 0 2

・・・現在の設定状態を音声でお知らせします。

■ **呼出音の回数と本機の動作について**

（例）手順2で「7回」を選んだとき

おしらせ

- 呼出音の回数を「0」にすると、「トールセーバに設定しました」とお知らせし、お買い上げ時と同じ状態になります。（57ページ）
- 電話回線の状態により、外出先で聞こえる呼出音と本機の呼出音の回数が一致しないことがあります。

消音留守セットする

（親機）

親機の呼出音を「消音」にした状態で留守セットすると、呼出音やスピーカーからの音を出さずに留守番録音することができます。お休みになるときなどに便利です。（子機で消音を設定していないと子機の呼出音は鳴ります。）

消音留守セットするには

子機ではできません。

受話器を置いた状態で

1 「親機の呼出音量を調節するには」（27ページ）で消音を設定する

2 留守/録音 押す（点灯または点滅）

- 留守セットされます。

消音留守セットを解除するには

子機ではできません。

受話器を置いた状態で

1 「親機の呼出音量を調節するには」（27ページ）で消音を解除する

2 留守/録音 押す（消灯）

- 留守セットが解除されます。

■ 留守/録音 を押しただけで留守セットは解除されますが、このままでは親機の呼出音は鳴りません。「消音」を解除してください。
（音量を調節する　27ページ）

留守番機能

留守暗証番号を登録する

留守暗証番号を登録すると外出先から自宅に電話をかけて、留守番電話に録音されている用件を聞いたり（リモコン操作　57ページ）、外出先の電話機（携帯電話・ＰＨＳ含む）やポケットベルで、留守番電話に用件が録音されたことを知ることができます。（留守転送　60〜63ページ）

留守暗証番号を登録するには

子機ではできません。

受話器を置いた状態で

1

と押す

2 留守暗証番号を入力する（4桁）

（例）“1234”のとき

（例）

と押す

●入力し直すときは 確認 を押します。

●修正や消去するときは56ページをご覧ください。

3 機能 押す

■ 留守暗証番号を登録すると、留守セットしていなくても呼出音が約15回鳴ると、リモコン操作のため着信します。このとき、通話料金がかかります。応答専用メッセージは聞こえますが、このとき留守暗証番号を押さないと留守セットできません。
（外出先から留守セットする　59ページ）

■ 留守番機能で使用するものを「留守暗証番号」、暗証ガードで使用するものを「ガード暗証番号」（80ページ）として区別しています。

■ すでに登録されている留守暗証番号を変えるときは、「留守暗証番号を確認して修正するには」（56ページ）をご覧ください。

留守暗証番号を確認して修正するには

子機ではできません。

受話器を置いた状態で

1 キャッチ/消去 確認 0 3 と押す

●登録されている留守暗証番号が表示されます。

●確認を終わるときは ♫保留 停止 を押します。

2

押す

3 留守暗証番号を入力する（4桁）

（例）“1235”のとき

（例）

1 2 3 5 と押す

●入力し直すときは キャッチ/消去 確認 を押します。
1回ずつ押すと、1文字ずつ消去できます。
2秒以上押し続けると、全ての文字を消去できます。

4

押す

留守暗証番号を消去するには

子機ではできません。

受話器を置いた状態で

1 キャッチ/消去 確認 0 3 と押す

●登録されている留守暗証番号が表示されます。

2 キャッチ/消去

押す

●消去しないときは ♫保留 停止 を押します。

3 キャッチ/消去

押す

■ 留守暗証番号を消去すると、留守転送（60～63ページ）が自動的に解除されます。

外出先から用件を聞く（リモコン操作）

外出先から自宅に電話をかけて、留守番電話に録音されている用件を聞くことができます。必ず、プッシュホンまたはプッシュ信号に切りかえられる電話機で行なってください。ナンバー・ディスプレイ（64〜67ページ）をご利用のときは、相手の電話番号を正しく受信すると、用件再生後、その番号も音声でお知らせします。（ナンバースタンプ）　さらに、親機の時計を合わせると（25ページ）、着信日時もお知らせします。

外出先から用件を聞くには

あらかじめ留守セット（50ページ）し、留守暗証番号を登録（55ページ）しておくことが必要です。

1

自宅に電話をかける

応答メッセージが聞こえたら

2 ＃ 留守暗証番号 ＃ を押す

（例）留守暗証番号を“1234”にしたとき

＃ 1 2 3 4 ＃

●音声ガイドが聞こえます。

3

用件が再生される

●再生が終わると「再生が終わりました　ピーピー」と聞こえます。

終わるときは

4

電話を切る

外出先から用件の有無を確認する（トールセーバ機能）

応答するまでの呼出音の回数（54ページ）を「トールセーバ」に設定すると、外出先から留守セットされた自宅の本機に電話をかけたときに、呼出音の回数によって、用件の有無を確認することができます。

■ **3回目の呼出音でつながったとき**
……用件が録音されています。
（用件が残っていると、3回目の呼出音でつながります。暗証番号を入力すると、常に用件1件目から再生しますので、この機能を有効に利用するには、再生した用件は全消去してください。）

■ **3回目の呼出音でつながらなかったとき**
……用件は録音されていません。
（4回目の呼出音が聞こえてすぐに電話を切ると、通話料金がかかりません。このとき、電話を切らないと6回目で留守応答が始まり、通話料金がかかります。）

●どちらの場合も、電話がつながったら通話料金がかかります。
●電話回線の状態により、外出先で聞こえる呼出音と本機の呼出音の回数が一致しないことがあります。

再生中、下記の操作ができます。

操作	ボタン
いま再生中の用件を聞き直す	1
1つ前の用件を聞く	1 ▶ 1（続けて押す）
次の用件を聞く	3
現在再生中の用件を消す（個別消去）	＃ ▶ 4 ▶ ＃ ▶ 4

■ **その他のリモコン操作については、リモコン操作の応用をご覧ください。（58ページ）**

おしらせ

●＃ 留守暗証番号 ＃ を押しても、音声ガイドが聞こえないときは、再度、手順2を行なってください。
●留守暗証番号を3回押し間違えると、4回目に電話が切れます。
●リモコン操作で用件を聞いても、留守セットは解除されません。
●録音残量がなくなると、自動的に応答専用メッセージになります。（49ページ）
録音された用件が必要ないときは、個別消去するか、手順3で「再生が終わりました。録音がいっぱいです。これ以上録音できません。ピーピー」と聞こえたら ＃ に続けて ✱ を押して、用件をすべて消去してください。
●音楽などが録音されていると、雑音が入ったり、音質が悪くなることがあります。

留守番機能

リモコン操作の応用

外出先から用件を聞いた後（ピーピーの後に）、約20秒間のリモコン待ち状態になります。そのときに下記の操作ができます。

外出先から用件を全部聞くと
「再生が終わりました　ピーピー」と聞こえます（リモコン待ち状態）

用件のはじめから聞き直したり個別消去する

1 ② 押す

用件が再生されます。
- ・常に用件1件目から再生されます。
- ・再生中に必要のない用件だけを消去できます。（個別消去　57ページ）

「再生が終わりました」とお知らせします。

リモコン待ち状態になります。

留守転送を設定／解除する（61ページ）

1 ＃ 押す

2 ⓪ 押す

「留守転送を設定しました」または「解除しました」とお知らせします。

リモコン待ち状態になります。

留守番を解除する

1 ＃ 押す

2 ⑥ 押す

「留守を解除しました」とお知らせし、電話が切れます。

用件をすべて消去する

1 ＃ 押す

2 ＊ 押す

「消去しました」とお知らせし、用件がすべて消去され、電話が切れます。

電話を切る

- ●録音残量がなくなると、自動的に応答専用メッセージになります。（49ページ）　録音された用件が必要ないときは、＃ に続けて ＊ を押して用件をすべて消去するか、用件再生中に個別消去してください。（個別消去　57ページ）
- ●リモコン待ち状態では ＃ 留守暗証番号 ＃ を押しても用件再生はできません。

留守番機能

外出先から留守セットする

留守セットし忘れたときなどに、留守暗証番号（55ページ）を使って外出先から留守セットできます。
必ず、プッシュホンまたはプッシュ信号に切りかえられる電話機で行なってください。

外出先から留守セットするには

あらかじめ留守暗証番号を登録（55ページ）しておくことが必要です。

1

自宅に電話をかけ
呼出音を約15回鳴らす

「ただ今留守にしております。
おそれ入りますが
のちほどおかけ直しください。」
と聞こえたら

2 ＃ 留守暗証番号 ＃ を押す

（例）留守暗証番号を“1234”にしたとき

●音声ガイドが聞こえます。

3

用件が再生される

・用件再生中に電話を切っても留守セットされます。

●再生が終わると「再生が終わりました　ピーピー」と聞こえます。
●用件がない場合は、「録音されていません　ピーピー」と聞こえます。

終わるときは

4

電話を切る

●留守暗証番号が登録されていないと、外出先から留守セットできません。
●録音残量にご注意ください。手順3の用件再生後に「録音がいっぱいです。これ以上録音できません。」と聞こえたときは、すでに録音がいっぱいです。録音残量がなくなると、自動的に応答専用メッセージ（49ページ）になります。
相手の用件を録音したいときは、手順3で「再生が終わりました。録音がいっぱいです。これ以上録音できません。ピーピー」と聞こえたら ＃ に続けて ＊ を押して用件をすべて消去するか、個別消去（ 57ページ）してください。

用件が録音されたことを外出先にお知らせする（留守転送）

留守番電話に用件が録音されるたびに、外出先の電話機（携帯電話・ＰＨＳ含む）やポケットベルの電話番号に自動的に電話をかけてお知らせし、リモコン操作（57ページ）で用件を聞くことができます。登録できる外出先の電話機の電話番号（またはポケットベルの番号）は2件までです。（ディスプレイポケットベルには対応していません。呼出すだけになります。）

1 留守暗証番号を登録する（55ページ） ▶ **2** 留守転送先の電話番号を登録する ▶

留守暗証番号を登録するには

子機ではできません。

受話器を置いた状態で

1 機能 0 3 と押す

2 留守暗証番号を入力する（4桁）

（例）（例）"1234"のとき

1 2 3 4 と押す

- 入力し直すときは 確認（キャッチ/消去）を押します。
- 修正や消去する場合は56ページをご覧ください。

3 機能 押す

留守転送先の電話番号を登録する

子機ではできません。

受話器を置いた状態で

1 機能 0 4 と押す

2

留守転送先1を登録するとき：1 を押す

留守転送先2を登録するとき：2 を押す

3 留守転送先の電話番号を入力する（最大20桁）

- 入力し直すときは 確認（キャッチ/消去）を押します。
- 修正や消去する場合は63ページをご覧ください。

4 機能 押す

■ 外出先の電話番号を変えるときは、はじめからやり直してください。

■ 10桁以上の電話番号はスクロール表示されます。

おしらせ

- 留守転送は、留守転送先1→留守転送先2の順に呼出します。
- 留守転送先の電話機で、そのまま相手と通話できません。通話を転送したいときは、NTTのボイスワープ（有料）をご利用ください。くわしくはNTT（局番なしの116番）にお問い合わせください。
- 録音された用件が、話中音（プー・プー音）や無音の場合は、留守転送ははたらきませんが、ノイズなどにより音声と認識された場合、留守転送がはたらく場合もあります。

3 留守転送をセットする

子機ではできません。

受話器を置いた状態で

2秒以上押し続ける

●留守転送をセットすると 留守転送 が表示されます。

■ 通常状態（13ページ）のとき、親機の液晶画面に 留守転送 が表示されます。
■ 留守セットしないと、留守転送機能ははたらきません。留守転送をセットした後、必ず留守セットしてください。（50ページ）
■ 留守転送の呼出動作中は、留守転送 が点滅し、スピーカーから「留守転送です。」と流れます。
■ 解除するときは、上記と同じ操作を行ないます。
■ 留守暗証番号と留守転送先の電話番号が登録されていないと、留守転送をセットできません。

留守転送回数を変えるには

留守転送する回数は1～9回まで変えることができます。お買い上げ時は、3回に設定されています。
子機ではできません。

受話器を置いた状態で

1 機能   と押す

2 （例）

押す

留守転送回数を選ぶ（1～9のいずれか1つ）

（例）“7回”のとき

PUSH Func

3

押す

■ 留守転送先の電話番号を2件登録したときは、2ヶ所への呼出しを合わせて、1回とカウントします。（62ページ）
■ 設定した回数の留守転送を行なうと、応答していなくても留守転送を終了します。再度用件が録音されるまで、留守転送は行なわれません。

◆留守転送先の携帯電話やPHSが留守番電話サービスに加入されているとき

留守転送時に、転送先の携帯電話やPHSが電源を切っていたり、圏外のときは、転送であることを知らせるメッセージが、留守番電話サービスの用件として録音されます。

留守番電話サービスに「留守転送です。」と録音されていたら、本機に電話をかけ、録音されている用件を聞いてください。（57ページ）

なお、この場合、転送回数を「1回」にしておくことをおすすめします。（転送するたびに、通話料金がかかります。）

用件が録音されたことを外出先にお知らせする（留守転送）（つづき）

必ず、プッシュホンまたはプッシュ信号に切りかえられる電話機で行なってください。

留守転送を受けるには

留守転送先1または2に電話番号が登録されているとき

留守番電話に用件が録音されると

1 外出先の電話機が鳴る

2 電話に出る

●このとき、通話料金がかかります。

「留守転送です。」と聞こえたら

3 ＃ 留守暗証番号 ＃ 押す

4 用件を聞く

留守転送先1または2にポケットベル番号が登録されているとき

1 ポケットベルが鳴る

●このとき、通話料金がかかります。

2 本機に電話をかけてリモコン操作（57ページ）で用件を聞くことができます

留守転送先1 → 留守転送先2

用件を再生しない限り、留守転送回数分呼出しをくり返します。
留守転送回数は変えることができます。（61ページ）

■ 留守転送先の電話番号を2件登録したときは、2ヶ所への呼出しを合わせて、1回とカウントします。

■ 設定した回数の留守転送を行なうと、応答していなくても留守転送を終了します。
再度用件が録音されるまで、留守転送は行なわれません。

＜留守転送の動作例＞

留守転送先1、留守転送先2に電話番号が登録されているとき

PM4：52に用件の録音が終わると

PM4：52に1回目の呼出しを始めます。

留守転送先1を呼出す

⇩ 約60秒間呼出す

＃ 留守暗証番号 ＃ 押されないと
（電話がつながらなかったときも同様です。）

⇩ 約15秒後

留守転送先2を呼出す

⇩ 約60秒間呼出す

＃ 留守暗証番号 ＃ 押されないと
（電話がつながらなかったときも同様です。）

現在時刻が登録されていると

PM5：00に2回目の呼出し
⬇
PM5：15に3回目の呼出し
⬇
PM5：30に4回目の呼出し
・
・
・
毎時00、15、30、45分に呼出します。

現在時刻が登録されていないと

約15分間隔で呼出す

登録した留守転送先の電話番号を確認して修正するには

子機ではできません。

受話器を置いた状態で

1 キャッチ/消去 押す

2   と押す

3
留守転送先1を確認するとき：1 を押す
留守転送先2を確認するとき：2 を押す

- 登録されている電話番号が表示されます。
  電話番号が表示されているときに 発信 を押すと、登録した電話番号を呼出します。ただし、このときリモコン操作はできません。
  呼出しを止めたいときは、発信 を押してください。
- 10桁以上の電話番号はスクロール表示されます。
- 確認を終わるときは を押します。

4 押す

5 留守転送先の電話番号を入力する（最大20桁）

- 入力し直すときは キャッチ/消去 を押します。

6 押す

登録した留守転送先の電話番号を消去するには

子機ではできません。

受話器を置いた状態で

1 キャッチ/消去 押す

2 と押す

3
留守転送先1を消去するとき：1 を押す
留守転送先2を消去するとき：2 を押す

- 登録されている電話番号が表示されます。
- 10桁以上の電話番号はスクロール表示されます。

4 押す

- 消去しないときは を押します。

5 キャッチ/消去 押す

■ 留守転送先1、2とも消去すると、留守転送（60～63ページ）が自動的に解除されます。

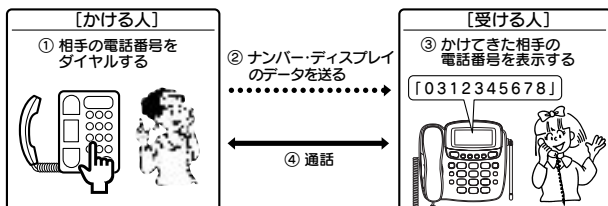
ナンバー・ディスプレイを利用する

他の電話機やファクシミリと併用するときは、19ページ（親機の準備）をご覧ください。

ナンバー・ディスプレイのご利用には必ず、NTTへのお申し込みが必要です。（有料）

NTTのナンバー・ディスプレイをご契約され、本機で設定すると、かけてきた相手の電話番号を親機や子機の液晶画面で確認してから、電話にでることができます。
本機は、ネーム・ディスプレイには対応しておりません。

ナンバー・ディスプレイとは

**かけてきた人の電話番号を受ける人の電話機などに表示するサービスです。（有料）
くわしくは、最寄りのNTT窓口（お客様サービス116番）にお問い合わせください。**

さらにこの電話機では

NTTのナンバー・ディスプレイをご契約され、本機で設定すると、下記の機能をお使いいただけます。

- 電話にでる前に、かけてきた相手の電話番号を液晶画面に表示します。（67ページ）
- 親機のワンタッチダイヤルに登録された相手（48ページ）から電話がかかってくると、該当するワンタッチダイヤルボタンが点滅します。（77ページ）
- 親機で用件再生中（50ページ）、相手の電話番号が通知されていると、相手の電話番号を液晶画面で確認することができます。
- 外出先から用件を聞く際（57ページ）、留守番に録音された用件のあとに続けて相手の電話番号をお知らせします。
（ナンバースタンプ　57ページ）
- かけてきた相手の電話番号と日時を確認することができます。さらに、その番号へ簡単にかけ直すことができます。
（着信メモリを確認する／かけ直す　71～72ページ）
- 着信メモリを利用して、相手の電話番号を短縮ダイヤルに登録することができます。
（着信メモリから短縮ダイヤルに登録する　73ページ）
- 留守番録音した相手の電話番号が通知されていると、用件再生中に、その人へ簡単に電話をかけ直すことができます。
（リターンダイヤル　77ページ）
- 短縮ダイヤルに登録した相手からの電話を鳴り分けることができます。
（鳴り分け　75～76ページ）
- 電話番号を通知しない電話に対して、電話番号を通知してかけ直すようにお知らせし、自動的に電話を切ります。
（非通知ガード　79ページ）
- 公衆電話からかけてきた電話に対して、次の2つの方法で対応しガードします。
（公衆電話ガード）
  - 電話番号を入力するようにお知らせし、入力された電話番号を確認してから電話に出ることができます。（ナンバーガード　83ページ）
  - 暗証番号を入力するようにお知らせし、暗証番号が一致したときだけ呼出音を鳴らすようにすることができます。（暗証ガード　84ページ）
- 表示圏外からかけてきた電話に対して、次の2つの方法で対応しガードします。
（表示圏外ガード）
  - 電話番号を入力するようにお知らせし、入力された電話番号を確認してから電話に出ることができます。（ナンバーガード　85ページ）
  - 暗証番号を入力するようにお知らせし、暗証番号が一致したときだけ呼出音を鳴らすようにすることができます。（暗証ガード　86ページ）
- 受けたくない相手の電話番号を登録しておくと、その番号からの電話にはガードメッセージを流して、自動的に電話を切ります。
（着信拒否　87～88ページ）

ご注意

- ファクシミリや他の通信機器に接続したとき、ホームテレホンや構内交換機（PBX）の内線電話機としてお使いになるときは、ナンバー・ディスプレイをご使用になれない場合があります。
- 回線を分岐して他の機器を併用される場合、他の機器の影響などにより、ナンバー・ディスプレイなどの機能が正常に使えないことがあります。
- ナンバー・ディスプレイ対応のアダプターはお使いにならないでください。本機だけでナンバー・ディスプレイをご利用になれます。
- ISDN回線をご使用のときは、INSナンバー・ディスプレイ契約とナンバー・ディスプレイ対応のアナログポートをもったTAが必要です。くわしくはTAのメーカーにお問い合わせください。
- ADSL回線（IP電話サービス）をご利用のときや、1本の電話回線で2セット以上の電話機をお使いになると、かけてきた相手の電話番号が正しく表示されない場合があります。
- 停電時にはナンバー・ディスプレイを利用した機能は、ご利用になれません。
- 停電中にかかってきた電話に出たときに、「ジャー」という音が聞こえることがあります。この場合は、いったん電話を切り、再度、呼出音が鳴ったら出てください。
- CES（事業所集団電話）接続時、CES内線からの着信にはナンバー・ディスプレイはサービス提供されていません。
- 設定操作を行なっても、NTTのナンバー・ディスプレイの契約がされていないと、電話番号は表示されません。このとき、停電すると電話を受けることができなくなります。
  必ずナンバー・ディスプレイの契約をしてから、設定操作（66ページ）を行なってください。
- NTTのナンバー・ディスプレイに契約された回線は必ず設定操作（66ページ）を行なってください。設定しないと正常に電話を受けることができません。ナンバー・ディスプレイをご利用にならない場合は、解除してください。
- 親機、子機ともに11桁を超える電話番号からかかってきたときはスクロール表示し、最後の表示のまま止まります。
- 本機の鳴り分けなどを正しく作動させるために、電話番号は同一市内でも必ず市外局番から入力してください。

1 ナンバー・ディスプレイを契約する

NTTへナンバー・ディスプレイの申し込みが必要です。
（月額使用料および工事費用が別途必要です。）

2 ナンバー・ディスプレイを設定する（右側の操作）

NTTへお申し込みの後は、必ずナンバー・ディスプレイを設定しておいてください。（右側の操作）
お申し込み後、ナンバー・ディスプレイを設定しておかないとNTTから電話回線を通じて送られてくるデータを受信できません。また、申し込まないときは設定しないでください。

手順2で押すボタン	内　容
1	ナンバー・ディスプレイが設定されます。（キャッチホン・ディスプレイは、解除されています。）（iD 表示）
2	ナンバー・ディスプレイとキャッチホン・ディスプレイが設定されます。（70ページ）（iD 表示）
3	ナンバー・ディスプレイとキャッチホン・ディスプレイが解除されます。（iD 消灯）

お問い合わせ・お申し込みは
局番なしの　116
受付時間：午前9時〜午後5時（年末年始は休業）

ナンバー・ディスプレイを設定／解除するには（親機）

■ お買い上げ時は解除されています。
子機ではできません。

受話器を置いた状態で

1
機能 0 6 と押す

2

1 押す

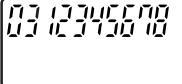
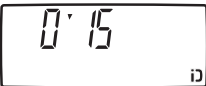
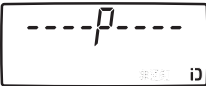
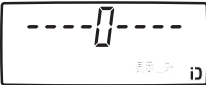
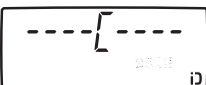
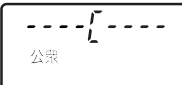
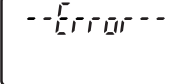
3 機能 押す

●設定すると iD が表示されます。

■ 通常状態（13ページ）のとき、液晶画面に iD が表示されます。
■ 解除するときは、手順2で 3 を押し、最後に 機能 を押します。
iD が消灯します。

ナンバー・ディスプレイの設定状態を確認するには（親機）

子機ではできません。

受話器を置いた状態で ▶ キャッチ/消去 確認 ▶

・・・現在の設定状態を音声でお知らせします。

電話がかかってくると、電話をかけてきた相手によって液晶画面に下記のように表示されます。

●ナンバー・ディスプレイをご利用になると、相手の電話番号が表示されます。

	親　機	子　機
外から電話がかかってくると・・・ ●相手の電話番号が表示されます。	0312345678 iD	0312345678
電話にでると・・・ ●通話時間が表示されます。	0' 15 iD	0' 15

●電話番号が表示されないときは・・・

	親　機	子　機
かけてきた相手の方が、電話番号を表示しない操作をしたとき、または表示しない契約になっているとき ●相手が「通常非通知（回線ごと非通知）」契約のとき ●「184」をつけてかけてきたとき ●携帯電話やPHSで番号通知設定をOFFにしているとき	----P---- 非通知 iD	----P---- 非通知
ナンバー・ディスプレイを提供していない地域から相手の方がかけてきたとき、または、サービスが競合しているために電話番号を通知できないとき ●国際電話などのとき	----O---- 表示圏外 iD	----O---- 表示圏外
公衆電話からかけてきたとき ●公衆電話からでも「184」を付けてダイヤルしたときは、電話番号を通知せずにかけてきたときと同じように表示されます。	----C---- 公衆電話 iD	----C---- 公衆
一時的な回線の雑音などにより、ナンバー・ディスプレイのデータを正しく受信できなかったとき（故障ではありません。）	--Error-- iD	--Error--

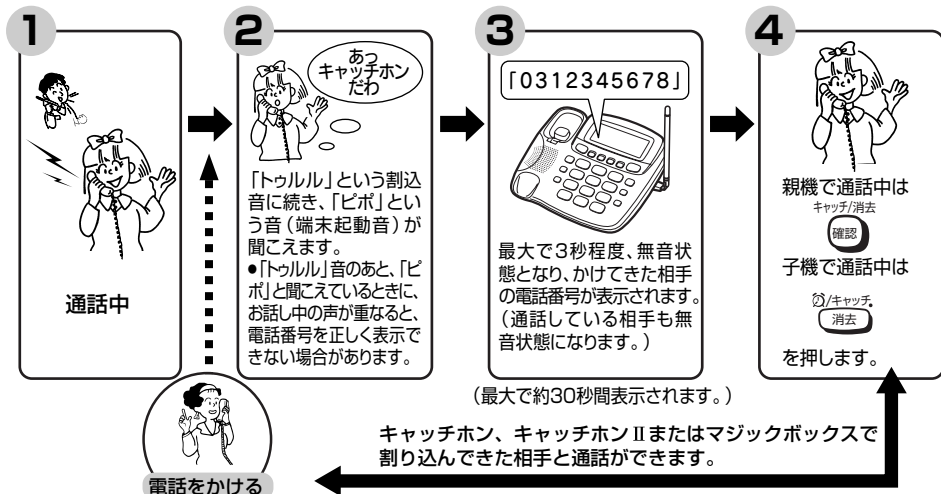
■内線通話中、子機間通話中、ドアホン通話中に電話がかかってきたときは、内線通話、子機間通話、ドアホン通話を終わらせると呼出音が鳴り出し、液晶画面に「CALL」と表示されます。着信メモリには記録されません。

キャッチホン・ディスプレイを利用する

NTTのナンバー・ディスプレイの他に、キャッチホン・ディスプレイとキャッチホンまたはキャッチホンⅡなどのサービス（有料）を契約され、本機で設定すると、通話中にかかってきた別の相手の電話番号を親機や子機の液晶画面で確認してから、キャッチボタンで切りかえることができます。

キャッチホン・ディスプレイとは

通話中にキャッチホンまたはキャッチホンⅡなどで、割り込んでかけてきた相手の電話番号を、受ける人の電話機などに表示するサービスです。（有料）

■**キャッチホン・ディスプレイは、ナンバー・ディスプレイのオプションサービスです。**
ナンバー・ディスプレイおよびキャッチホンまたはキャッチホンⅡなどのサービスに加えて、月額使用料が必要です。くわしくは、最寄りのNTT窓口（お客様サービス116番）にお問い合わせください。

さらにこの電話機では

NTTのキャッチホン・ディスプレイをご契約され、本機で設定すると、下記の機能をお使いいただけます。

- キャッチホン、キャッチホンⅡまたはマジックボックスで割り込んできた相手の電話番号と日時を着信メモリに記録し、あとで確認することができます。さらに、その番号へ簡単にかけ直すことができます。
  なお、記録されるのは「キャッチホンを受けた子機と親機のみ」です。他の子機には記録されません。
  （着信メモリを確認する／かけ直す　71～72ページ）
- キャッチホン、キャッチホンⅡまたはマジックボックスで割り込んできた相手が着信拒否番号のときは親機は 着　信 と電話番号が点滅し、子機は電話番号のみ点滅します。
  （着信拒否　87～88ページ）
- 着信メモリを利用して、相手の電話番号を短縮ダイヤルに登録することができます。
  （着信メモリから短縮ダイヤルに登録する　73ページ）

ご注意

- 必ずナンバー・ディスプレイとキャッチホン・ディスプレイ、キャッチホンまたはキャッチホンⅡ などのサービスに各々契約してから、設定操作を行なってください。
  設定をしないと、キャッチホン・ディスプレイは正常にはたらきません。また、設定操作を行なっても、キャッチホン・ディスプレイの契約をしていないと、相手の電話番号は表示されません。キャッチホン・ディスプレイをご利用にならない場合、「ON」（設定）または「OFF」（解除）に変更してください。

- 68ページの手順④で、親機は キャッチ/消去 確認 、子機は ⏰/キャッチ 消去 を押したあと、新しくかかってきた人につながるまで多少時間がかかることがあります。
- あとからかけてきた方の電話番号は、約30秒間表示されます。表示中に親機は キャッチ/消去 確認 、子機は ⏰/キャッチ 消去 を押すと、通話時間が表示されます。

- キャッチホン着信時には、最大約3秒程度通話が途切れます。また、従来の着信表示音に加えて「ピポ」といった割込音が入ります。この割込音と通話中の声が重なりますと、電話番号などの表示がでないことがあります。
- 大きな声で通話しているときや、本機がNTTの交換機から遠い場所に設置されているときは、電話番号が表示されない場合があります。
- ダイヤル中（31ページ）、保留中（37ページ）、留守動作中（50ページ）、リモコン操作中（57ページ）、非通知ガード（79ページ）、公衆電話ガード（83～84ページ）、表示圏外ガード（85～86ページ）、着信拒否（87～88ページ）といったガード機能の動作中などは、キャッチホンで割り込んでかけてきた相手の電話番号は、表示されません。また、着信メモリ（71～72ページ）にも記録されません。
- 通話中にかかってきた電話に対して、本機の鳴り分け（75～76ページ）、非通知ガード（79ページ）、公衆電話ガード（83～84ページ）、表示圏外ガード（85～86ページ）、着信拒否機能（87～88ページ）はいずれもはたらきません。

- 留守録音中にキャッチホンが入ると「ピポッ・ビュッ」という音が録音されます。
- 停電通話中にキャッチホンが入ると「ピポッ・ビュッ」という音が聞こえます。
- 通話録音中（89ページ）にキャッチホンが入ると、録音は一度中断されますが、そのまま通話を続けていると、自動的に録音が再開されます。このため、割り込みがあるたびに内容が分割して録音され、用件の件数表示が1件ずつ追加されます。

- ファクシミリに接続したとき、ホームテレホンや構内交換機（PBX）の内線電話機としてお使いになるときは、ナンバー・ディスプレイおよびキャッチホン・ディスプレイはご使用になれない場合があります。
- ISDN回線をご使用のときは、INSナンバー・ディスプレイ契約とナンバー・ディスプレイならびにキャッチホン・ディスプレイにも対応しているアナログポートをもったTAが必要です。
- キャッチホンⅡ や、マジックボックスで割り込み音の回数を「0」に設定すると、キャッチホン・ディスプレイは動作しませんのでご注意ください。くわしくは、最寄りのNTT窓口（お客様サービス116番）にお問い合わせください。
- CES（事業所集団電話）接続時、CES内線からの着信にはナンバー・ディスプレイはサービス提供されていません。

1 次の①～③を全て契約する
①ナンバー・ディスプレイ
②キャッチホン・ディスプレイ
③キャッチホンまたはキャッチホンⅡなど

■ナンバー・ディスプレイの契約に加えて、キャッチホン・ディスプレイの契約が必要です。（月額使用料および工事費用が別途必要です。）

2 キャッチホン・ディスプレイを設定する（右側の操作）

手順2で押すボタン	内　容
1	ナンバー・ディスプレイが設定されます。（キャッチホン・ディスプレイは、解除されています。）（66ページ）（ iD 表示）
2	ナンバー・ディスプレイとキャッチホン・ディスプレイが設定されます。（ iD 表示）
3	ナンバー・ディスプレイとキャッチホン・ディスプレイが解除されます。（ iD 消灯）

お問い合わせ・お申し込みは
局番なしの　116
受付時間：午前9時～午後5時（年末年始は休業）

キャッチホン・ディスプレイを設定／解除するには（親機）

■お買い上げ時は「解除」されています。
子機ではできません。

受話器を置いた状態で

1 機能 0 6 と押す

2 2 押す

PUSH Func

3 機能 押す

■通常状態（13ページ）のとき、液晶画面に iD が表示されます。
■解除するときは、手順2で 3 を押し、最後に 機能 を押します。
iD が消灯します。
（ナンバー・ディスプレイも解除されます。）
■ナンバー・ディスプレイのみを設定したいときは、手順2で 1 を押し、最後に 機能 を押します。（66ページ）
■キャッチホン・ディスプレイの設定をするとナンバー・ディスプレイも設定したときと同じ状態になります。

キャッチホン・ディスプレイの設定状態を確認するには（親機）

子機ではできません。

受話器を置いた状態で ▶ キャッチ/消去 確認 ▶ 0 6

・・・現在の設定状態を音声でお知らせします。

■必ず、NTTのナンバー・ディスプレイおよびキャッチホン・ディスプレイの契約に加えて、キャッチホンまたはキャッチホン Ⅱ などのサービスに各々契約してから、設定操作を行なってください。
設定をしないと、キャッチホン・ディスプレイは正常にはたらきません。
また、設定操作を行なっても、NTTのキャッチホン・ディスプレイの契約をしていないと、相手の電話番号は表示されません。

着信メモリを確認する／かけ直す

ナンバー・ディスプレイをご契約し、本機で設定操作をしていないと、機能ははたらきません。（66ページ）
かけてきた相手の電話番号と着信日時を自動的に、親機は最大30件、子機は最大25件（1件につき最大20桁まで）記録し（着信メモリ）、確認することができます。さらに、その番号へ簡単にかけ直すことができます。親機の時計を合わせると、親機は音声で着信日時をお知らせし、子機は液晶画面に着信日時を表示します。

親機の着信メモリを確認してかけ直すには（親機）

受話器を置いた状態で

1 2回押す

- 最後に着信した番号が表示されます。
- 12桁以上の電話番号はスクロール表示されます。

2 #▼ または ✕▲ を押して着信メモリを確認する

- 操作を途中で止めるときは 停止（♫保留）を押します。
- 12桁以上の電話番号はスクロール表示されます。

かけ直したい番号が表示されたら

3 とる

- 表示された電話番号に自動的にダイヤルします。

▶ 通話が終わったら、受話器を戻します。

子機の着信メモリを確認してかけ直すには（子機）

切ボタンを押してから

1 2回押す

03 12345678
着

- 最後に着信した番号が表示されます。
- 電話番号表示中 #► を押すと、着信日時を表示します。元に戻すときは ✕◄ を押してください。
- 12桁以上の電話番号はスクロール表示されます。

2 ▽または △ を押して着信メモリを確認する

06 12345678
着

- 操作を途中で止めるときは 切 を押します。
- 12桁以上の電話番号はスクロール表示されます。

かけ直したい番号が表示されたら

3 押す

- 表示された電話番号に自動的にダイヤルします。

▶ 通話が終わったら、充電器に戻します。
または 切 を押します。

- 着信メモリが親機は30件、子機は25件を超えると、古いものから順に消去され、新しい電話番号が記録されます。
- 手順2で親機の #▼ 子機の上下ボタンの下向きの ▽ を押すと、最後に着信した番号の1つ前から順にさかのぼって表示します。
- 発信メモリがないときは、手順1で親機は 、子機は を1回押しただけで、着信メモリを確認することができます。

ナンバー・ディスプレイ

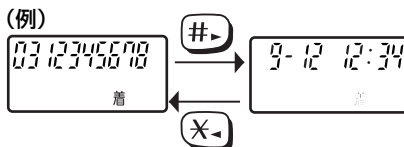
着信メモリを確認する／かけ直す（つづき）

■ 着信日時は、親機の時計を合わせている場合に記録します。（25ページ）
子機の時計を合わせても、着信日時は記録されません。

■ 着信拒否番号から電話があったときでも、着信情報として親機の着信メモリに記録されます。

■「親機や子機で出られなかった電話や、留守番に応答する前に電話を切ってしまった場合は、親機の液晶画面には 着信メモリ 、子機の液晶画面には 着 信あり と表示されます。
着信メモリを確認したり設定・操作を行なうと表示が消えます。

■ 子機は、電話番号が表示されている状態で ＃ を押すと、着信日時に切りかわります。

＊ を押すと前の表示に戻ります。

（ただし、記録されていないデータは表示しません。）
（親機ではできません。親機は、着信日時を音声でお知らせします。）

■ 公衆電話、非通知、表示圏外、受信エラーといった電話番号が通知されないとき（67ページ）でも、着信情報として着信メモリに記録されます。なお、これらの着信情報は、短縮ダイヤルや着信拒否番号に登録することはできません。

■ 非通知ガード（79ページ）や着信拒否（87ページ）を設定しているときに、非通知でかかってきた電話は、親機の着信メモリにのみ記録されます。子機の着信メモリには記録されません。

■ 公衆電話ガード（83～84ページ）、表示圏外ガード（85～86ページ）の暗証ガードを設定しているときに、入力されたガード暗証番号が一致しない場合、その電話は親機の着信メモリにのみ記録されます。子機の着信メモリには記録されません。

ガード機能と着信メモリの関係 （○　記録される） （×　記録されない）				親機（記録内容）	子機（記録内容）
	非通知ガード			○（非通知）	×
	公衆電話ガード	ナンバーガード	電話番号入力　有	○（公衆電話）	○（公衆電話）
			電話番号入力　無		
		暗証ガード	暗証番号入力　一致		
			暗証番号入力　無または不一致		×
	表示圏外ガード	ナンバーガード	電話番号入力　有	○（表示圏外）	○（表示圏外）
			電話番号入力　無		
		暗証ガード	暗証番号入力　一致		
			暗証番号入力　無または不一致		×
	着信拒否			○（着信拒否番号）	×

■ かけたい電話番号を表示させたあと、「184」「186」などの番号（最大10桁）を押してから、親機は受話器をとる、子機は を押すと、電話番号の前にその番号をつけて電話をかけることができます。[特番ダイヤル]

■ かけたい電話番号を表示させたあと、親機の 発信 、子機は を押すと、表示されている番号に自動的に電話をかけ、スピーカー拡声を利用することができます。

■ 12桁以上の電話番号はスクロール表示されます。

着信メモリから短縮ダイヤルに登録する

ナンバー・ディスプレイをご契約し、本機で設定操作をしていないと、機能ははたらきません。(66ページ)
親機や子機の着信メモリに記録されている電話番号を短縮ダイヤルに登録することができます。
(短縮ダイヤル　44〜45ページ)

着信メモリから親機の短縮ダイヤルに登録するには (親機)

受話器を置いた状態で

1 2回押す

2 #▼ または ※▲ を押して登録したい電話番号を表示させる

3 機能 押す

4 (例)"短縮番号09"のとき

短縮 押す

- まだ登録されていない短縮番号を自動的に割りあてます。他の短縮番号に登録したいときは、#▼ または ※▲ を押して検索します。

5 機能 押す

着信メモリから子機の短縮ダイヤルに登録するには (子機)

切ボタンを押してから

1 2回押す

2 ▽ または △ を押して登録したい電話番号を表示させる

06 12345678
着

3 押す

4 (例)"短縮番号09"のとき

押す

- まだ登録されていない短縮番号を自動的に割りあてます。他の短縮番号に登録したいときは、上下ボタンの下向きの ▽ や上向きの △ を押して検索します。

5 押す

- 短縮ダイヤルが20件登録されているときや、すでに短縮ダイヤルに登録済みの電話番号は、登録することができません。
- 発信メモリがないときは、手順1で 発信/着信メモリ や 上下ボタン を1回押しただけで、着信メモリを確認することができます。
- 12桁以上の電話番号はスクロール表示されます。

ナンバー・ディスプレイ

親機の着信メモリを1件ずつ消去するには（一件消去）（親機）

受話器を置いた状態で

1 発信/着信メモリ 2回押す

2 #▼ または ✳▲ を押して消去したい電話番号を選ぶ

3 キャッチ/消去 確認 押す

●消去しないときは ♫保留 停止 を押します。

4 キャッチ/消去 確認 押す

子機の着信メモリを1件ずつ消去するには（一件消去）（子機）

切ボタンを押してから

1 2回押す

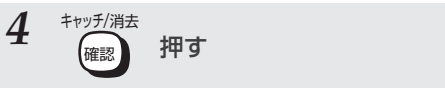
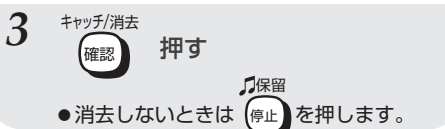
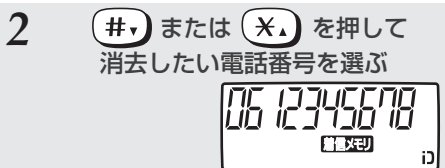
0312345678 着

2 ▽または△を押して消去したい電話番号を選ぶ

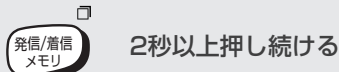
0612345678 着

3 /キャッチ 消去 押す

●消去しないときは 切 を押します。

4 /キャッチ 消去 押す

親機の着信メモリをすべて消去するには（全件消去）（親機）

受話器を置いた状態で

2秒以上押し続ける

▶「消去しました」とお知らせし、着信メモリがすべて消去されます。

■ **発信メモリがあるときは、発信メモリもすべて消去されます。着信メモリのみを全消去することはできません。**

子機の着信メモリをすべて消去するには（全件消去）（子機）

切ボタンを押してから

2秒以上押し続ける

▶「ピー」と鳴り、着信メモリがすべて消去されます。

■ **発信メモリがあるときは、発信メモリもすべて消去されます。着信メモリのみを全消去することはできません。**

おしらせ

- 「親機の着信メモリを1件ずつ消去するには」「子機の着信メモリを1件ずつ消去するには」で、発信メモリがないときは、手順1で 発信/着信メモリ や 機能 を1回押しただけで、着信メモリが表示されます。
- 12桁以上の電話番号はスクロール表示されます。

鳴り分けを使う

ナンバー・ディスプレイのご契約と設定（66ページ）に加えて、この機能の設定をしていないとはたらきません。
短縮ダイヤルに登録した相手からの電話を設定した呼出音で鳴り分けることができます。（鳴り分け）
親機は10種類、子機は4種類の中から選んで設定することができます。
鳴り分けを設定していない相手からの電話は通常の呼出音で鳴ります。（30ページ）

親機で鳴り分けを設定するには

（親機）

受話器を置いた状態で

1 機能 0 7 と押す

2 1 押す

3 呼出音の番号を押す（1〜9、0のいずれか1つ）

（例）“春〜四季より〜”のとき

（例） 3

- 番号を押すたびに鳴り分けの呼出音が鳴ります。
- ここでお知らせするときの音量は、呼出音量（27ページ）で選んだ大きさです。
- このとき #▼ を押すと、現在設定されている鳴り分けの呼出音をお知らせします。

4 機能 押す

■ 解除するときは、手順2で 2 を押し、最後に 機能 を押します。

●鳴り分けの呼出音（10種類）

押すボタン	曲　名（作曲者名）
1	ベル1〈ルルルル〉
2	ベル2〈ピロロピロロ〉
3	春〜四季より〜（アントーニオ　ヴィヴァルディ）
4	森のくまさん（不詳　アメリカ民謡）
5	ユーモレスク（アントニーン　ドヴォルジャーク）
6	華麗なる大円舞曲（フレデリック　フランソア　ショパン）
7	ラデツキー行進曲（ヨハン　シュトラウス）
8	G線上のアリア（ヨハン　ゼバスティアン　バッハ）
9	花のワルツ（ピョトル　イリイチ　チャイコフスキー）
0	家　路（アントニーン　ドヴォルジャーク）

● 電話番号ごとに本機の鳴り分けの呼出音を設定することはできません。

子機で鳴り分けを設定するには

切ボタンを押してから

1 3 と押す

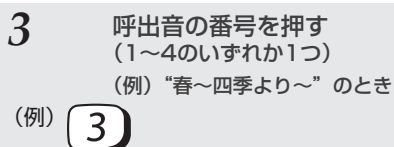
2 1 押す

3 呼出音の番号を押す
（1～4のいずれか1つ）
（例）“春～四季より～”のとき

（例） 3

- 番号を押すたびに鳴り分けの呼出音が鳴ります。
- ここでお知らせするときの音量は、呼出音量（27ページ）で選んだ大きさです。
- このとき #▸ を押すと、現在設定されている鳴り分けの呼出音をお知らせします。

4

押す

■ 解除するときは、手順2で 2 を押し、最後に

を押します。

●鳴り分けの呼出音（4種類）

押すボタン	曲　名（作曲者名）
1	ベル1〈ルルルル〉
2	ベル2〈ピピピ〉
3	春～四季より～（アントーニオ　ヴィヴァルディ）
4	森のくまさん（不詳　アメリカ民謡）

- 電話番号ごとに本機の鳴り分けの呼出音を設定することはできません。
- 子機のメロディは単音です。

光るワンタッチダイヤルを使う

（親機）

ナンバー・ディスプレイをご契約し、本機で設定操作をしていないと、機能ははたらきません。（66ページ）
ワンタッチダイヤルに登録されている相手から電話がかかってくると、ワンタッチダイヤルボタンが点滅して着信をお知らせします。

電話がかかってくると・・・

（例）"ワンタッチダイヤル2"に登録した相手のとき

ワンタッチダイヤルボタンが点滅します。

相手を確認して電話に出ることができます。

■ 電話に出られなかったときは、該当するワンタッチダイヤルボタンが点灯します。（留守番電話に着信したときも、ワンタッチダイヤルボタンが点灯します。）ワンタッチダイヤルボタンを押すか、再度同じ人からの電話に出ると、ワンタッチダイヤルボタンは消灯します。

かけてきた日時を確認するには

子機ではできません。

受話器を置いた状態で ▶ 点灯している ワンタッチダイヤル

いずれか押す（消灯）

・・・着信日時を音声でお知らせします。

● 電話番号が表示されている間に受話器をとる、または 発信 を押す、または該当する ワンタッチダイヤル ①②③ のいずれかを押すと、表示されている電話番号に電話をかけることができます。

■ ワンタッチダイヤルボタンが点灯しているときに確認できる着信日時は、相手が一番最後にかけてきた日時です。日時はかかってくるたびに上書きされます。履歴を確認したいときは「着信メモリを確認する」（71ページ）を行なってください。

おしらせ

● ワンタッチダイヤルに登録した相手からの電話を子機で受けた場合、親機のワンタッチダイヤルボタンは点灯しません。
● キャッチホン・ディスプレイをご契約の場合、親機で通話中にワンタッチダイヤルに登録した相手からキャッチホンでかかってくると、その電話番号を表示して該当する ワンタッチダイヤル ①②③ が点滅します。通話を切りかえるには キャッチ/消去 確認 を押してください 。（通話を切りかえないときは、約30秒後に電話番号と ワンタッチダイヤル ①②③ の点滅が消えます。子機で通話中の場合は電話番号のみ表示します。（ワンタッチダイヤル ①②③ は点滅しません。）

リターンダイヤルで電話をかける（リターンダイヤル）

（親機）

ナンバー・ディスプレイをご契約し、本機で設定操作をしていないと、機能ははたらきません。（66ページ）
留守番録音した相手の用件を再生しているときに、その人へ簡単に電話をかけることができます。

リターンダイヤル発信するには

■ 必ず、用件の再生中で、電話番号が液晶画面に表示されているときに行なってください。（用件再生　50～51ページ）
子機ではできません。

用件再生中に

1

とる

▶ 再生が停止し、表示された電話番号に自動的にダイヤルします。

通話が終わったら

2

戻す

■ 再び、用件を再生するときは、 再生► ② を押します。
（用件再生　50～51ページ）
1件目の用件から再生します。

おしらせ

● 電話番号が表示されていないとき（67ページ）は、リターンダイヤルで発信することはできません。

着信の種類に合わせてガードする

ナンバー・ディスプレイにご契約し、本機で設定操作をしないと、機能ははたらきません。（66ページ）
電話がかかってきたときに、非通知の電話、公衆電話からの電話、表示圏外からの電話など、着信の種類に合わせてメッセージを流すことができます。こちら側では呼出は鳴りません。くわしくは、該当する機能の説明ページをご覧ください。

■迷惑電話を拒否できる機能一覧表

	非通知ガード	公衆電話ガード	表示圏外ガード	着信拒否
非通知	拒否	ー	ー	ー
公衆電話	ー	拒否	ー	ー
表示圏外	ー	ー	拒否	ー
特定の電話番号	ー	ー	ー	拒否

■ガード機能の設定と液晶画面の表示について

非通知ガード、公衆電話ガード、表示圏外ガード、
着信拒否の機能のうちいずれか1つを設定すると、
親機の液晶画面に ガード が表示されます。また、
設定した機能名はその右側に表示されます。4つの
機能をすべて解除すると、ガード と機能名が消えます。

(例)”非通知ガード”のとき

ガード 非通知 iD

応答中は
設定されている
機能名が点滅
します。

■非通知ガード（79ページ）

●このとき電話の呼出音は鳴りません。

■着信拒否（87ページ）

●このとき電話の呼出音は鳴りません。
●「暗証ガード」を設定していて、相手がガード暗証番号を入力しなかった場合も同じメッセージが流れます。

■ナンバーガード
（公衆電話ガード83ページ）
（表示圏外ガード85ページ）

●このとき電話の呼出音は鳴りません。

■暗証ガード
（公衆電話ガード84ページ）
（表示圏外ガード86ページ）

●このとき電話の呼出音は鳴りません。

電話番号を通知してかけ直すようお知らせする（非通知ガード）

（親機）

ナンバー・ディスプレイのご契約と設定（66ページ）に加えて、この機能の設定をしていないとはたらきません。
相手が電話番号を通知してかけてきたときは、通常に電話の呼出音が鳴ります。電話をかけてきた相手が「非通知」のときは、電話番号を通知してかけ直すようにお知らせし、電話を切ります。（かけてきた相手に通話料金がかかります。）お買い上げ時は解除されています。

非通知ガードを設定するには

子機ではできません。

受話器を置いた状態で

1 機能 0 8 と押す

2 1 押す

3 機能 押す

■解除するときは、手順2で 2 を押し、最後に 機能 を押します。

非通知ガードの設定状態を確認するには

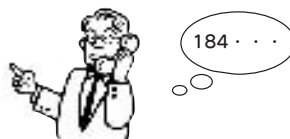
子機ではできません。

受話器を置いた状態で ▶ キャッチ/消去 確認 ▶ 0 8

・・・現在の設定状態を音声でお知らせします。

非通知ガードで応答中は点滅します。

非通知ガードが設定されていると・・・

相手が電話番号を通知せずにかけてきたとき
（通常非通知または「184」をつけたとき）

おそれ入りますが
電話番号の前に186をつけて
ダイヤルするなど電話番号を
通知しておかけ直しください。
［非通知ガードメッセージ］

●このとき電話の呼出音は鳴りません。

おしらせ

- かけてきた相手にメッセージが流れると、相手に通話料金がかかります。
- 非通知ガードで応答した直後に電話をかけると、拒否した相手とつながる場合があります。電話を切り、少ししてからもう一度かけ直してください。
- NTTの「ナンバー・リクエスト」サービスの契約は必要ありません。
- 非通知ガードを設定しても、公衆電話や表示圏外からかけてきた電話を拒否することはできません。それぞれ公衆電話ガード（83〜84ページ）、表示圏外ガード（85〜86ページ）を設定してください。
- 非通知ガードを設定しているときに、非通知でかかってきた電話は、親機の着信メモリにのみ記録されます。子機には記録されません。
- 非通知ガード動作中に、かかってきた拒否したい相手からの電話（キャッチホン）は拒否できません。動作直後に、電話番号が表示されず拒否したい相手から通常の呼出音でかかってくる場合があります。
- 外からの相手と通話中に、かかってきた拒否したい相手からの電話（キャッチホン）は拒否できません。なお、キャッチホン・ディスプレイをご利用になると「非通知」などを表示することができます。

ガード暗証番号を登録する

公衆電話ガード（83～84ページ）と表示圏外ガード（85～86ページ）には、かけてきた相手に暗証番号を入力してもらう「暗証ガード機能」があります。「暗証ガード機能」を使うには、前もって「ガード暗証番号」を登録する必要があります。留守番のリモコン操作（57ページ）で使う「留守暗証番号（55ページ）」とは別に登録してください。

ガード暗証番号を登録するには

子機ではできません。

受話器を置いた状態で

1

と押す

2 ガード暗証番号を入力する（4桁）

（例）“5678”のとき

（例）

と押す

5678

● 入力し直すときは キャッチ/消去 確認 を押します。
1回ずつ押すと、1文字ずつ消去できます。
2秒以上押し続けると、全ての文字を消去できます。

3

押す

公衆電話ガードまたは表示圏外ガードで
「暗証ガード」を設定すると・・・

公衆電話（または表示圏外）から電話をかけてきた相手に下記のメッセージを送出します。

「おそれ入りますが、
暗証番号を入力してください。」

● このとき電話の呼出音は鳴りません。

ガード暗証番号が入力され、一致すると	ガード暗証番号が入力されないと
呼出音が鳴ります。	ガードメッセージ（81ページ）が流れ、自動的に電話が切れます。

呼出音が鳴っても、電話にでないと・・・

● 留守セットしているときは、留守番が応答します。応答するまでの呼出回数を変えることができます。
（応答するまでの呼出回数を変える　54ページ）

● 留守セットしていないときは、呼出回数約10回で応答専用メッセージが流れます。
（応答専用メッセージ　49ページ）

■ ガード暗証番号を間違えたときも、ガード暗証番号が入力されないときと同様、ガードメッセージ（81ページ）を流し、自動的に電話を切ります。

ナンバー・ディスプレイ

公衆電話ガード（83〜84ページ）や表示圏外ガード（85〜86ページ）の中の「暗証ガード」を設定していて、電話をかけてきた相手がガード暗証番号を入力しなかった場合、および着信拒否（87〜88ページ）を設定していて、登録している着信拒否番号から電話がかかってきた場合は、下記のメッセージが流れます。

ガードメッセージ

「申し訳ありませんが、
こちらの都合により、
電話をおつなぎすることができません。」

ガード暗証番号を確認して修正するには

子機ではできません。

受話器を置いた状態で

1 キャッチ/消去 確認   と押す

●登録されているガード暗証番号が表示されます。

2 押す

3 ガード暗証番号を入力する（4桁）

（例）“5679”のとき

（例）

5 6 7 9 と押す

●入力し直すときは を押します。

4 機能 押す

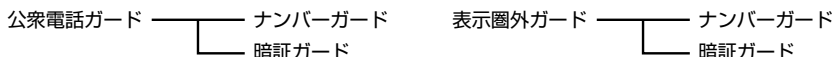
●ガード暗証番号を消去することはできません。

ナンバーガード・暗証ガードについて

ナンバー・ディスプレイにご契約し、本機で設定操作をしていないと、機能ははたらきません。(66ページ)

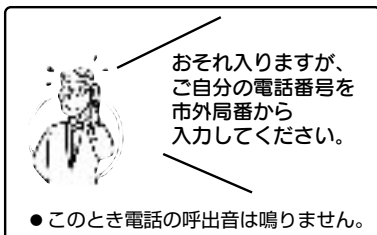
●ナンバーガードと暗証ガードは、公衆電話ガード（83〜84ページ）と表示圏外ガード（85〜86ページ）のどちらにもあります。

公衆電話ガード ─┬─ ナンバーガード
　　　　　　　　└─ 暗証ガード

表示圏外ガード ─┬─ ナンバーガード
　　　　　　　　└─ 暗証ガード

●かけてきた相手にメッセージが流れると、相手に通話料金がかかります。

●ナンバーガードや暗証ガード設定中は、該当する着信があると、電話の呼出音を鳴らさずに自動的にガード機能がはたらきます。

（例）“ナンバーガード”のとき

● このとき電話の呼出音は鳴りません。

●ナンバーガード（83・85ページ）を設定すると暗証ガード（84・86ページ）が、反対に、暗証ガードを設定するとナンバーガードが自動的に解除されます。

●ナンバーガードで応答した直後および暗証ガードで応答した直後にどこかへ電話をかけようとすると、拒否した相手につながる場合があります。電話を切り、少ししてからもう一度かけ直してください。

●ナンバーガード動作中および暗証ガード動作中に、キャッチホンでかかってきた相手の電話は、着信拒否を設定している相手であっても拒否することができません。このケースでは、電話番号が表示されずに通常の呼出音で電話がかかってくる場合があります。

●外からの相手と通話中に、キャッチホンでかかってきた相手の電話は、拒否することができません。なお、キャッチホン・ディスプレイをご利用になると「公衆電話」、「表示圏外」などを表示することができます。

●ナンバーガードで応答中、入力された電話番号が「鳴り分け」に設定されているときは、鳴り分け（75〜76ページ）の呼出音が鳴ります。

●ナンバーガードで応答中に相手が入力できる電話番号は、最大11桁です。

●ガード暗証番号は、留守番のリモコン操作（57ページ）で使う留守暗証番号（55ページ）とは別に、登録してください。

●暗証ガード動作中、相手がガード暗証番号を間違えて入力した（ガード暗証番号が一致しない）ときは、ガード暗証番号が入力されないときと同様に、ガードメッセージ（81ページ）を流し、自動的に電話を切ります。また、この場合でも親機の着信メモリに記録されます。子機の着信メモリには記録されません。

（親機）

ナンバー・ディスプレイのご契約と設定（66ページ）に加えて、この機能の設定をしていないとはたらきません。
公衆電話から電話をかけてきた相手に、相手の電話番号を入力するようにお知らせしたり（ナンバーガード）、ガード暗証番号を入力するようにお知らせし、暗証番号が一致した相手からの電話のみ呼出音を鳴らすようにしたり（暗証ガード）することができます。（どちらもかけてきた相手に通話料金がかかります。）お買い上げ時は、解除されています。

ナンバーガードを設定するには

子機ではできません。

受話器を置いた状態で

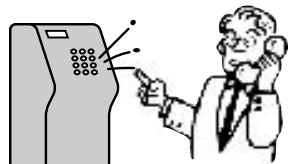
1 機能 1 0 と押す

2 1 押す

3 機能 押す

■解除するときは、手順2で 3 を押し、最後に 機能 を押します。

ナンバーガードが設定されていると・・・

相手が公衆電話のとき

●このとき電話の呼出音は鳴りません。

電話番号が入力されると	電話番号が入力されないと
入力された電話番号が液晶画面に表示され、呼出音が鳴ります。	再度、同じメッセージが流れ、呼出音が鳴ります。

呼出音が鳴っても、電話にでないと・・・

- 留守セットしているときは、留守番が応答します。応答するまでの呼出回数を変えることができます。
  （応答するまでの呼出回数を変える　54ページ）
- 留守セットしていないときは、呼出回数約10回で応答専用メッセージが流れます。
  （応答専用メッセージ　49ページ）

おしらせ

- かけてきた相手にメッセージが流れると、相手に通話料金がかかります。
- ナンバーガードを設定すると、暗証ガード（84ページ）が自動的に解除されます。
- 短縮ダイヤルに登録されている電話番号が入力されたときに、鳴り分けが設定されている場合は、鳴り分けの呼出音（75〜76ページ）が鳴ります。
- 公衆電話から入力できる電話番号は、最大11桁です。
- ナンバーガードで表示された番号は、着信メモリには記録されません。着信メモリには「公衆電話」と記録されます。

（親機）

暗証ガードを設定するには

子機ではできません。

受話器を置いた状態で

1 機能 1 0 と押す

2 2 押す

3 機能 押す

■解除するときは、手順2で 3 を押し、最後に 機能 を押します。

公衆電話ガードの設定状態を確認するには

子機ではできません。

受話器を置いた状態で ▶ キャッチ/消去 確認 ▶ 1 0

・・・現在の設定状態を音声でお知らせします。

暗証ガードが設定されていると・・・

●このとき電話の呼出音は鳴りません。

ガード暗証番号が入力され、一致すると	ガード暗証番号が入力されないと
呼出音が鳴ります。	ガードメッセージ（81ページ）が流れ、自動的に電話が切れます。呼出音は鳴りません。

呼出音が鳴っても、電話にでないと・・・

●留守セットしているときは、留守番が応答します。応答するまでの呼出回数を変えることができます。
（応答するまでの呼出回数を変える　54ページ）

●留守セットしていないときは、呼出回数約10回で応答専用メッセージが流れます。
（応答専用メッセージ　49ページ）

■ **ガード暗証番号を間違えたときも、ガード暗証番号が入力されないときと同様、ガードメッセージ（81ページ）を流し、自動的に電話を切ります。**

おしらせ

- かけてきた相手にメッセージが流れると、相手に通話料金がかかります。
- 暗証ガードを設定すると、ナンバーガード（83ページ）が自動的に解除されます。
- リモコン操作で使う留守暗証番号と、暗証ガードで使うガード暗証番号は別に登録してください。（ガード暗証番号を登録する　80ページ）
- 公衆電話ガードを暗証ガードで設定しているときに、ガード暗証番号が一致しない場合は、その電話は親機の着信メモリにのみ記録されます。子機には記録されません。

表示圏外からの電話をガードする（表示圏外ガード）

（親機）

ナンバー・ディスプレイのご契約と設定（66ページ）に加えて、この機能の設定をしていないとはたらきません。
表示圏外から電話をかけてきた相手（国際電話など）に、相手の電話番号を入力するようにお知らせしたり（ナンバーガード）、ガード暗証番号を入力するようにお知らせし、暗証番号が一致した相手からの電話のみ呼出音を鳴らすようにしたり（暗証ガード）することができます。（どちらもかけてきた相手に通話料金がかかります。）お買い上げ時は解除されています。

ナンバーガードを設定するには

子機ではできません。

受話器を置いた状態で

1 機能 1 1 と押す

2 1 押す

3 機能 押す

■解除するときは、手順2で 3 を押し、最後に 機能 を押します。

ナンバーガードが設定されていると・・・

表示圏外から電話をかけてきたとき
相手に、下記のメッセージを送出します。

●このとき電話の呼出音は鳴りません。

電話番号が入力されると	電話番号が入力されないと
入力された電話番号が液晶画面に表示され、呼出音が鳴ります。	再度、同じメッセージが流れ、呼出音が鳴ります。

呼出音が鳴っても、電話にでないと・・・

- 留守セットしているときは、留守番が応答します。応答するまでの呼出回数を変えることができます。
  （応答するまでの呼出回数を変える　54ページ）
- 留守セットしていないときは、呼出回数約10回で応答専用メッセージが流れます。
  （応答専用メッセージ　49ページ）

ナンバー・ディスプレイ

おしらせ

- かけてきた相手にメッセージが流れると、相手に通話料金がかかります。
- ナンバーガードを設定すると、暗証ガードが自動的に解除されます。（86ページ）
- 短縮ダイヤルに登録されている電話番号が入力されたときに、鳴り分けが設定されている場合は、鳴り分けの呼出音が鳴ります。（75〜76ページ）
- 表示圏外から電話をかけてきた相手が入力できる電話番号は最大11桁です。
- ナンバーガードで表示された番号は、着信メモリには記録されません。着信メモリには「表示圏外」と記録されます。

暗証ガードを設定するには

子機ではできません。

受話器を置いた状態で

1 機能 1 1 と押す

2 2 押す　PUSH Func

3 機能 押す

■解除するときは、手順2で 3 を押し、最後に 機能 を押します。

表示圏外ガードの設定状態を確認するには

子機ではできません。

受話器を置いた状態で ▶ キャッチ/消去 確認 ▶ 1 1

・・・現在の設定状態を音声でお知らせします。

暗証ガードが設定されていると・・・

表示圏外から電話をかけてきたとき
相手に、下記のメッセージを送出します。

●このとき電話の呼出音は鳴りません。

ガード暗証番号が入力され、一致すると	ガード暗証番号が入力されないと
呼出音が鳴ります。	ガードメッセージ（81ページ）が流れ、自動的に電話が切れます。呼出音は鳴りません。

呼出音が鳴っても、電話にでないと・・・

- 留守セットしているときは、留守番が応答します。応答するまでの呼出回数を変えることができます。
  （応答するまでの呼出回数を変える　54ページ）
- 留守セットしていないときは、呼出回数約10回で応答専用メッセージが流れます。
  （応答専用メッセージ　49ページ）

■ ガード暗証番号を間違えたときも、ガード暗証番号が入力されないときと同様、ガードメッセージ（81ページ）を流し、自動的に電話を切ります。

おしらせ

- かけてきた相手にメッセージが流れると、相手に通話料金がかかります。
- 暗証ガードを設定すると、ナンバーガードが自動的に解除されます。（85ページ）
- リモコン操作で使う留守暗証番号と、暗証ガードで使うガード暗証番号は別に登録してください。
  （ガード暗証番号を登録する　80ページ）
- 表示圏外ガードを暗証ガードで設定しているときに、ガード暗証番号が一致しない場合は、その電話は親機の着信メモリにのみ記録されます。子機には記録されません。

特定番号からの電話を拒否する（着信拒否）

（親機）

ナンバー・ディスプレイのご契約と設定（66ページ）に加えて、この機能の設定をしていないとはたらきません。
登録している着信拒否番号からかかってきた電話には、ガードメッセージ（81ページ）を流して、自動的に電話を切ります。（親機も子機も呼出音は鳴りません。）着信拒否番号は、**最大30件まで**登録できます。子機ではできません。

着信拒否番号を登録するには

子機ではできません。

受話器を置いた状態で

1 機能 1 2 と押す

2 市外局番から電話番号を入力する
（最大20桁）
（例）"0312345678"のとき

●途中で入力し直すときは 確認（キャッチ/消去）を押します。

3 機能 押す

03 12345678

●12桁以上の電話番号はスクロール表示されます。

▶ 着信拒否が設定されます。

着信メモリを利用して着信拒否番号を登録するには

子機ではできません。

受話器を置いた状態で

1 2回押す

●最後に着信した電話番号が表示されます。
●12桁以上の電話番号はスクロール表示されます。

2 #▼ または ＊▲ を押して
登録したい電話番号を表示させる

●12桁以上の電話番号はスクロール表示されます。

3 機能 1 2 と押す

▶ 着信拒否が設定されます。

おしらせ

●かけてきた相手にメッセージが流れると、相手に通話料金がかかります。
●着信拒否で応答中した直後にどこかへ電話をかけようとすると、そのまま、拒否した相手とつながる場合があります。電話を切り、少ししてからもう一度かけ直してください。
●着信拒否の設定・解除の操作はありません。着信拒否を解除したいときは、登録されている着信拒否番号を１件ずつすべて消去してください。（88ページ）
●着信拒否をご利用になっても、非通知や公衆電話でかけてきた電話および表示圏外からの電話を拒否することはできません。それぞれ非通知ガード（79ページ）、公衆電話ガード（83～84ページ）、表示圏外ガード（85～86ページ）を設定してください。
●着信拒否番号の登録件数が30件を超えると、登録できなくなります。不要になった着信拒否番号を消去してください。（88ページ）
●緊急の用件でも、着信拒否番号からの呼出音は鳴りませんので、ご注意ください。
●「着信メモリを利用して着信拒否番号を登録するには」の手順1で、発信メモリを表示させて手順2以降を行なっても、着信拒否番号として登録できます。
●「着信メモリを利用して着信拒否番号を登録するには」で、発信メモリがないときは、手順1で 発信/着信メモリ を1回押しただけで着信メモリが表示されます。
●着信拒否を設定しているときに、着信拒否番号でかかってきた電話は、親機の着信メモリにのみ記録されます。子機の着信メモリには記録されません。
●着信拒否動作中に、キャッチホンでかかってきた相手の電話は、拒否できません。このケースでは、電話番号が表示されずに通常の呼出音で電話がかかってくる場合があります。
●外からの相手と通話中に、キャッチホンでかかってきた相手の電話は、拒否できません。なお、キャッチホン・ディスプレイをご利用になると親機は 着　信 と電話番号が点滅し、子機は電話番号のみ点滅してお知らせします。（68ページ）

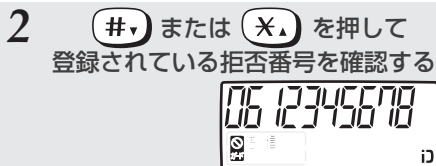
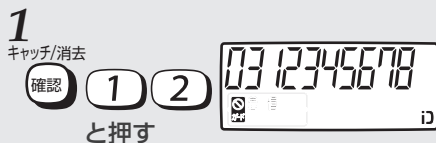
（親機）

着信拒否番号を確認するには

子機ではできません。

受話器を置いた状態で

1 キャッチ/消去 確認 1 2 と押す

2 #▼ または ✻▲ を押して
登録されている拒否番号を確認する

▶ 終わるときは ♫保留 停止 を押します。

着信拒否番号を1件ずつ消去するには

子機ではできません。

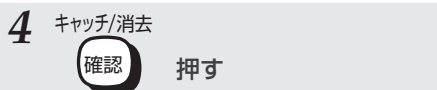
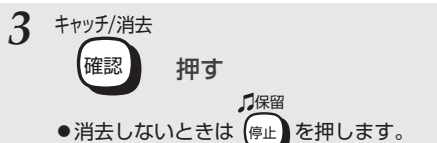
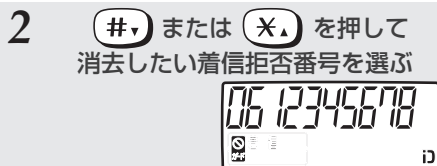
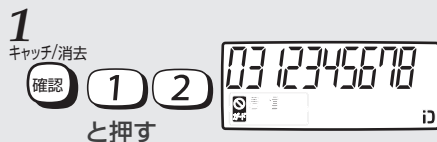
受話器を置いた状態で

1 キャッチ/消去 確認 1 2 と押す

2 #▼ または ✻▲ を押して
消去したい着信拒否番号を選ぶ

3 キャッチ/消去 確認 押す

●消去しないときは ♫保留 停止 を押します。

4 キャッチ/消去 確認 押す

おしらせ

- 着信拒否の設定・解除の操作はありません。着信拒否を解除したいときは、登録されている着信拒否番号をすべて消去してください。
- 着信拒否番号は、一度にすべて消去することはできません。
- 着信拒否番号をすべて消去すると、着 信 が消えます。
- 12桁以上の電話番号はスクロール表示されます。

<table><tr><td>

通話を録音する（通話録音）

（親機）

通話中の会話を録音することができます。
最大で約10分間録音することができます。
（49ページ）

通話を録音するには

子機ではできません。

受話器で通話中に

1 留守/録音 押す

●会話が録音されます。

録音を終わらせるときは

2 ♫保留 停止 押す　または 押す

録音した内容を再生するには

受話器を置いた状態で ▶ 再生▶ 押す

■ 用件が録音されているときは、用件も一緒に再生されます。

■ 子機でも録音した内容を再生できます。（53ページ）

おしらせ

- 録音中に 発信 、キャッチ/消去 確認 または 内線 を押すと、録音を終了します。
- 通話録音中に録音の残り時間がなくなったときは、録音を自動的に終了します。（49ページ）
- 不要な用件は、個別消去（51ページ）または全消去（50ページ）しておいてください。
- 通話録音中に 短縮 を押しても、液晶画面は変わりません。
- 内線通話中やスピーカー拡声中やドアホン通話中は、通話録音できません。
- ドアホンからの呼出しに応答すると、通話録音は終了します。
- 通話録音中は、通話時間の代わりに「－－－－－」が表示されます。

</td><td>

プッシュホンサービスを利用する（トーン）

ダイヤル回線でご使用の場合でも、相手を呼出したあとにトーンボタンを押すことにより、プッシュホンサービス（銀行ANSER、クレジット通話サービス、ポケットベルサービス（番号などの表示）、照会案内サービス、ホームテレホンにおけるテレコントロール、留守番電話における遠隔制御など）を利用することができます。

プッシュホンサービスを利用するには

1 各種サービスにダイヤルする

電話がつながり、案内メッセージが流れたら

2

親 機	子 機
トーン 押す	トーン 押す

3 アナウンスにしたがって操作する

●これ以降は、ダイヤルボタンを押すと、トーン信号が送られます。

▶ 電話を切ると、自動的にもとのダイヤル回線の信号に戻ります。

おしらせ

- プッシュ回線をお使いの方は、手順2の操作は必要ありません。
- トーン ※ や トーン ※ を使ってもサービスが利用できないときは、サービス提供先にお問い合わせください。
- トーン信号とは、プッシュ回線で電話をかけるときの「ピッ、ポッ、パッ」という音のことです。ダイヤル回線でご契約されている方でもトーンボタン（トーン ※ や トーン ※ ）を押すことにより、このトーン信号を出すことができます。

</td></tr></table>

キャッチホンサービスを利用する（キャッチ）

NTTのキャッチホンサービスをご契約されると、通話中にキャッチホンの信号が聞こえたとき、キャッチボタンを押すだけでかかってきた別の相手とお話することができます。また構内交換機（PBX）の内線転送の場合にも便利です。

親機でキャッチホンを利用するには

通話中にキャッチホンの信号「プッ、プッ…」音が聞こえたら

押す

▶ もう一度押すと、もとの相手につながります。

子機でキャッチホンを利用するには

通話中にキャッチホンの信号「プッ、プッ…」音が聞こえたら

/キャッチ 消去 押す

▶ もう一度押すと、もとの相手につながります。

■ キャッチホンサービスは、NTTへのお申し込みが必要です。（有料）

便利な機能

- キャッチホンサービスをご利用のとき、親機は 確認 、子機は 消去 を押してから、新しくかかってきた人につながるまで、多少時間がかかることがあります。
- ファクシミリに接続すると、キャッチホンサービスを利用できない場合があります。必ず、ファクシミリの取扱説明書をご覧ください。
- NTTのキャッチホンサービスのご契約に関しては、局番なしの116番へお問い合わせください。
- 電話をかけようとしたときに、受話器（または子機）から「ププッ、ププッ」という音がする場合があります。これは、「キャッチホンⅡやマジックボックスのメッセージ預かり」の通知音です。

呼出音を先に鳴らす（優先呼出）

優先呼出を設定すると外から電話がかかってきたとき、設定した親機（または子機）の呼出音だけを先に鳴らすことができます。呼出音が鳴っていない親機（または子機）でも電話にでることができます。電話に出ないと、約20秒後、すべての呼出音が鳴ります。お買い上げ時、優先呼出は解除されています。

親機の優先呼出を設定するには（親機）

受話器を置いた状態で

2秒以上押し続ける

●優先呼出を設定すると 優先 が表示されます。

■通常状態（13ページ）のとき、親機の液晶画面に 優先 が表示されます。（子機では表示されません。）

■解除するときは、上記と同じ操作を行ないます。（すでに優先呼出が設定されている状態で行なってください。） 優先 が消灯します。

子機の優先呼出を設定するには（子機）

切ボタンを押してから

1

押す

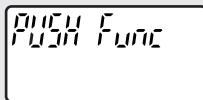
2

優先呼 #► 押す

PUSH Func

3

押す

優先呼

●優先呼出を設定すると、子機の 優先呼 と親機の 優先 が表示されます。

■解除するときは、上記と同じ操作を行ないます。（すでに優先呼出が設定されている状態で行なってください。）子機の 優先呼 と親機の 優先 が消灯します。

●すでに親機（または子機）で優先呼出が設定されていると、他の子機（または親機）で設定できません。設定されている親機（または子機）で優先呼出を解除してから設定してください。

●優先呼出は、約9時間で自動的に解除されます。なお、解除される時間を変えることはできません。

モーニングコールを使う

モーニングコールの時刻になると、電話の呼出音が鳴り、子機で電話に出ると、お目覚めメロディが流れます。
解除しないとモーニングコールは約5分おきにくり返され、約30分経つと、自動的に設定を解除します。（子機ごとに設定できます。）
親機では利用できません。お買い上げ時は、解除されています。

モーニングコールの時刻になると

■次の7曲の中からランダムに1曲演奏されます。

曲　目	作　曲　者　名
春〜四季より〜	アントーニオ　ヴィヴァルディ
ハレルヤコーラス	ゲオルク　F　ヘンデル
ノクターン	フレデリック　F　ショパン
メヌエット	ルイージ　ボッケリーニ
森のくまさん	不詳（アメリカ民謡）
ユーモレスク	アントニーン　ドヴォルジャーク
草競馬	スティーブン　C　フォスター

■ 約5分おきのくり返しを途中で止めるときは、モーニングコールを解除してください。（93ページ）
■ お目覚めメロディを止めるときは 切 を押します。モーニングコールを解除するには、93ページの操作を行なってください。
■ 電話にでなくても、呼出音が鳴りはじめてから、約15秒後に自動的にお目覚めメロディが流れます。

おしらせ

- モーニングコールの時刻になると、⏰ が約30分間点滅しています。点滅を止めるときは、モーニングコールを解除してください。（93ページ）
- 呼出音の種類に関わらず、モーニングコールの呼出音は「ルルル」になります。
- お目覚めメロディは、単音です。
- 消音が設定されていても、モーニングコールの呼出音は「音量小」で鳴ります。

モーニングコールの時刻を登録して設定するには

● 使いたい子機で現在時刻を登録してから行なってください。（26ページ）

切ボタンを押してから

1

押す

2

● 登録されている時刻が表示されます。

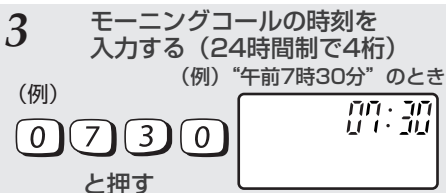
3 モーニングコールの時刻を入力する（24時間制で4桁）

（例）“午前7時30分”のとき

（例）

0 7 3 0 と押す

07:30

4

● モーニングコールの時刻を登録するとモーニングコールが設定され、⏰ が表示されます。

■ モーニングコールの時刻を変えたいときは、はじめからやり直します。

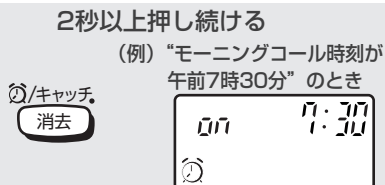
すでに登録してある時刻でモーニングコールを設定するには

● 使いたい子機でモーニングコールの時刻を登録してから行なってください。

切ボタンを押してから

2秒以上押し続ける

（例）“モーニングコール時刻が午前7時30分”のとき

on 7:30

● モーニングコールを設定すると ⏰ が表示されます。

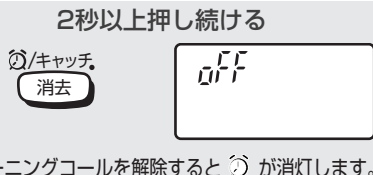
モーニングコールを解除するには

● すでにモーニングコールが設定されている子機で行なってください。

切ボタンを押してから

2秒以上押し続ける

⏰/キャッチ 消去

oFF

● モーニングコールを解除すると ⏰ が消灯します。

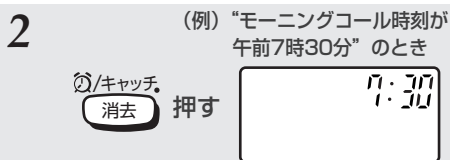
モーニングコール時刻を確認するには

切ボタンを押してから

1 確認 押す

2 （例）“モーニングコール時刻が午前7時30分”のとき

⏰/キャッチ 消去 押す

7:30

● モーニングコールを使いたい子機で、現在時刻（26ページ）とモーニングコール時刻を登録しないと、モーニングコールはお使いいただけません。

ドアホンを接続する

【TF-EVH133・EVH134はドアホンを接続できます。】
（TF-EV130は接続できません。）
別売のドアホンとターミナルボックスをお買い求めいただいて接続すると、ドアホンの呼出しに親機や子機で応答することができます。
（他社製のターミナルボックスはご使用になれません。ターミナルボックスは、必ずTFーTB2をご使用ください。※1）
カメラ付きドアホンをお使いの場合は、テレビドアホンモニターも必要となります。
ドアホン（またはカメラ付きドアホン）は2台まで接続できます。
ドアホンの取り付けについて、くわしくは販売店または工事店にご相談ください。

※1… 現在パイオニアのターミナルボックス（TF-TB1）をお使いのお客様へ
- ●テレビドアホンは、ご使用になれません。ドアホン（TF-DR2）のみのご使用は可能です。

現在お使いのドアホンが下記の種類の場合は、専用ドアホン（TF-DR2）をお求めにならなくてもお使いいただけます。
カメラ付きドアホンは、専用のもの（TFーDC1）以外は、ご使用になれません。

メーカー名	適合するドアホン
パイオニア	TF-DR1
アイホン	IF-DA IE-DC IE-NC IE-RA IE-TAS IE-JA IE-CA IE-JEX IE-NXUS
神田	KB-1A KB-4
富士通	FC-201A FC-201B FC-201C FC-201D
松下通信	VL-568KA VL-568U VL-568R VL-568UL VL-568KAP VL-568S VL-580D VL-D568KF VL-581D VL-592 VL-593 VL-594A
松下電工	EJ502 EJ501W EJ102 EJ503F EJ503A EJ1021B EJ106S EJ106A

■接続可能なドアホンは、配線が2線無極性でインピーダンス600Ωに限ります。

専用商品の型番と価格

	型　番	希望小売価格
専用ドアホン	TF-DR2	4,200円（税抜価格4,000円）
専用カメラ付きドアホン	TF-DC1	18,900円（税抜価格18,000円）
専用テレビドアホンモニター	TF-DM1	44,100円（税抜価格42,000円）
専用ターミナルボックス	TF-TB2	11,550円（税抜価格11,000円）
テレビドアホンセット（TF-DC1＋TF-DM1＋TF-TB2）	TF-TS1	71,400円（税抜価格68,000円）

（希望小売価格は、平成16年5月現在の価格です。）

便利な機能

ドアホンの接続例（ドアホン1台とカメラ付きドアホン1台を接続する場合）

❶ ターミナルボックスにドアホンおよびカメラ付きドアホンを接続したテレビドアホンモニターを接続します。
❷ 電話機コード（2芯）で、電話回線とターミナルボックスを接続します。
❸ ターミナルボックスの付属電話機コード（6芯）で、ターミナルボックスと親機を接続します。
❹ 接続が終了したら、ターミナルボックス（TF-TB2）とテレビドアホンモニターの電源を入れてください。

ドアホン
TF-DR2

テレビドアホンモニター
TF-DM1

カメラ付きドアホン
TF-DC1

ターミナルボックス
TF-TB2

（注）取り付け工事は電気工事士の資格が必要な場合があります。
取り付けの際は販売店、または電気工事店にご相談ください。

TF-EV130をご使用のときは、ドアホンをご利用になれません。

電源コンセント
（AC100V　50／60Hz）

2芯

6芯

❷ 付属の電話機コード
（2芯）（細い方）

●他の通信機器を接続する場合は、付属の電話機コードを一度その通信機器につなぎ、新たに別の電話機コードで通信機器と回線モジュラージャックをつなぎます。

❸ TF-TB2付属の電話機コード
（6芯）（太い方）

他の通信機器を接続する場合

付属の
電話機
コード
（2芯）

電話機
コード
（2芯）

回線
モジュラー
ジャック

Phone　LINE

スプリッタ、モデム、TA、
IP電話対応機器など

LANケーブル

パソコン

●接続や設定の詳細につきましては、モデムやTAなど各機器に付属の取扱説明書をご覧ください。

■TF-TB2に付属の電話機コード以外のものをご使用になると、ドアホン通話ができない場合があります。

●6芯コードは、必ずTF-TB2付属の電話機コードを使用してください。他のコードを使用すると、故障の原因となります。
●くわしい接続方法は、ターミナルボックスの取扱説明書をご覧ください。
●接続可能なドアホンは、配線が2線無極性で、インピーダンス600Ωに限ります。

ドアホン通話をする

【TF-EVH133・EVH134をご使用のとき使えます。】
（TF-EV130をご使用のときは使えません。）
ドアホン（またはカメラ付きドアホン）と通話することができます。（ただしドアホンに呼びかけることはできません。）

親機でドアホンに応答するには（親機）

ドアホンの呼出音が聞こえたら

1 とる

▶ ドアホンと通話できます。

ドアホン通話を終わらせるときは

2 戻す

子機でドアホンに応答するには（子機）

ドアホンの呼出音が聞こえたら

1 とる

● 充電器上にないときは 内線 を押します。（点灯）

▶ ドアホンと通話できます。

ドアホン通話を終わらせるときは

2 戻す

または 切 押す

■ ドアホンの呼出しに応答しないと、ドアホンの呼出音が鳴ってから約15秒後に、もう一度呼出音が鳴ります。
2回目の呼出音が鳴ってから約15秒以上経つと、ドアホンに応答できません。

ドアホンの呼出音

	親機・子機
ドアホン1	「ピポピポピポピポ　ピポピポピポピポ」
ドアホン2	「ピポピポ　ピポピポ　ピポピポ」

おしらせ

● ドアホン1につながったあと、ドアホン2と話すときは、ダイヤル 2 （親機）または 2 （子機）を押します。
再びダイヤル 1 （親機）または 1 （子機）を押すと、もとのドアホン1との通話に戻ります。（ダイヤル①または②を押すたびに切りかわります。）

ドアホン通話中に電話がかかってくると

ドアホン通話中に電話がかかってくると、呼出音が聞こえます。
親機でドアホン通話をしていたときは、一度、受話器を戻してドアホン通話を終わらせてから、もう一度受話器を持ち上げて電話に出てください。
子機でドアホン通話をしていたときは、［切］を押し、ドアホン通話を終わらせてから、 を押して電話に出てください。

ドアホン通話中にもう1つのドアホンと話をするには（ドアホンが2台あるとき）

ドアホン2で通話中に、ドアホン1と話すときは、ダイヤル［1］（親機）または［1］（子機）を押します。

ドアホン1で通話中に、ドアホン2と話すときは、ダイヤル［2］（親機）または［2］（子機）を押します。

再びダイヤル①または②を押すともとの通話に戻ります。（ダイヤル①または②を押すたびに切りかわります。）

外からの電話と通話中にドアホンの呼出音が鳴ったら（内線ボタン点滅中）

親機で通話中のとき ▶ 押す ▶ 受話器で話す

・・・外からの電話は保留され、ドアホン通話できます。

外からの電話に戻るときは ▶ ▶

子機で通話中のとき ▶ 押す ▶ 子機を耳に当てて話す

・・・外からの電話は保留され、ドアホン通話できます。

外からの電話に戻るときは ▶ 内線 ▶

内線通話中に、ドアホンの呼出音が鳴ったら

内線通話を終わらせてください。次にドアホンの呼出音が鳴ったら、ドアホンに応答してください。（96ページ）

おしらせ

- 外からの電話と通話中にドアホンから呼出しがあっても、通話中の親機または子機以外は呼出音が鳴りません。
- 子機で通話中、呼出音はレシーバーから聞こえます。
- 留守番動作中にドアホンから呼出しがあると、受話器を持ち上げ、ドアホンに応答することができます。このとき、留守番動作中の相手には、自動的に保留メロディが流れます。（ ドアホン通話が終了したら、保留を解除してかけてきた相手と話すことができます。）
- ナンバー・ディスプレイをご利用の方で、非通知ガード（79ページ）、公衆電話ガード（83～84ページ）、表示圏外ガード（85～86ページ）、着信拒否（87～88ページ）などが動作中［非通知ガ－ドメッセージ（79ページ）または、ガードメッセージ（81ページ）が流れているとき］はドアホンに応答することはできません。

クイック通話を解除する（見てから通話）

（子機）

クイック通話とは、子機を充電器からとり上げるだけで、 を押さなくても電話をかけたり、受けたりすることができる機能です。
お買い上げ時は、クイック通話が設定されています。

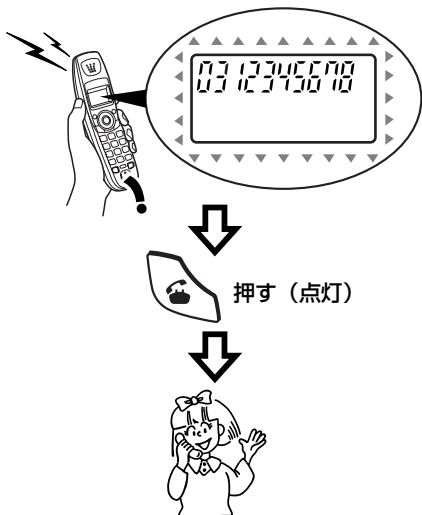
クイック通話を設定しているとき
（お買い上げ時）

- 呼出音が鳴っているとき、充電器から子機をとると、そのまま通話できます。
- 子機を充電器からとるだけで、電話をかけることができます。

点滅

クイック通話を解除しているとき

- 子機を充電器からとり、電話番号を入力し、その番号を確認してから 発信ボタンを押すと、電話をかけることができます。（見てから通話）

<ナンバー・ディスプレイ加入時>
- 呼出音が鳴っているとき子機をとり、かけてきた相手の電話番号を確認してから、 発信ボタンを押し、通話することができます。（見てから通話）

クイック通話を解除するには

切ボタンを押してから

1

押す

2 4 押す

3 2 押す

4 機能/♫ 押す

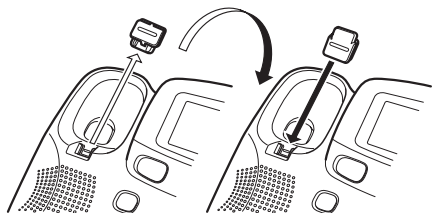
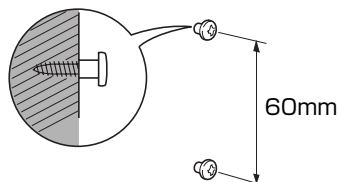
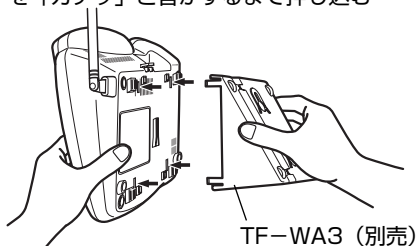
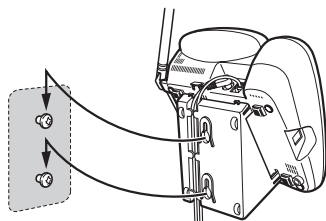
■設定するときは、手順3で 1 を押し、最後に

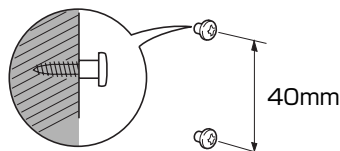
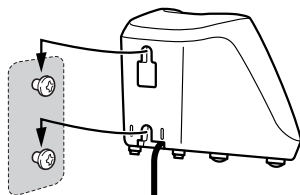
を押します。

壁掛けにするときは

親機や充電器を、壁に取り付けることができます。親機を壁に取り付ける場合には、別売の壁掛けアダプターTF—WA3が必要です。
壁掛けアダプター（別売品）TF-WA3　希望小売価格　525円（税抜価格500円）
(希望小売価格は平成16年5月現在の価格です。)

親機を壁に取り付けるときは

1 壁掛け用フックを差し替えてツメを出す

2 100ページの左側にある壁掛け用取付寸法を壁にあて取り付ける

3 本体底面に壁掛けアダプターの4本のツメを「カチッ」と音がするまで押し込む

4 ACアダプターと電話機コードを図のように処理し、壁掛けアダプター底面のネジ穴にネジを入れ、下にさげて固定する

充電器を壁に取り付けるときは

1 100ページの左側にある壁掛け用取付ネジ寸法を壁にあて、付属の壁掛けネジを取り付ける

2 ACアダプターのコードを図のように処理してから、充電器背面のネジ穴にネジを入れ、下にさげて固定する

■ ネジがゆるんでいると、子機を充電することができない場合があります。

注意

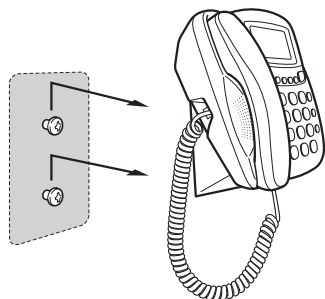
- 壁掛けにするときは、落下しないようにしっかりと取り付け・設置してください。落下のおそれがあり、けがの原因となることがあります。
- ベニヤ板などの薄い板壁やボード板（石こう板）には取り付けないでください。落下のおそれがあり危険です。

お願い

- 親機を幅の狭い柱などに取り付けるときは、板などをご利用されると安定してお使いいただけます。

親機を壁から取り外すときは

上方に引き上げてから取り外す

壁掛け用取付寸法

親機60ミリ

充電器40ミリ

壁掛けアダプターを本体から取り外すときは

側面の2本のツメを押し外す

充電器を壁から取り外すときは

上方に引き上げてから取り外す

故障かな？と思ったら

ボタン操作を受付けない場合、または以下の処置をしても正常に動作しない場合は、リセット操作をしてください。(112ページ)
リセットで回復しないとき、**ACアダプターを抜いておくと親機で応急的に電話をかけたり受けたりすることができる場合があります。**

まったく使えない、点滅が止まらない

	症　状	確認または処置
保留や留守番などの機能がまったく使えない。子機の通話もできない。		親機の画面の表示が無い場合は、ACアダプターが正しく接続されているか確認してください。なお、停電など電源が切れているときは、親機で電話をかけたり受けたりすること以外ご使用になれません。
親機	まったく使えない。ボタンを押しても反応しない。	● 親機のACアダプターが正しく接続されているか確認し、一度抜いて差し直しリセットスイッチ（112ページ）を押してください。
親機	画面の動きが止まらない。	同じ電話回線にファクシミリや他の機器を接続している場合、回線種別（プッシュ／ダイヤル）の自動設定がはたらかずに、画面が点滅、または動き続けることがあります。画面の動きを止めるときは、ご契約の回線種別をNTT窓口（局番なしの116番）にご確認の上、プッシュまたはダイヤルに設定してください。（手動設定：18ページ）
子機	まったく使えない。ボタンを押しても反応しない。保留などの機能がまったく使えない。子機を充電器に置いて充電しても、発信ランプが点灯しない。	● 親機と子機のACアダプターが正しく接続されているか確認してください。なお、停電など親機の電源が切れているときは、ご使用になれません。（子機では電話を受けることもかけることもできません。） ● 充電器側と電源コンセント側を一度抜いて差し直してください。 ● 充電端子の汚れなどを確認してください。充電器と子機の充電端子を乾いた布や綿棒などできれいに拭いて10時間以上充電してください。充電容量が少ないとき、10分くらいは発信ランプが点灯しません。 ● 数週間充電をしないで放置された場合、充電器上に10時間以上置いても発信ランプが点灯しないことがあります。新しい充電池に交換してください。(118ページ) ● 子機を正しく充電器に置いて充電してください。このとき発信ランプが「緑点灯」していることを確認してください。 ● 充電池（ニカド電池）を外して入れ直しを行なってください。(118ページ)
子機	増設した子機の発信ランプが点滅し、まったく使えない。ボタンを押しても反応しない。	増設子機の増設登録を行なうとご使用になれます。増設登録については、お買い上げの販売店にご相談ください。

電話をかけたり、受けたりできない

症　状	確認または処置
電話をかけることも、受けることもできない。受話器を上げたり電話をかける操作をしても「ツー」という音が聞こえない。	● 電話機コードが正しく接続されているか確認してください。モジュラーの差し込みは、カチッと音がするまで確実に差し込んでください。 ● 電話回線側に原因がある場合もありますので、NTTの故障受付（局番なしの113番）にお問い合わせください。 ● ホームテレホンなどに一般電話機を接続すると、故障などの原因になります。くわしくはホームテレホンのメーカー、または設置業者にお問い合わせください。
電話をかけること、または受けることができない。	ファクシミリや他の機器などに接続している場合、それらの機器との接続、機器の設定や動作が原因で、かけることや受けることができないことがあります。その場合、くわしくは原因機器のメーカー、または関連のサービス会社などにご相談ください。 【他の機器：ISDNのTA／ルーター、ADSLのモデム／スプリッタ、セキュリティー機器、通信カラオケ、BSチューナー、CSチューナー、地上波デジタル用チューナー、CAT（キャットというカード読取機）など】 ■ TA：ターミナルアダプターのこと。（以下、TA）

電話をかけたり、受けたりできない（つづき）

	症　状	確認または処置
子機	電話をかけることも、受けることもできない。「プー・プー・・・」という音が、しばらく聞こえて切れる。	●親機のACアダプターが正しく接続されているか確認してください。親機側と電源コンセント側の両方を一度抜いて差し直してください。なお、停電など電源の切れているとき、子機はご使用になれません。 ●設置環境など外来の電気ノイズの影響で時々発生するケースは、故障ではありません。再度、発信ボタンを押すか親機をご使用ください。頻繁に発生するケースは、電気機器（携帯電話の充電器、FAX、ISDN／ADSL機器、AV／OA機器など）が強く影響している場合があります。原因と思われる機器と親機や子機との設置位置を離すことで解消します。
子機	充電器からとり上げても 発信ボタンを押さないと通話状態にならない。	クイック通話がONに設定されているか確認してください。（98ページ） 充電端子を乾いた布や綿棒などで拭いてきれいにしてください。（10・116ページ）
子機	充電器からとり上げても 発信ボタンを押さないと通話状態にならない。充電器に置いても 発信ランプが消えている。	●子機のACアダプターが正しく接続されているか確認してください。充電器側と電源コンセント側の両方を一度抜いて差し直してください。 ●充電端子の汚れなどを確認してください。充電器と子機の充電端子を乾いた布や綿棒などできれいに拭いてください。

電話をかけることができない

	症　状	確認または処置
	電話をかけることができない。	●ご契約の回線種別（プッシュ／ダイヤル）と電話機の設定が合っていないことが考えられます。ご契約の回線種別をNTT窓口（お客様サービス116番）にご確認の上、プッシュ、またはダイヤルに設定してください。（手動設定：18ページ） ISDN回線をご利用の場合は、プッシュに設定してください。 ●電話回線側に原因がある場合もありますので、NTTの故障受付（局番なしの113番）にお問い合わせください。
	電話をかけることができない。（一部の相手につながらない。またはフリーダイヤル、184や186を付けるとつながらない）	ADSLをご利用になり電話機をモデムなどに接続している場合、ご契約の回線種別（プッシュ／ダイヤル）と電話機の設定が合っていないことが考えられます。ご契約の回線種別をNTT窓口（局番なしの116番）にご確認の上､プッシュ、またはダイヤルに設定してください。（手動設定：18ページ） ISDN回線をご利用の場合は、プッシュに設定してください。
	異音が聞こえる。	●ダイヤル回線をご利用の場合、ダイヤルすると「プツプツ・・」という音が聞えますが、故障ではありません。 ●NTTのキャッチホン Ⅱ やマジックボックスサービスをご利用の場合、センターにメッセージが録音されているときに「ププッ、ププッ」という通知音が聞こえます。故障ではありません。
親機	電話をかけることができない。（受話器から「ピ・ピ・ピ・・・」音が聞こえ、発信できない。）	子機が使用中のときは、親機から電話をかけることは出来ません。 受話器を戻し、子機の使用が終わってからかけ直してください。

電話をかけることができない（つづき）

症　状	確認または処置
電話をかけたとき相手につながるまで時間がかかる。	相手の方がナンバー・ディスプレイをご利用の場合、つながるまでに時間がかかることがあります。
電話をかけると違う相手とつながる。	前の相手との通話が終わり電話を切ったら、少し時間をおいてもう一度かけ直してください。

電話を受けることができない

症　状	確認または処置
電話を受けることができない。	●呼出音が1～2回で勝手に切れてしまい、電話をかけてきた相手の方には「ツー、ツー・・」という話中音が聞こえるときは、電話回線側に原因がある場合もありますので、NTTの故障受付（局番なしの113番）へお問い合わせください。 ●呼出音が1～2回で勝手に切れてしまうときは、同じ回線で使用しているファクシミリ、モデム、ガス自動検針器、その他の通信機器が影響している場合があります。 通信機器を外して症状がなくなる場合、原因と思われる通信機器のメーカーにお問い合わせください。 ●ナンバー・ディスプレイをご利用の場合、電話機のナンバー・ディスプレイの設定を確認し、解除されている場合は「ON」に設定し直してください。（66ページ） ナンバー・ディスプレイの回線で電話機の設定を「OFF」にしていると、かかってきた電話にでたとき「ジャー」という音が聞こえ、電話が切れてしまう場合があります。電話をかけてきた相手には、「ツー、ツー・・」という話中音が聞こえ、電話がつながらない状態になります。
呼出音が鳴らない。	●ファクシミリやISDN／ADSL機器などに接続している場合、それらの機器の設定や動作が原因で呼出音が鳴らないことがあります。 詳しくは原因と思われる機器のメーカー、またはご契約のADSL接続サービス会社（プロバイダーなど)にご相談ください。 ●電話をかけてきた相手の方に「ツー、ツー・・」という話中音が聞こえるときは、電話回線側に原因がある場合もありますので　NTTの故障受付（局番なしの113番）へお問い合わせください。 ●親機の液晶画面にガードの表示（ガード：非通知、公衆電話、表示圏外、着信）があるときは、原因となる不要なガードを解除してください。 ●呼出音がしばらく鳴らない場合や、親機は鳴るが子機でしばらく鳴らない場合（または逆の場合）は、優先呼出が設定されていることがあります。親機、または子機の優先呼出を解除してください。（91ページ） ●消音を設定した親機や子機の呼出音は鳴りません。消音を解除してください。（27ページ）
呼出音の鳴り方が変わった。	●本機で鳴り分けが設定（本機の短縮ダイヤルに電話番号を登録）されている相手と、そうでない相手では、呼出音の鳴りかたが異なります。鳴り分けが不要な場合は解除してください。（75～76ページ） ●ナンバー・ディスプレイを契約している回線で電話機のナンバー・ディスプレイの設定を「OFF」にしていると、電話がかかってきたときに呼出音が最初短く鳴り5秒くらいで通常の呼出音に変わります。電話機のナンバー・ディスプレイの設定を確認し、解除されている場合は「ON」に設定し直してください。（66ページ）

電話を受けることができない（つづき）

	症　状	確認または処置
親機	呼出音の鳴り方が変わった。	親機の呼出音が小さく鈴虫のような鳴り方で、子機の呼出音が鳴らない場合は、親機のACアダプターが正しく接続されているか確認してください。電話機側と電源コンセント側の両方を一度抜いて差し直してください。
子機	電話を受けることができない。	コードレス電話機と他のコードレス電話機（子機付のファクシミリなど）を同じ回線で併用していると、電波が相互に干渉しあって子機の呼出音が鳴らなかったり、子機で電話を取れなかったりする原因になります。一つの電話番号にはコードレス電話機を1セットのみご使用ください。(2セット以上は接続しないでください。)

通話中の症状

	症　状	確認または処置
	聞きとりにくい (声が響く)。	事務所など騒音の大きい場所でご使用の場合や電話回線の事情により通話の声が反響する場合、相手の声が聞きとりにくいことがあります。本機のスプリッタ・TA設定のレベル1～4を切りかえ、症状が緩和される設定レベルでご使用ください。(113ページ)
	雑音が聞こえる。	親機と子機間の内線通話には雑音が入らないが、外からかかってきた電話と話すと雑音が聞こえるときは、電話回線側に原因がある場合もありますので、NTTの故障受付（局番なしの113番）にお問い合わせください。
子機	雑音が聞こえる。	●親機、または子機がAV／OA機器やISDN／ADSL機器、携帯電話の充電器などに近いと、それらからの影響で「ザー」「ジー」などの雑音が入る場合がありますので、それらから親機や子機を離してください。 ●アンテナの近くに他の機器のACアダプターや電源コード、携帯電話などの充電器を近づけると雑音が入ることがありますので離してください。 ●親機から離れすぎた場合は親機に近づいてください。 ●同じ部屋の中でも電波の弱くなるところがあり、その位置で通話すると雑音が入ります。この場合は少し移動すると雑音が小さくなります。 ●建物の構造や壁の材質によって電波を通しにくい場合があり、雑音の原因になります。特に金属の構造物、鉄筋コンクリート、鉄骨、モルタル壁、金属線入りのガラスなどは電波を通しませんので、それらで遮られた場合は通話中の雑音が大きくなります。また、通話が切れたり通信ができないなどの原因になります。(11ページ)
子機	時々“ザッツザッツ”という雑音が聞こえる。	時々“ザッツザッツ”と入るケースは、アナログコードレス特有の現象で、直接届く電波と壁や屋根などで反射して届く電波の交わるところで電波が弱まるために発生しますが故障ではありません。親機のアンテナを垂直に伸ばしてご使用ください。
子機	通話中に相手の声が大きくなったり小さくなったりする。	親機のアンテナを垂直に伸ばし、親機に近い位置でご使用ください。電波の弱まるところで発生しますが故障ではありません。通話音量を自動コントロールする機能と、通話ノイズ（アナログコードレス特有の“ザッツザッツ”という雑音）の相互作用で相手の声が大きくなったり小さくなったりします。
子機	通話中に切れる。	●子機の充電池が消耗している場合が考えられます。充電端子を拭いて、10時間以上充電してください。たっぷり充電しても通話時間が短い場合は、新しい充電池に交換してください。(118ページ) ●充電池交換の目安は2年くらいですが、短い時間の通話と充電を繰り返した場合、使用開始の間もない新しい充電池であっても、一時的に充電容量が少なくなります。この場合は数日間充電をやめ、いったん充電池を使いきること（ボタンを押しても反応が無い状態）で解消します。あらためて10時間以上充電してご使用ください。

子機の充電ができない

症　　状	確認または処置
充電ができない。	●子機のACアダプターが正しく接続されているか確認してください。充電器側と電源コンセント側の両方を一度抜いて差し直してください。 ●はじめてお使いのときや充電容量が少ないときは、発信ランプが点灯するまで10分程度かかります。 ●充電端子が汚れている場合には乾いた布や綿棒などで充電端子を拭いてください。
充電が完了しても 発信ランプが点灯のままで変わらない。	充電が完了しても 発信ランプは点灯のままで変わりません。充電器上では子機が多少暖かくなりますが異常ではありません。充電のし過ぎによって故障に至ることはありません。数週間充電しないで放置すると、急速に充電池が消耗し、充電できなくなる場合があります。

留守番、録音

症　　状	確認または処置
留守ランプの点滅が消えない。	録音内容をすべて消去すると点滅が消えます。「2（再生）ボタン」を押して録音内容をすべて聞いたあと、「キャッチ／消去ボタン」を2秒以上押し続けて録音内容をすべて消去してください。(50ページ)
留守セット時に「設定できません。録音がいっぱい・・・」と聞こえ、留守セットができない。	「2（再生）ボタン」を押して録音内容をすべて聞いたあと、「キャッチ／消去ボタン」を2秒以上押し続けて録音内容をすべて消去してください。(50ページ) 「録音時間、残りわずかです。」のときにも録音内容を消去してください。
留守番にかかっても応答メッセージが流れない。	無音に近い自作応答メッセージが録音されたようです。自作応答メッセージを消去してください。(52ページ) 無音の状態の自作応答メッセージを消去すると、電話機にあらかじめ内蔵されている応答メッセージが流れます。
電話がつながっても応答メッセージが流れない。	同じ回線に他の通信機器を接続しているとき、他の機器に先につながってしまう場合、留守応答ができません。本機が先につながるように他の機器の接続や設定を変更してください。くわしくは機器のメーカーなどへお問合せください。また、本機の応答するまでの呼出回数を少ない回数に変更することもできます。(54ページ)
留守番につながるまでの呼出音が約6回であったり、約3回であったりと変わってしまう。	トールセーバのはたらきによるものです。録音が1件も無いときは呼出音が約6回鳴ってからつながります。1件でも録音されているときは約3回でつながります。(57ページ) 外出先からリモコン再生するとき、つながる前に録音の有無が判断できるため通話料金の節約になります。
応答メッセージが応答専用メッセージに変わってしまう。	録音がいっぱいになると自動的に応答専用メッセージに変わります。(49ページ) 再生したあとは、なるべく録音内容を消去してください。(50～51ページ)

留守番、録音（つづき）	
症　状	確認または処置
留守セットしていないのに勝手に留守番につながる。	留守暗証番号（55ページ）を登録しているときは、外出先から留守セットできるように、呼出音が約15回鳴ると電話がつながり応答専用メッセージ（49ページ）が流れます。そのとき留守暗証番号を入力すると留守セットができます。
留守セットしていないのにメッセージが流れる。	各種ガード（非通知・公衆電話・表示圏外）や着信拒否を設定しているときは、各種ガードのメッセージで応答し電話が切れます。 設定されているガード内容を確認し、不要なものを解除してください。
応答メッセージを自分の声で録音することができない。	受話器を持ち上げるときは、「録音をどうぞ」と聞こえるまで留守ボタンを押したままにしてください。留守ボタンから指を離すのが早いと電話をかける状態になり、応答メッセージの録音ができません。
「ツー・ツー・・・」という音しか録音されていない。	録音開始直後、相手が電話を切った場合、「ガチャ」や「ツー・ツー・・・」という音が録音されることがあります。相手が電話を切るときのタイミングによるもので、故障ではありません。
再生音が小さい。	スピーカー音量を大に設定してください。（28ページ）
留守動作中のモニター音（録音中の相手の声など）が聞こえない。	消音を設定した場合、モニター音は聞こえません。消音を解除してください。（27ページ） 小さい場合はスピーカー音量を大に設定してください。（28ページ）
リモコン再生ができない。	●あらかじめ留守暗証番号（55ページ）を登録してください。 ●留守暗証番号を押し間違えていませんか。周囲に音楽などの流れていない状況で、「＃○○○○＃」とゆっくり、長めに押してください。 ●携帯電話など信号音の出る時間が「ピポパ」と短い電話機は信号が伝わりにくい場合がありますので、公衆電話など「ピーポーパー」と長めに出る電話機からかけ直してください。
留守転送をセットできない。	留守暗証番号（55ページ）、留守転送先の電話番号（60ページ）を登録してください。
留守転送をしない。	留守セット（50ページ）、留守転送のセット（61ページ）をしてください。
通話録音中にキャッチホンが入ると録音が2件に分割されてしまう。	キャッチホン・ディスプレイの割り込みが入ると、通話録音が一時停止します。割り込みに対応せず通話を継続すると、通話録音が自動的に再開されますが2件目の録音として扱われますので再生時には分割された状態になります。

ナンバー・ディスプレイをご利用のとき

症　　状	確認または処置
ナンバー・ディスプレイの表示が出ない。	●NTTへナンバー・ディスプレイのお申し込みが必要です。また、工事の完了日時もご確認ください。くわしくはNTT窓口（お客様サービス116番）にお問い合わせください。 ●電話機の設定が必要です。ナンバー・ディスプレイを「ON」に設定してください。（66ページ）
ナンバー・ディスプレイの表示が出ない、または電話がつながらない。	●同じ回線にナンバー・ディスプレイ表示器、他の電話機やファクシミリ、ホームテレホンや構内交換機（PBX）などを併用していませんか。ナンバー・ディスプレイをご利用になるときは併用の機器などは外していただくか、回線を別にしてください。 ●ナンバー・ディスプレイご利用時には、ファクシミリなどの併用はお勧めできません。電話番号が表示されない、かかってきた電話を取ることができないなどの原因になります。（電話のモジュラーコンセントから二股に分岐する接続方法やファクシミリの呼出回数を5回くらいに設定し、ファクシミリの受信を遅らせるなどで本機に表示することもありますが、ファクシミリの受信が今までのようにできなくなる場合があります。くわしくは、ファクシミリメーカーへお問い合わせください。） ●電話回線を使った自動ガス検針設備によっては、ナンバー・ディスプレイ使用に伴う設備の変更が必要な場合があります。くわしくはご利用のガス会社へお問い合わせください。 ●マンションにお住まいの場合、マンション独自の電話設備の関係で、ナンバー・ディスプレイの表示が出ない場合があります。マンションの管理会社などにお問い合わせください。 ●同じ回線に他の機器が接続されている場合、それらの機器との接続、機器の設定や動作が原因で、ナンバー・ディスプレイの表示が出ない場合や電話がつながらない場合があります。くわしくは原因機器のメーカー、または関連のサービス会社などにご相談ください。【他の機器：ISDNのTA／ルーター、ADSLのモデム／スプリッタ、セキュリティー機器、通信カラオケ、CSチューナー、CAT（キャットというカード読取機）など】
相手先に非通知と表示されてしまう。	お客様の回線が通常非通知（回線ごと非通知）の場合は、電話番号の前に186を付けてダイヤルしてください。通常通知に変更の場合は、NTT窓口（お客様サービス116番）にお問い合わせください。 （ISDN回線をご利用のときは、TAの設定を通知に変更してください。くわしくは、TAメーカーへお問い合わせください。）
相手先に非通知と表示されてしまう。ADSLのIP電話を利用した頃からそうなった。	相手もIP電話のときや、相手が携帯電話のときは、非通知になる場合があります。くわしくはご契約のADSL接続サービス会社（プロバイダーなど）にお問い合わせください。
呼出音が1～2回鳴って切れる。	NTTの転送サービスをご利用の場合、ナンバー・ディスプレイの設定を「解除」してください。(66ページ) 転送サービスとナンバー・ディスプレイの併用はできません。 くわしくは、NTT窓口（お客様サービス116番）へお問い合わせください。

ナンバー・ディスプレイをご利用のとき（つづき）

症　状	確認または処置
キャッチホンでかかってきた電話の場合、ガードがはたらかない。	キャッチホン・ディスプレイにご契約の場合であっても、キャッチホンでかかってきたときは、各種ガード（非通知・公衆電話・表示圏外）や着信拒否がはたらきません。
通話中にキャッチホンが入ったとき、「ピポ」と聞こえた後、通話が途切れる。	キャッチホン・ディスプレイをご利用の場合、通話中にキャッチホンが入るとキャッチホンでかかってきた相手の電話番号データが送信されてきます。そのときの合図音が「ピポ」と聞こえ、電話番号データを受信するために数秒ほど無音の状態になります。
通話中にキャッチホンが入っても相手の電話番号が表示されない。	NTTへのサービスのご契約は「ナンバー・ディスプレイ」・「キャッチホン・ディスプレイ」・「キャッチホン」の三つが必要です。 電話機にはキャッチホン・ディスプレイの設定がありますので「ON（キャッチD有）」に設定してください。（70ページ）

ドアホンを接続したとき

症　状	確認または処置
ドアホン側の聞こえが小さいので大きくしたい。	ドアホンターミナルボックスの裏面にある受話音量の調節スイッチを小⇒大に切りかえてください。
電話機側のドアホン通話の聞こえが小さいので大きくしたい。	ドアホンターミナルボックスの裏面にある送話音量の調節スイッチを小⇒大に切りかえてください。
ドアホンではピンポンと鳴っているが電話機側では鳴らず、ドアホン通話もできない。	電話機とドアホンターミナルボックスを接続する電話機コードが2芯コードではありませんか。6芯コード（ドアホンターミナルボックスに付属の太い電話機コード）で接続してください。
ドアホンの応答を終了してもドアホン側の呼出音が鳴る。	ドアホンの呼出音が鳴っているときに応答し、すぐに受話器を戻すとドアホン側の呼出音が鳴ることがあります。
ドアホンターミナルボックスのTF-TB1をTF-TB2に変えたらドアホン通話ができない。	TF-TB2と電話機を接続する6芯コード（太い電話機コード）は、TF-TB2に付属のもの（白：プラグ反転型）を必ずご使用ください。 TF-TB 1 に付属のもの（黒：プラグ非反転型）はご使用になれません。 プラグ反転　○ プラグ非反転　×

ドアホンを接続したとき（つづき）

症　　状	確認または処置
回線にファクシミリなど他の機器を接続したらドアホンが使えなくなった、ドアホンの呼出や通話ができない。	ドアホンターミナルボックスのTF-TB2と電話機の間には、FAXやその他の機器を接続しないでください。接続の順番は、 **NTTの電話の** **モジュラーコンセント→FAXや他の機器→TF-TB2⇒電話機** の順です。（⇒部にはTF-TB2に付属の6芯コード（太い電話機コード)を必ずご使用ください。）
ISDNを利用したらドアホンが使えなくなった。 ドアホンの呼出や通話ができない。	ドアホンターミナルボックスのTF-TB2と電話機の間には、TAやルーターなどの機器を接続しないでください。接続の順番は、 **NTTの電話の** **モジュラーコンセント→TAやルーター→TF-TB2⇒電話機** の順です。（⇒部にはTF-TB2に付属の6芯コード（太い電話機コード）を必ずご使用ください。）
ADSLのIP電話を利用したらドアホンが使えなくなった、ドアホンの呼出や通話ができない。	ドアホンターミナルボックスのTF-TB2と電話機の間には、モデムなどの機器を接続しないでください。接続の順番は、 **NTTの電話の** **モジュラーコンセント→スプリッタやADSLモデム→TF-TB2⇒電話機** の順です。（⇒部にはTF-TB2に付属の6芯コード（太い電話機コード）を必ずご使用ください。）

ホームテレホン、構内交換機（PBX)、FAX併用のとき

症　　状	確認または処置
受話器を上げたり電話をかける操作をしても、「ツー」という発信音が聞こえず電話をかけることも受けることもできない。	ホームテレホンなど4芯配線の機器に接続した場合には故障の原因となりますので、弊社の電話機はそのまま接続しないでください。 接続に際しては、必ずホームテレホンのメーカーまたは、設置業者へご相談ください。
ホームテレホンの内線に接続して使いたいが、問題ないのか。	上記の理由により接続しないでください。接続に際しては必ずホームテレホンのメーカー、または設置業者へご相談ください。 なお、ナンバー・ディスプレイ機能はご利用になれません。
通話中にキャッチホンの「プッ、プッ・・・」音が聞こえたとき、キャッチボタンを押しても切りかわらない。	ホームテレホン、構内交換機（PBX）などに接続した場合は、キャッチホンの切替信号が異なる場合がありますので、ホームテレホン、構内交換機（PBX）のメーカー、または設置業者へお問い合わせください。
ナンバー・ディスプレイを使用するためにファクシミリの配線を変えたら、ファクシミリの受信ができなくなった。	ナンバー・ディスプレイご利用時にはファクシミリなどの併用はお勧めできません。ナンバー・ディスプレイの表示が出ない、電話がかかってきても切れる、ファクシミリ受信ができないなどの原因になります。ナンバー・ディスプレイ対応の電話機とファクシミリの併用に際しては、ファクシミリとの接続や設定方法を必ずファクシミリメーカーへお問い合わせください。

ADSLの機器（スプリッタやモデムなど）に接続の場合

症　状	確認または処置
電話をかけることも、受けることもできない。受話器を取っても「ツー」という音が聞こえない。	スプリッタやモデムなどとの接続および設定を確認してください。 くわしくは、ご契約のADSL接続サービス会社（プロバイダーなど）にご相談ください。
ナンバー・ディスプレイの表示が出ない。	スプリッタやモデムなどを外し、電話機を回線に直接つないだ状態でナンバー・ディスプレイが表示される場合、スプリッタやモデムなどの原因と考えられますので、ご契約のADSL接続サービス会社（プロバイダーなど）にご相談ください。
通話中の音声が大きい（反響する）。 相手の声が聞きとりにくい。	本機のスプリッタ・TA設定のレベル1～4を切りかえ、症状が緩和される設定レベルでご使用ください。（113ページ） 改善しない場合は、ご契約のADSL接続サービス会社（プロバイダーなど）にご相談ください。

ISDNの機器（TAなど）に接続の場合

症　状	確認または処置
電話をかけることも、受けることもできない。 受話器を取っても「ツー」という音が聞こえない。	TA側の設定やアナログポートとの接続を確認してください。 くわしくはTAのメーカーへお問い合わせください。
電話をかけることができない。かかってくる電話はとれるし、通話もできる。	時々電話がかけられないとか、「おかけになった電話番号は現在使われておりません」などの音声が流れて相手につながらない場合があります。電話機とTAの間でダイヤル信号の受け渡しがうまくいかないことが原因です。詳しくはTAメーカーへお問い合わせください。
電話を受けることができない。外から自宅に電話をかけてみると「・・・おかけになった電話番号には、お客様と通信できる機器が接続されていないか、または故障中と思われます。」とガイダンスが流れる。	TA側のアナログポートの設定がナンバー・ディスプレイを使用する（ナンバー・ディスプレイの信号を電話機に送出する）になっているとき、電話機側のナンバー・ディスプレイ設定を解除したままにして電話を受けたとき発生する場合があります。電話機のナンバー・ディスプレイの設定を確認し、解除されている場合は設定し直してください。（66ページ） それ以外の原因の場合は、TAメーカーへお問い合わせください。
相手先に非通知と表示されてしまう。	TA側の設定を「通知」に変更してください。くわしくは、TAメーカーへお問い合わせください。

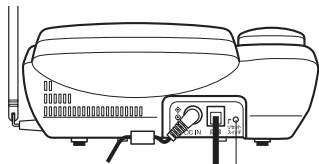
ISDNの機器（TAなど）に接続の場合（つづき）

症　状	確認または処置
ナンバー・ディスプレイの表示が出ない。	TAがナンバー・ディスプレイ対応機種でなければ表示できません。また、TA側の設定（電話機を接続するアナログポートでナンバー・ディスプレイを使用する）が必要です。設定方法はTAに付属の説明書をご覧ください。くわしくはTAメーカーへお問い合わせください。
ナンバー・ディスプレイの表示が出ない。 携帯電話からは表示されるが一般電話からは「表示圏外」になる。	INSナンバー・ディスプレイに申込が必要です。NTT窓口（お客様サービス116番）にお問い合せください。INSナンバー・ディスプレイを契約しないまま、TA側と電話機側のナンバー・ディスプレイ設定を「ON」にした場合、ご使用のTAにもよりますが携帯電話やPHSからの電話はナンバー・ディスプレイの表示が出ますが、一般回線や公衆電話からの電話は「表示圏外」などと表示される場合があります。くわしくは、TAメーカーへお問い合わせください。
ナンバー・ディスプレイの表示が出ない。 ナンバー・ディスプレイにしたら、呼出音が1～2回鳴ったあと電話が切れてしまう。	TAの種類により、旧ヴァージョンの場合に、ナンバー・ディスプレイの表示をしない、電話を受けられないなどの症状になることがあります。ファームウエアを最新ヴァージョンに変更すると改善する場合があります。くわしくはTAメーカーへお問い合わせください。
呼出音が鳴り出すのが遅い。	TAに接続して、ナンバー・ディスプレイをご利用のとき、TAと電話機との通信の相互作用で多少遅くなる場合があります。
通話時に雑音が入る。	TAの近くに電話機を設置すると、雑音が入ることがあります。 電話機をTAから離すと改善する場合があります。また、TAのアース端子と電源コンセントのアース端子をアース線で接続すると改善する場合があります。くわしくはTAメーカーへお問い合わせください。
通話中の音声が大きい。(反響する)、相手の声が聞きとりにくい。	本機のスプリッタ・TA設定のレベル1～4を切りかえ、症状の緩和される設定レベルでご使用ください。(113ページ) ISDN回線は通話音量の減衰がないため、TAによっては音量が大きくなることがあります。この場合TA側の設定で音量を下げることができる場合があります。設定方法はTAに付属の説明書をご覧ください。 くわしくはTAメーカーへお問い合わせください。
通話中にキャッチホンの「プッ、プッ・・・」音が聞こえたとき、キャッチボタンを押しても切り替わらない。	TAに接続した場合はキャッチホンの切替信号の設定を要する場合がありますので、TAに付属の説明書をご覧ください。くわしくはTAのメーカー、または設置業者へお問い合わせください。

リセットについて

ボタン操作を受けつけなくなった場合（強い外来ノイズや静電気、落雷を受けたときなど）や、「故障かな？と思ったら」（101〜111ページ）の処置を行なっても正常に動作しない場合は、リセット操作を行なってください。

親機のリセット方法

ACアダプターを差し込んだ状態で、つまようじなどの細い棒を穴に差し、リセットスイッチを押す。

リセットスイッチ

●親機のリセットを行なうと・・・

設定が解除されるもの

・留守セット　　　　・非通知ガード
・優先呼出　　　　　・公衆電話ガード
・表示圏外ガード　　・留守転送のセット
・消音　　　　　　　・鳴り分けの設定

設定がお買い上げ時に戻るもの

・電話回線の設定　　・スピーカー音量
・呼出音量　　　　　・呼出音設定
・保留音の設定　　　・受話音量
・留守転送回数　　　・音声ガイドの設定
・応答するまでの呼出回数

内容や録音したものが消去されるもの
表示が消去されるもの

・自作応答メッセージ　・着信あり表示
・録音された用件　・リターンダイヤルデータ
・ワンタッチダイヤルランプ

内容が保持される主な登録内容

・短縮ダイヤルの内容　・現在日時
・留守暗証番号　　　　・ガード暗証番号
・留守転送先番号　　　・発信メモリ
・着信メモリ
・ナンバー・ディスプレイの設定
・着信拒否番号　・スプリッタ・TA設定
（その他上記以外の登録された内容）

自動設定されるもの

・電話回線の設定
※他の通信機器に接続していると正しく設定されないことがあります。このときは手動設定（18ページ）してください。

子機のリセット方法

充電池のフタをあけ、充電池のプラグを抜き差ししてください。（118ページ）
なお充電池を交換したとき（118ページ）も下記の状態になります。

●子機のリセットを行なうと・・・

設定が解除されるもの

・モーニングコール　・鳴り分けの設定
・消音

設定がお買い上げ時に戻るもの

・呼出音量　　・受話音量　・クイック通話
・呼出音設定　・スピーカー音量

内容が消去されるもの
表示が消去されるもの

・現在時刻　・モーニングコールの時刻
・着信あり表示

内容が保持される主な登録内容

・短縮ダイヤルの内容　・発信メモリ
・着信メモリ

こんなときは（ADSL／ISDN）

（親機）

ADSLサービス（IP電話サービス）をご利用になっている場合や、ISDN回線のTAなどに接続してご利用になっている場合に、「ハウリングを起こす」「音声が回り込み相手の声が聞きとりにくい」「通話の音が大きい」「音声が悪い」「話しにくい」などの症状がおこる場合があります。

このような場合は、スプリッタ・TA設定の調整を行なうことにより、症状が緩和することがあります。お買上げ時は解除されています。子機ではできません。

スプリッタ・TA設定の調整を行なうには

子機ではできません。

受話器を置いた状態で

1 機能 1 4 と押す

2 レベルを選ぶ

（例）

1 押す

（例）“レベル1”のとき

PUSH Func

症状により“レベル1”から“レベル4”のいずれかを選んで切りかえてください。

【レベル1を選ぶとき】 1

【レベル2を選ぶとき】 2

【レベル3を選ぶとき】 3

【レベル4を選ぶとき】 4

3 機能 押す

■解除するときは、手順2で 0 を押し、最後に 機能 を押します。

スプリッタ・TA設定の設定状態を確認するには

子機ではできません。

受話器を置いた状態で

・・・現在の設定状態を音声でお知らせします。

- この操作を行なっても、回線状況や接続しているスプリッタ・TAの種類によっては症状が改善しない場合があります。この場合は、契約されているADSL接続サービス会社やTAのメーカーなどにご相談ください。
- この操作を行なったあと、反対に、音声の回り込みや音質の低下が発生する場合は設定を解除してください。
- ADSL回線の場合、通話中に雑音が入る場合があります。ADSL回線に特有の事象です。契約されているADSL接続サービス会社へご相談ください。

停電のときは

停電中や親機のACアダプターがはずれたとき（引越などによる本機の移動を含みます）は、コードレスホンとしての機能、留守番電話機としての機能およびナンバー・ディスプレイの機能は使えません。
また、停電中は親機のランプや液晶画面の表示は消えます。

親機

停電中でも、受話器で「電話をかける／受ける」ことができます。
ただし、ダイヤル中に停電したときは、電話を切ってからもう一度かけ直してください。電話がかからなかったり、違う相手にかかってしまうことがあります。

子機 **停電中は、使用できません。（電話をかけることも受けることもできません。）**

- 子機で通話中に停電したときは、電話が切れます。続いて「ピピピ・・・・」音が約20秒間鳴り続けます。

約30分以上の停電（または通電していない状態）が続き、かつ電話機コードもはずれていたときは

- 「優先呼出」が解除されます。設定し直してください。（91ページ）
- 親機の「現在日時」が消去されます。登録し直してください。（25ページ）
- 液晶画面上の 着信メモリ の表示、ワンタッチダイヤルランプが消えます。

■ **上記以外の登録、設定内容は保持されます。引越などのときは、ご注意ください。**

停電がおきたとき（または通電していない状態になったとき）

- 受話器で外からの電話と通話しているときは、電話は切れません。
- 通話録音中に停電があると、通話録音を停止します。なおその場合、録音した内容が正しく再生されない場合があります。
- ナンバー・ディスプレイにご契約されている方は、停電中にかかってきた電話に出たときに、「ジャー」という音が聞こえることがあります。この場合は、いったん電話を切り、再度、呼出音が鳴ったら電話にでてください。
- ナンバー・ディスプレイは、はたらきません。

停電と同時に留守動作が停止し、電話が切れます。

また、用件録音中に停電すると、録音が解除され、正しく録音されていない場合があります。

停電が終わると

- 親機の登録内容や設定内容は消えません。
- 留守セットは、復電すると復帰します。（留守セット状態に戻ります。）

■切り取ってご使用ください。

リモコン早見表

種　　類		操作番号
用件再生		㊯○○○○㊯
リモコン待ち	用件の聞き直し	②
	留守転送	㊯⓪
	留守番解除	㊯⑥
	全消去	㊯㊉

リモコン早見表

種　　類		操作番号
用件再生		㊯○○○○㊯
リモコン待ち	用件の聞き直し	②
	留守転送	㊯⓪
	留守番解除	㊯⑥
	全消去	㊯㊉

リモコン早見表

種　　類		操作番号
用件再生		㊯○○○○㊯
リモコン待ち	用件の聞き直し	②
	留守転送	㊯⓪
	留守番解除	㊯⑥
	全消去	㊯㊉

リモコン早見表

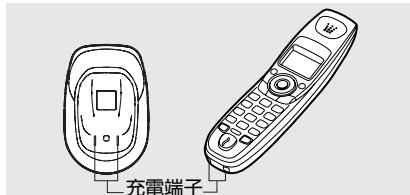
種　　類		操作番号
用件再生		㊯○○○○㊯
リモコン待ち	用件の聞き直し	②
	留守転送	㊯⓪
	留守番解除	㊯⑥
	全消去	㊯㊉

お手入れ

注意

●お手入れの際は、安全のためにACアダプターをコンセントから抜いて行なってください。感電の原因になることがあります。
ACアダプターを抜くと、停電と同じ状態に

充電端子はいつもきれいに

充電端子が汚れていると、発信ランプが緑点灯していても充電ができないことがあります。
乾いた布や綿棒などでこまめに拭き取ってください。

充電端子が汚れていると子機を充電器に戻しても通話が切れない原因になります。
充電ができないために、通話中に突然切れるなど使用時間が短くなります。

本体コード類

柔らかい、乾いた布でから拭きしてください。
ぬれたぞうきんは使用しないでください。
ベンジン、シンナーなど揮発性の薬品は本体を傷めますので、使用しないでください。
化学ぞうきんをお使いになるときは、化学ぞうきんに添付の注意書をよくお読みください。

仕様

仕様および外観は改良のため予告なく変更することがあります。ご了承ください。

型　　番	TF-EV130・EVH133・EVH134
電波のチャンネル数	通話チャンネル数：87チャンネル (MCA方式) 制御チャンネル数：2チャンネル
ダイヤル方式	ダイヤル回線：DP信号（10PPS／20PPS） プッシュ回線：PB信号
電　　源	親　機：専用ACアダプター（VT-14） 子　機：専用充電池（型番：TF-BT09） 充電器：専用ACアダプター（VT-13）
充電完了時間	約10時間
使用時間	子　機　待ち受け時間：約180時間 連続通話時間：約9時間
消費電力	親　機　動作時最大：約4.4W 留守待機時：約2.3W 充電器　子機充電時：約1.6W （待機時）
直流抵抗	287Ω
静電容量	0.83μF
録音時間	応答メッセージ・用件・通話録音などを含め約10分以内
用件録音時　間	1件につき約5分以内
寸　　法	親　機：191.7mm（幅）78.8mm（高さ）178.1mm（奥行）（アンテナ含まず） 子　機：43.4mm（幅）171.5mm（高さ）43.2mm（奥行） 充電器：66mm（幅）73mm（高さ）101.2mm（奥行）
質　　量	親　機：約740g 子　機：約150g（充電池を含む） 充電器：約70g

充電池（ニカド電池）を交換する

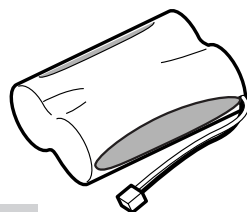
子機の専用充電池（ニカド電池）は消耗品です。販売店でお求めください。
型番：TF-BT09（ニカド電池）　電圧：2.4（V）　希望小売価格　1,680円（税抜価格1,600円）
（希望小売価格は平成16年5月現在の価格です。）

- 商品に同梱されている充電池と外観が異なる場合があります。
  同じ形の子機を他の機種のコードレスホンに使用しておりますが、この場合、同じ形の子機であっても異なる充電池を使用していることがあります。充電池をご購入の際は、必ず取扱説明書で「充電池の型番」をご確認のうえお買い求めください。

交換の時期

2年くらいで新品と交換してください。
2年以内でも、次の場合には交換してください。

充分に充電しても
- 少し話すとすぐに通話ができなくなるとき
- まったく通話や操作ができないとき

専用充電池　TF-BT09
（ニカド電池）

お願い

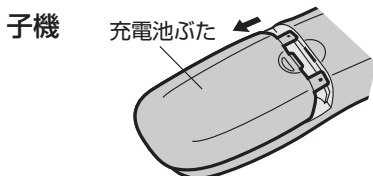
- 充電端子が汚れていると上記のような症状になることがあります。
  充電端子の汚れは、乾いた布や綿棒などで拭いてください。
- 充電池のコードを無理に引っ張らないでください。

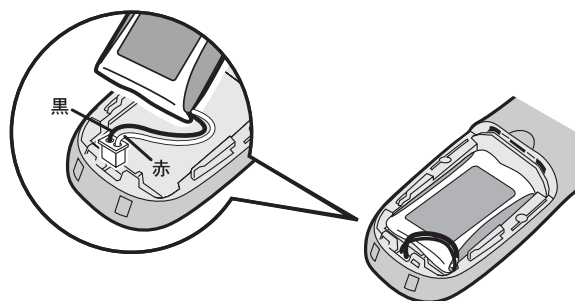
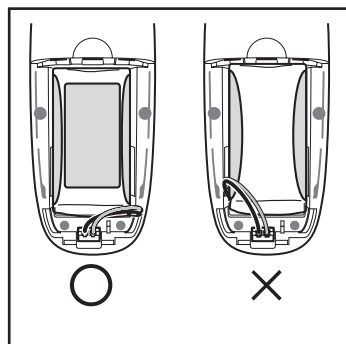
⚠危険

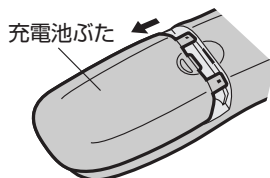
- 充電池は加熱したり、火中に投げ込まないでください。爆発して火災・けがの原因となることがあります。
- 充電池の端子をショート（短絡）したり、外装チューブをはがしたりしないでください。
  火災・けがの原因となることがあります。
- 専用の充電池以外は、使用しないでください。火災・故障の原因となります。
- 充電するときは、専用の充電器をお使いください。

子機の充電池（ニカド電池）を交換する

子機の充電池を交換すると、子機のリセット操作を行なったのと同じ状態になります。（112ページ）

1 充電池ぶたを矢印の方向にスライドさせ、充電池を取り外す。

2 新しい充電池のプラグを差し込む。

- 差し込むときは、プラグの向きを確認して奥まで確実に差し込んでください。
  充電器におくとプラグが完全に差し込まれていなくても 　 は点灯しますので、ご注意ください。

型番印刷面を上にする

3 充電池ぶたを矢印の方向にスライドさせ、閉める。

- 「パチッ」と音がするまで、しっかりと閉じてください。不十分だとカバーが外れ、充電池が落下するおそれがあり、故障の原因となることがあります。
- 充電池は、充電されていませんので、10時間以上充電してからご使用ください。
- コードをフタではさまないようにしてください。

充電池には、ニカド電池を使用しております。ニカド電池はリサイクル可能な貴重な資源です。ニカド電池の交換及びご使用済み製品の廃棄に際しては、ニカド電池を取り出し、リサイクルにご協力ください。

Ni-Cd

操作早見表

早見表の見かた
受話器を親機からとる

（親機）

操　作	手　順	参照ページ
音声ガイドの設定／解除	（設定／解除）通常状態で ＊ ２秒以上押し続ける	P.10
音声ガイドを聞き直す	音声ガイドが終了したら ▶ 留守/録音（再ガイド）	P.10
電話回線の自動設定	5 ２秒以上押し続ける	P.18
呼出音量切りかえ	音量（押すたびに ▶小▶中▶大▶特大 と切りかわる）▶ 機能	P.27
消音の設定／解除	（設定）音量 ２秒以上押し続ける／（解除）音量	P.27
スピーカー音量切りかえ	スピーカー拡声中に 音量（押すたびに ▶小▶中▶中大▶大 と切りかわる）	P.28
受話音量切りかえ	受話器で通話中に 音量（押すたびに ▶標準▶大▶特大 と切りかわる）	P.28
電話をかける	受話器をとる ▶「ツー」音が聞こえたら ▶ 電話番号	P.31
オンフックダイヤルでかける	発信 ▶「ツー」音が聞こえたら ▶ 電話番号 ▶ 受話器をとる	P.33
再ダイヤルで電話をかけ直す	受話器をとる ▶「ツー」音が聞こえたら ▶ 発信/着信メモリ	P.34
発信メモリ・着信メモリの全件消去	発信/着信メモリ ２秒以上押し続ける	P.36 P.74
保留	通話中に 保留/停止 ／通話に戻るには 保留/停止	P.37
保留メロディ切りかえ	通話中に 保留/停止 ▶ 保留メロディが流れているときに 7 または 8 または 9	P.37
内線通話	受話器をとる ▶ 内線 ▶（子機が２台以上あるときは内線番号を押す）▶ 子機が出たら話をする	P.38
留守セット／解除	（セット／解除）留守/録音	P.50
用件再生	（留守番を解除して再生するときは）留守/録音 ／（留守番を解除しないで再生するときは）2（再生▶）	P.50 P.51
用件の全消去	確認（キャッチ/消去） ２秒以上押し続ける	P.50

必要なときは

操　　作	手　　順	参照ページ
再生を止める	用件再生中に ♫保留 停止	P.51
着信拒否番号の登録	機能 ▶ 1 ▶ 2 ▶ 市外局番から電話番号を入力する ▶ 機能	P.87
通話録音	通話中に 留守/録音 ／録音を終わらせるときは ♫保留 停止 または 留守/録音	P.89
キャッチ	通話中にキャッチホンの信号「プッ、プッ…」音が聞こえたら キャッチ/消去 確認	P.90
ドアホン通話（TF-EVH133・EVH134）	ドアホンの呼出音が鳴ったら	P.96

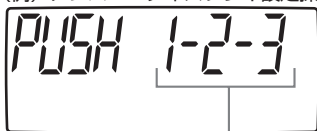
操作中の親機液晶画面について

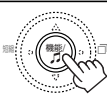
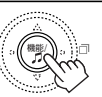
- 親機は通常状態（13ページ）のときに 機能 を押すと、次の画面に変わります。

「01」～「15」の
メニュー番号を表しています。

このとき、「01」～「15」のいずれか2桁の番号をダイヤルボタンで押すと、登録・設定操作をすることができます。
（メニュー番号は、右の表を参照してください。）
メニュー番号は、必ず 機能 を押してからダイヤルボタンを押してください。

- 手順内で次のような画面が表示されたときは、そのとき押すことのできるダイヤルボタンの番号を表しています。

（例）ナンバー・ディスプレイ設定操作時

押すことのできる番号

●親機メニュー番号一覧

押すボタン	機　能
0 1	呼出音質（30ページ）
0 2	呼出回数（54ページ）
0 3	留守暗証番号（55ページ）
0 4	留守転送先（60ページ）
0 5	留守転送回数（61ページ）
0 6	ナンバー・ディスプレイ設定（66ページ）
0 7	鳴り分け（75ページ）
0 8	非通知ガード（79ページ）
0 9	ガード暗証番号（80ページ）
1 0	公衆電話ガード（83ページ）
1 1	表示圏外ガード（85ページ）
1 2	着信拒否（87ページ）
1 3	日時登録（25ページ）
1 4	スプリッタ・TA設定（113ページ）
1 5	回線種別（18ページ）

早見表の見かた

子機を充電器からとる

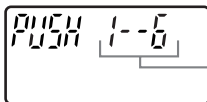
（子機）

操　作	手　順	参照ページ
呼出音量切りかえ	▶ 音量を選ぶ（音量大/音量小/消音）▶	P.27
消音の設定／解除	（設定）上記操作で“消音”を選ぶ／（解除）上記操作で“大”または“小”を選ぶ	P.27
スピーカー音量切りかえ	スピーカー拡声中に（大きくするとき）上を押す／（小さくするとき）下を押す	P.28
受話音量切りかえ	通話中に（大きくするとき）上を押す／（小さくするとき）下を押す	P.28
電話をかける	▶ 電話番号	P.31
オンフックダイヤルでかける	▶ ▶電話番号▶	P.33
再ダイヤルで電話をかけ直す	▶	P.34
発信メモリ・着信メモリの全件消去	２秒以上押し続ける	P.36 P.74
保留	通話中に／通話に戻るには	P.37
内線通話	▶ 内線 ▶（TF-EVH133・EVH134のときは 0 を押す）	P.39
とりつぎ（TF-EV130に子機を増設したとき）	通話中に 内線 ▶ 1 2 3 4（どれかを押す）▶ 別の子機が出て「ピーピピ」と鳴ったらひとこと（約10秒）そえる ▶ 切	P.41
子機間通話（TF-EVH133・EVH134）	▶ 内線 ▶ 1 2 3 4（どれかを押す）▶ 別の子機がでたら話をする	P.42

操　作	手　順	参照ページ
子機間転送（TF-EVH133・EVH134）	通話中に 内線 ▶ 1 2 3 4（どれかを押す）▶ 別の子機がでたら話をする ▶ 切	P.43
留守セット／解除	（設定／解除） 機能/♫ ▶ 5	P.53
用件再生	（留守番を解除するときは） 機能/♫ ▶ 5 ／（留守番を解除しないときは） 機能/♫ ▶ 2	P.53
再生を止める	用件再生中に 切	P.53
キャッチ	通話中にキャッチホンの信号「プッ、プッ…」音が聞こえたら ⏰/キャッチ 消去	P.90
モーニングコールのメロディを止める	⇧ または 切	P.92
ドアホン通話（TF-EVH133・EVH134）	ドアホンの呼出音が鳴ったら ⇧ または 内線	P.96

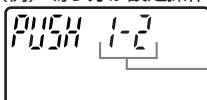
操作中の子機液晶画面について

●子機は通常状態（13ページ）のときに 機能/♫ を押すと、次の画面に変わります。

PUSH 1--6

「1」～「6」のメニュー番号を表しています。

このとき、「1」～「6」のいずれかの番号をダイヤルボタンで押すと、登録・設定操作をすることができます。（メニュー番号は、右の表を参照してください。）

●手順内で次のような画面が表示されたときは、そのとき押すことのできるダイヤルボタンの番号を表しています。

（例）鳴り分け設定操作時

押すことのできる番号

●子機メニュー番号一覧

押すボタン	機　能
1	呼出音質（30ページ）
2	用件再生（53ページ）
3	鳴り分け（76ページ）
4	クイック通話（98ページ）
5	留守電操作（53ページ）
6	時刻登録（26ページ）

アフターサービスについて

 警告

●万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなど異常状態のままで使用すると、火災・感電・故障の原因となります。すぐにACアダプターをコンセントから抜き、煙が出なくなるのを確認して、修理窓口または販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですので絶対におやめください。

アフターサービスについて

万一、故障が生じたときは、保証書に記載されている当社無料修理規定に基づき修理します。
本機の保証期間は、お買い上げの日から**1年間**です。
保証期間経過後は、修理によって本機の性能が維持できる場合、お客様のご要望により有料にて修理します。
本機の補修用性能部品は製造打ち切り後、最低5年間保有しています。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

保証書について

この製品には取扱説明書の巻末に保証書がついています。お買い上げ時には保証書に、お買い上げ店の「店名・住所・捺印・お買い上げ年月日」が記入されていることをお確かめのうえ、大切に保管してください。
保証書に所定事項が記入されていない場合や紛失したときは、保証期間中であっても保証が無効となりますのでご注意ください。

修理をご依頼の前に

「故障かな？と思ったら」（101～111ページ）を参考にして、故障かどうかを確認してください。
故障とお考えの前に、お客様相談窓口（125ページ）にご相談ください。使用上の誤りや、不当な修理や改造による故障及び損傷で修理サービスを依頼されますと、保証期間中であっても有料となります。
子機増設時のID番号の登録は、必ずお買い上げの販売店にて行なってください。修理窓口にてID番号の登録を行なった場合は、保証期間中であっても有料修理扱いとなります。

注意：修理内容により、短縮ダイヤルの内容、自作応答メッセージ、電話番号、暗証番号などが消去される場合があります。このときはお客様ご自身で再登録してください。また、用件が消去される場合があります。ご了承ください。

修理料金の目安　お客様が故障の製品を直接パイオニア修理窓口に持込み修理依頼された場合の目安です。
（お買い上げの販売店に持込み修理依頼された場合は販売店にお問い合わせください。）

A：外部からできる点検や簡単な調整修理など	ニカド電池の交換、ACアダプター交換、コード交換など	3,700円
B：簡単な診断を伴う部品交換修理・調整など	スピーカー交換、スイッチ交換、アンテナ交換、外装部品交換など	6,500円
C：やや難しい診断を伴う部品交換修理・調整など	個別電子部品・構造部品交換など（IC、トランジスタ、抵抗、コンデンサー、メカ部品など）	8,500円
D：複雑な診断を伴う基板交換修理・調整など	複数の電子部品交換、高周波モジュール、表示パネル交換など	10,000円

冠水、落雷（誘導雷）など広範囲な修理が必要な場合は、別途ご連絡いたします。

出張料金（有料）の目安　出張修理（有料）を依頼される場合、距離別出張料金を別途申し受けます。
（保証期間内でも　お客様のご負担となります）

弊社サービスセンター、サービスステーション、サービス認定店からの距離に応じて下記の料金がかかります。

20km未満	2,500円
20km以上50km未満	3,200円
50km以上80km未満	3,700円
80km以上	4,500円

（なお、やむなく船舶、航空機、有料道路などを使用する場合は、お客様に事前の承諾を戴いた上で、実費を加算させていただきます。）

ご注意！　上記料金は、平成16年5月現在の技術工料、部品代を含んだ（消費税込）一般的な修理料金の目安です。
（料金は予告なく変更される場合があります。くわしくは、パイオニア修理受付センターへお問い合わせください。）

修理を依頼されるときは

次の事項を確認して、お買い上げの販売店またはお近くの修理窓口（125～127ページ）にご持参ください。

1 品名、機種（システム名）
（例：小電力コードレス留守番電話機　TF-EV130・EVH133・EVH134）
2 故障の内容
（どのような症状か・どんなときに症状がでるか・いつもでるか・時々なのか）
3 お買い上げ年月日（○年○月○日）
4 お名前、住所、連絡先電話番号

- お持ち込みになる場合は、必ず親機・子機を一緒にして修理をご依頼ください。
- 修理に際しては、製品に登録された内容の保持は保証できかねますので、あらかじめメモ等をお取りください。また、個人情報の保護の観点より、製品に登録された内容は、なるべく消去していただきますようお願いいたします。

出張修理サービス

お客様のご希望により、弊社サービスセンター、サービスステーション、サービス認定店からお客様のご指定の場所へ出張修理もいたします。ただし、保証期間内でも出張費用はお客様ご負担となります。

その他

アフターサービス及び保証書についての詳細は、お買い上げの販売店またはお客様相談窓口・修理窓口（125～127ページ）にお問い合わせください。

長年ご使用の電話機の点検をおすすめいたします。
こんな症状はありませんか

・ACアダプターやコードが異常に熱くなる。
・ACアダプターにさけめやひび割れがある。
・電気が入ったり切れたりする。
・本体から異常な音、熱、煙、臭いがする。

すぐに使用を中止し、ACアダプターをコンセントから抜き、故障や事故防止のため販売店または修理窓口に点検（有料）をご依頼ください。

お客様相談窓口・修理窓口

＜下記窓口へのお問い合わせ時のご注意＞
「0120」で始まる フリーダイヤルは、PHS、携帯電話、自動車電話、列車公衆電話、船舶電話、ピンク電話および海外からの国際電話では、ご使用になれません。また、一般電話は、携帯電話・PHSなどからご利用可能ですが、通話料がかかります。予め、ご了承ください。

本機に関するご相談は

受付　月曜～土曜、日曜・祝日　9：30～17：30（弊社休業日は除く）

東日本地区　お客様相談室（埼玉県所沢市）　☎ 04－2949－5131
西日本地区　お客様相談室（大阪市）　☎ 06－6533－0099
専用FAX：04－2949－5501

部品を購入される場合は

受付　月曜～金曜　9：30～18：00、土曜・日曜・祝日　9：30～12：00、13：00～17：00（弊社休業日は除く）

パイオニア部品受注センター
TEL： 0120－5－81095　／　FAX： 0120－5－81096
一般電話：0538－43－1161
（一般電話は、携帯電話・PHSなどからご利用可能ですが、通話料がかかります。）

修理を依頼される場合は

お買い上げの販売店、もしくは弊社サービスセンター、サービスステーション、サービス認定店へ商品をお持ち込みになり、修理をご依頼ください。

お客様のご希望により出張修理も承ります。パイオニア修理受付センターへご依頼ください。
この場合、保証期間内でも出張費用はお客様のご負担となります。
受付　月曜～金曜　9：30～19：00、土曜・日曜・祝日　9：30～12：00、13：00～18：00（弊社休業日は除く）

パイオニア修理受付センター（沖縄県を除く）
TEL： 0120－5－81028（ゴーパイオニア）　／　FAX： 0120－5－81029

一般電話：03－5496－2023
（一般電話は、携帯電話・PHSなどからご利用可能ですが、通話料がかかります。）
※沖縄県の方は、沖縄サービスステーションでお受けします。
受付　月曜～金曜　9：30～18：00（土曜・日曜・祝日・弊社休業日は除く）
沖縄SS　☎ 098－879－1910　／　FAX　098－879－1352

出張修理の受付のみお受けいたします。
本機の操作・設定に関するご説明につきましては、弊社「お客様相談室」にご相談いただきますようお願い申し上げます。

○は、お客様負担

	保証期間内（無料修理規定に基づきます）		保証期間外	
	修理窓口持込	出張修理	修理窓口持込	出張修理
出張料金	ー	○	ー	○
技術工料	ー	ー	○	○
部品代	ー	ー	○	○

Pioneer

持込修理

品　名	小電力コードレス留守番電話機	機　　種	TF-EV130 TF-EVH133 TF-EVH134
保証対象	本　　体	保証期間	（お買い上げ日より）**1年間**
※お買い上げ日	年　月　日		
※お客様 お名前　様	ご住所 電話番号　（　）		
※販売店	店名・住所・電話番号		

※印欄は必ずご記入ください。

＜無料修理規定＞

1.取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意にしたがった使用状態で故障した場合には、お買い上げの販売店または修理窓口が無料修理いたします。
2.保証期間内に故障して無料修理をお受けになる場合には、お買い上げの販売店または修理窓口にご持参ください。その際には本書をご提示ください。
3.ご転居、ご贈答品などで本保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理がご依頼できない場合や、お近くの修理窓口がない場合は、修理受付センターへご相談ください。
4.保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
（イ）使用上の誤りまたは不当な修理や改造による故障および損傷
（ロ）お買い上げ後の取り付け場所の移動、落下、冠水等による故障および損傷
（ハ）火災、地震、水害、**落雷**その他の天災地変、公害、塩害、虫害、**異常電圧**などによる事故および損傷
（ニ）一般家庭用以外（例えば、業務用への長時間使用、車両・船舶への搭載等）
（ホ）消耗品（各部ゴム、電池、テープ等）の交換
（ヘ）子機増設時のID登録を行う場合
（ト）本書の提示がない場合
（チ）本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合あるいは文字を書きかえられた場合
（リ）故障の原因が本製品以外の他社製品にある場合
（ヌ）出張修理をご希望されたときの出張費用
5. 本書は日本国内においてのみ有効です。（This warranty is valid only in Japan.）

（修理メモ）

●この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがってこの保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間中および経過後の修理等についてご不明の場合は、お買い上げの販売店またはお客様相談窓口・修理窓口にお問い合わせください。
●お客様にご記入いただいた保証書は、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。
●当社はこの製品の補修用性能部品を製造打切り後5年間保有しています。

パイオニアコミュニケーションズ株式会社
〒359ー1167　埼玉県所沢市林2ー70ー1

FRA1405－A

この取扱説明書は、再生紙を使用しています。